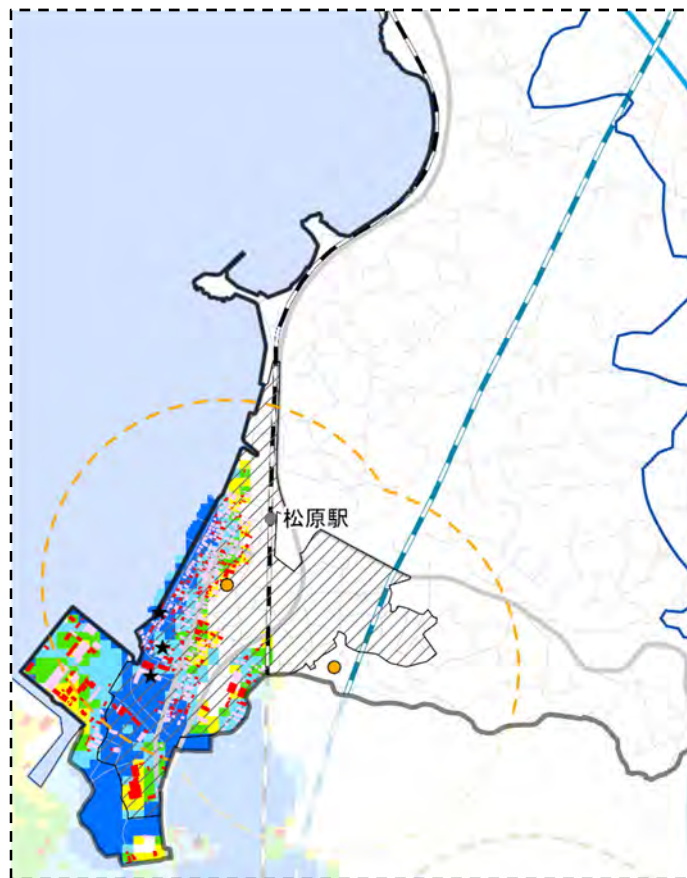
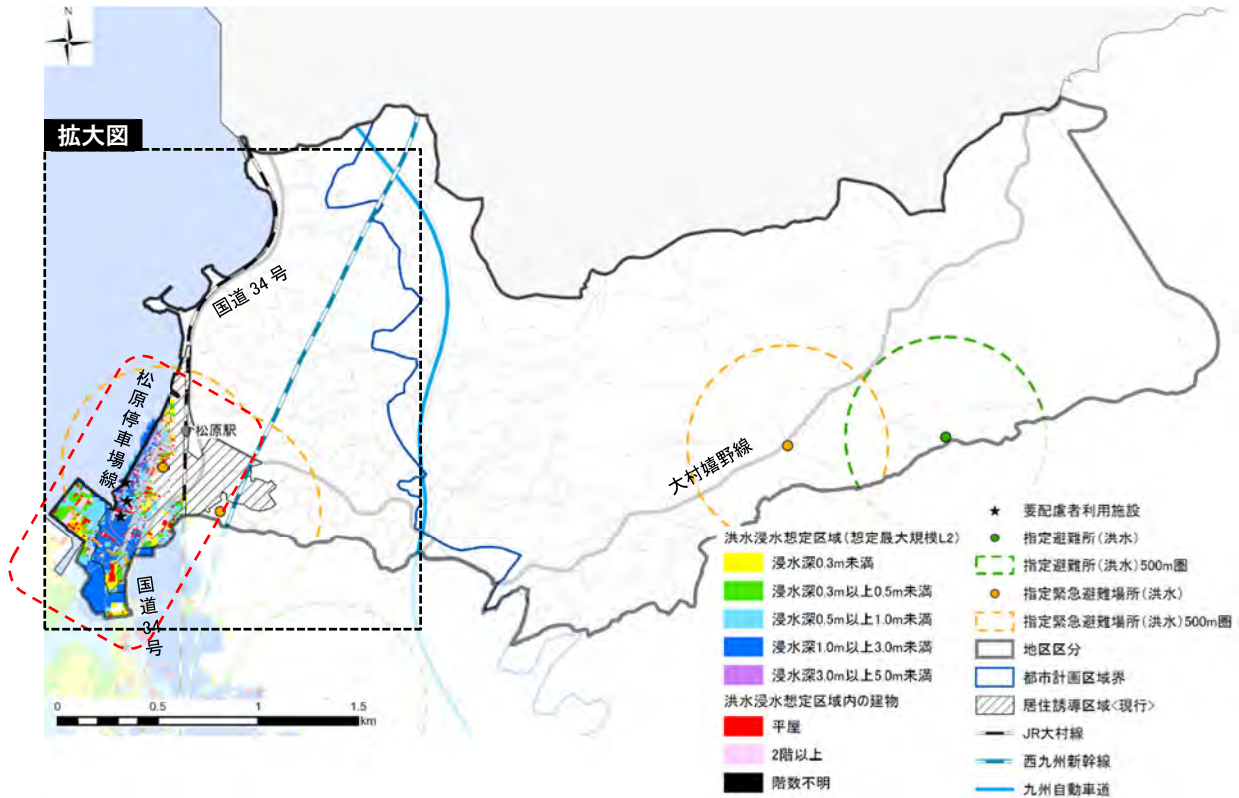


重ね合わせの分析結果（地区別）

1. 松原地区.....	1
2. 福重地区.....	9
3. 竹松地区.....	17
4. 西大村地区.....	25
5. 萱瀬地区.....	32
6. 大村地区.....	38
7. 鈴田地区.....	46
8. 三浦地区.....	53

1. 松原地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



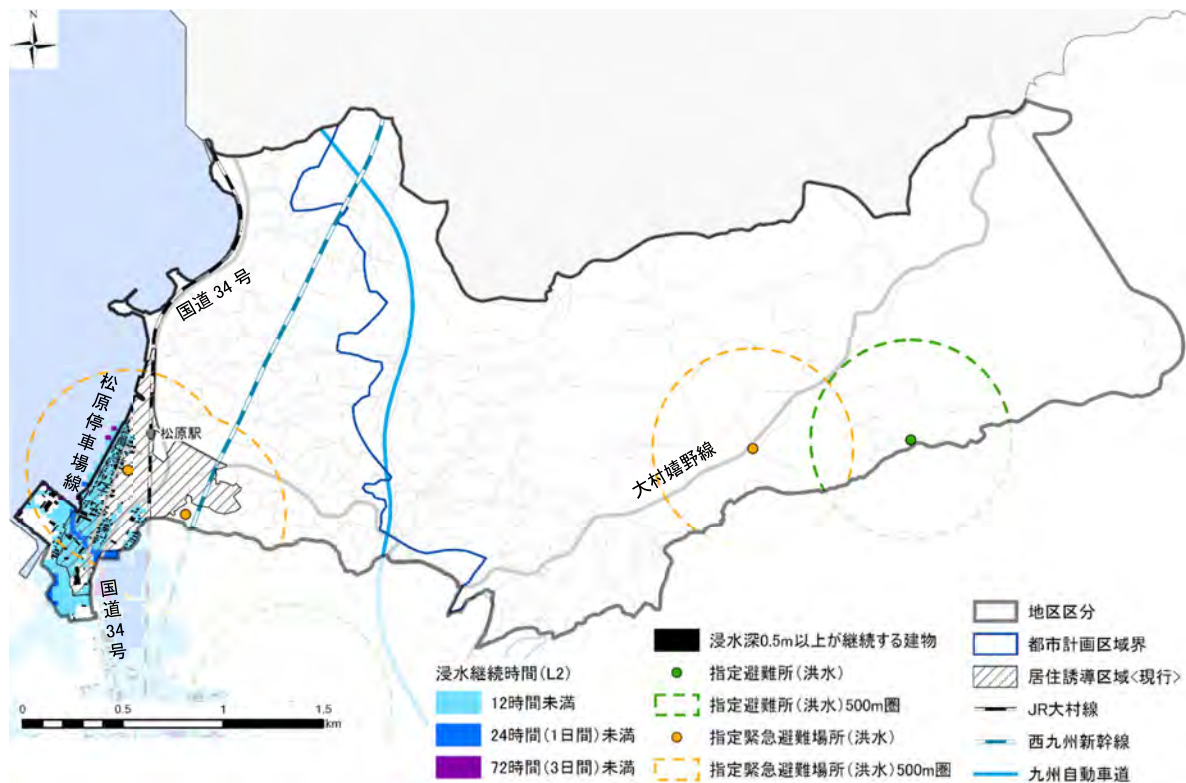
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所 (=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所) や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所 (= 歩行困難になる場所) が大村湾沿いを中心に分布しており、平屋の建物も存在
- 洪水浸水想定区域内に要配慮者利用施設(小学校、保育園、放課後児童クラブ)が存在

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設

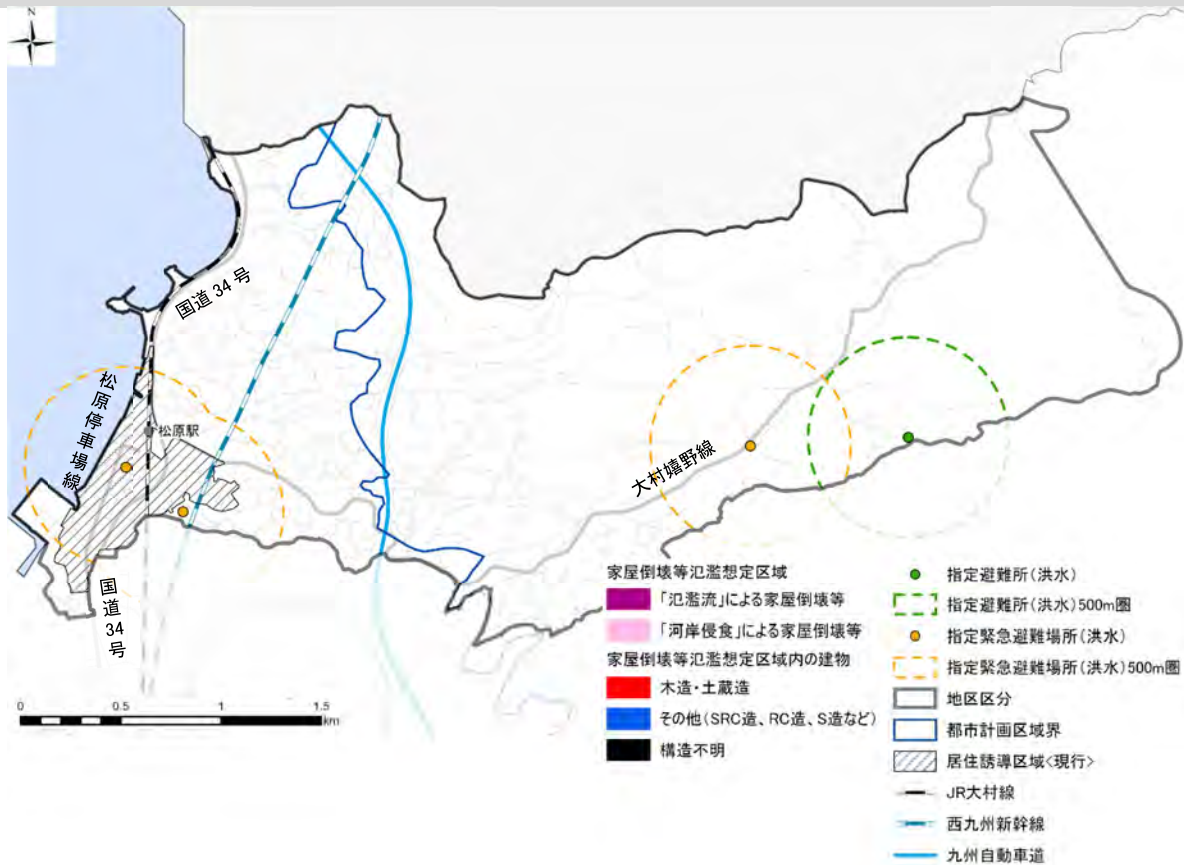


○松本本町において国道 34 号や県道松原停車場線沿いの浸水深が 0.3m 以上(=自動車が行き止まりになる浸水深)に達する場所があり道路が途絶する恐れ

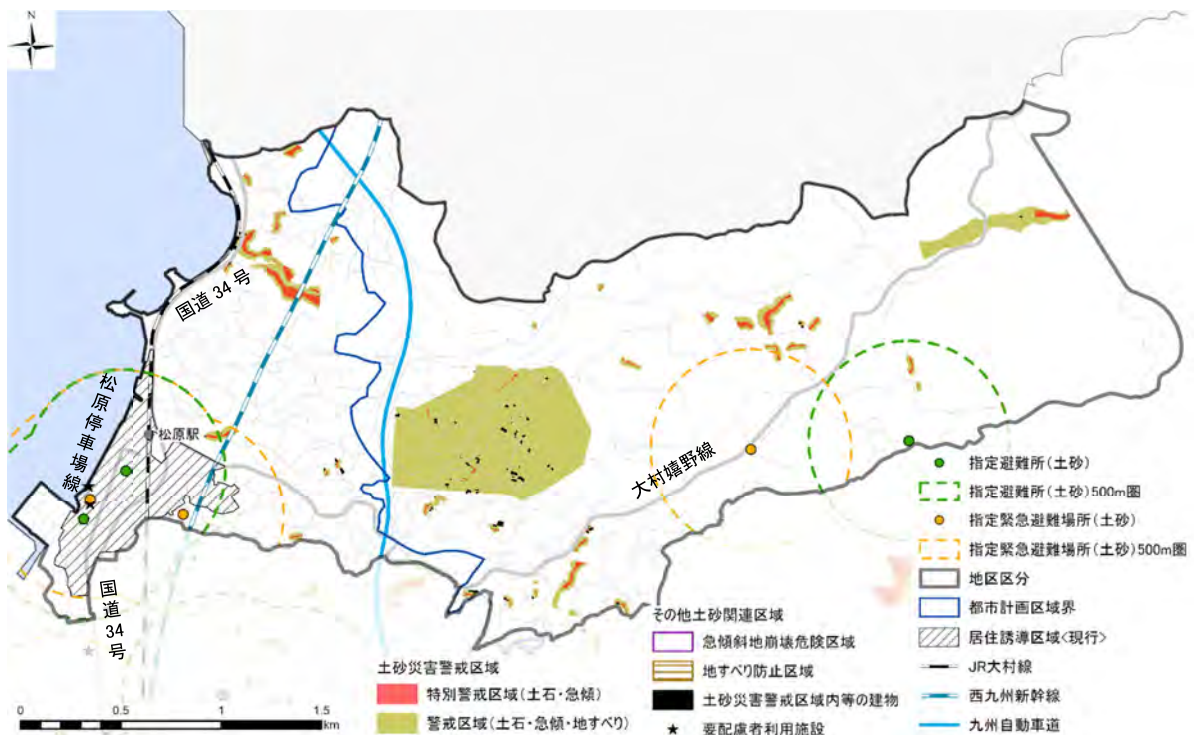
洪水浸水想定区域 (L2: 浸水継続時間) × 建物・避難施設



家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設



土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



○比較的大きな土砂災害警戒区域が松原・野岳町・東野岳町を跨ぐように存在

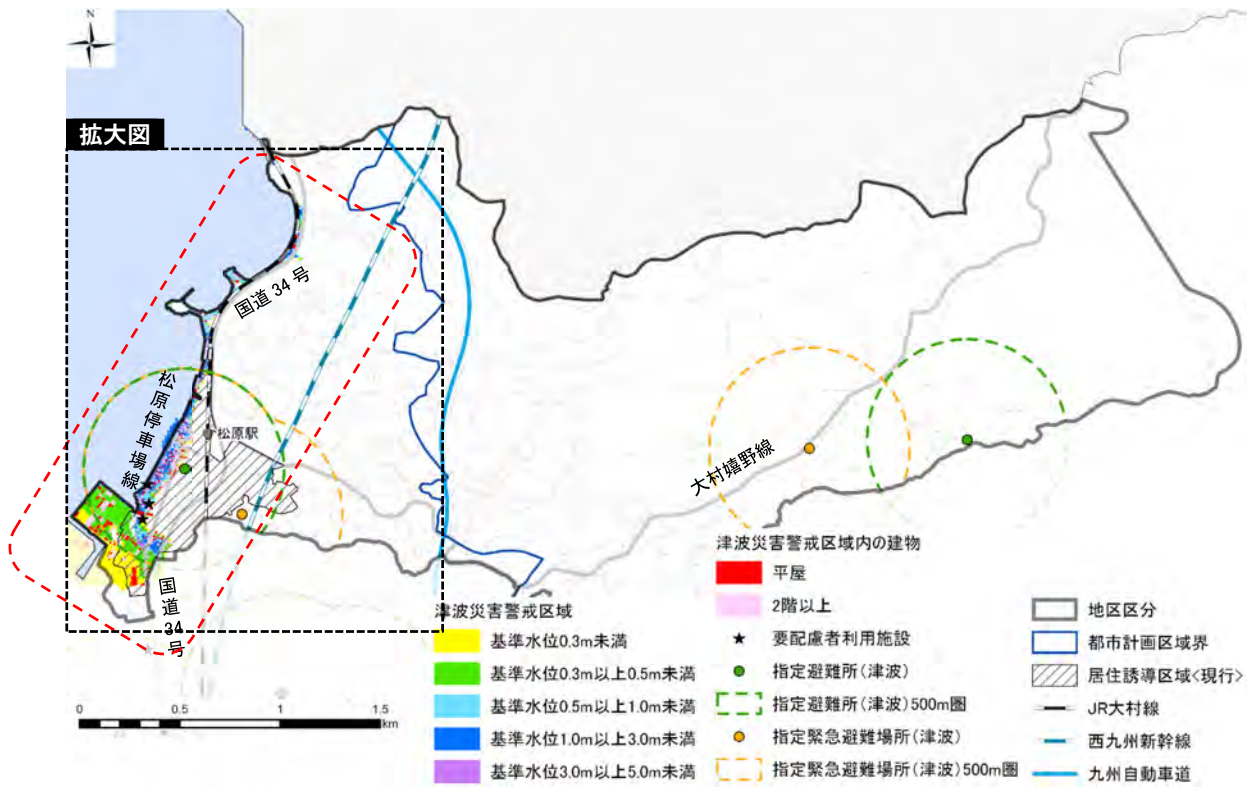
○その他にも土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域が地区内に分布しており、建物も立地

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設



○土砂災害により、国道 34 号が武留路町・松原付近で、県道大村嬉野線は野岳町付近で途絶する恐れ

津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



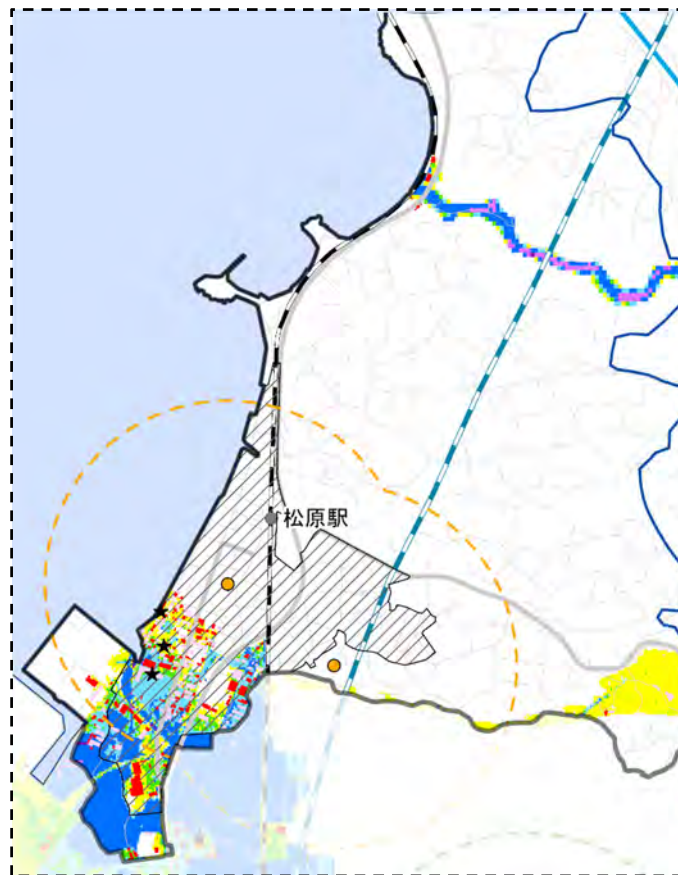
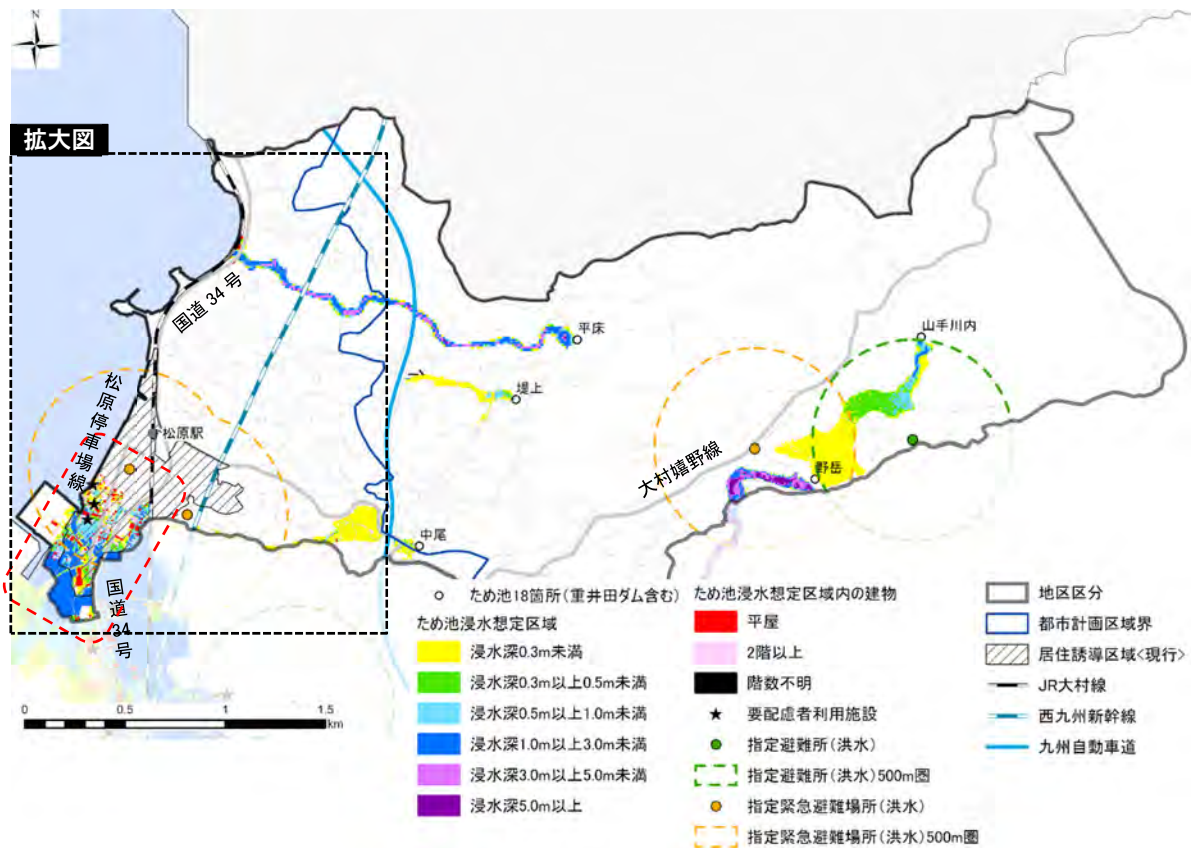
- 松原本町や松原2丁目、武留路町では基準水位1.0m以上3.0m未満の場所(=2階床下ほどまで水位が達する恐れがある場所)や基準水位0.5m以上1.0m未満の場所(=歩行困難になる場所)が分布しており、平屋の建物も存在
- 津波災害警戒想定区域内に要配慮者利用施設(小学校、保育園、放課後児童クラブ)が存在

津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設



○松本本町において国道 34 号や県道松原停車場線沿いの浸水深が 0.3m 以上に達する場所があり道路が途絶する恐れ

ため池浸水想定区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



- 松本本町を中心にため池浸水想定区域が比較的広く分布しており、建物も立地
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)も比較的広く、平屋の建物も存在
- ため池浸水想定区域内に要配慮者利用施設(小学校、保育園、放課後児童クラブ)が存在

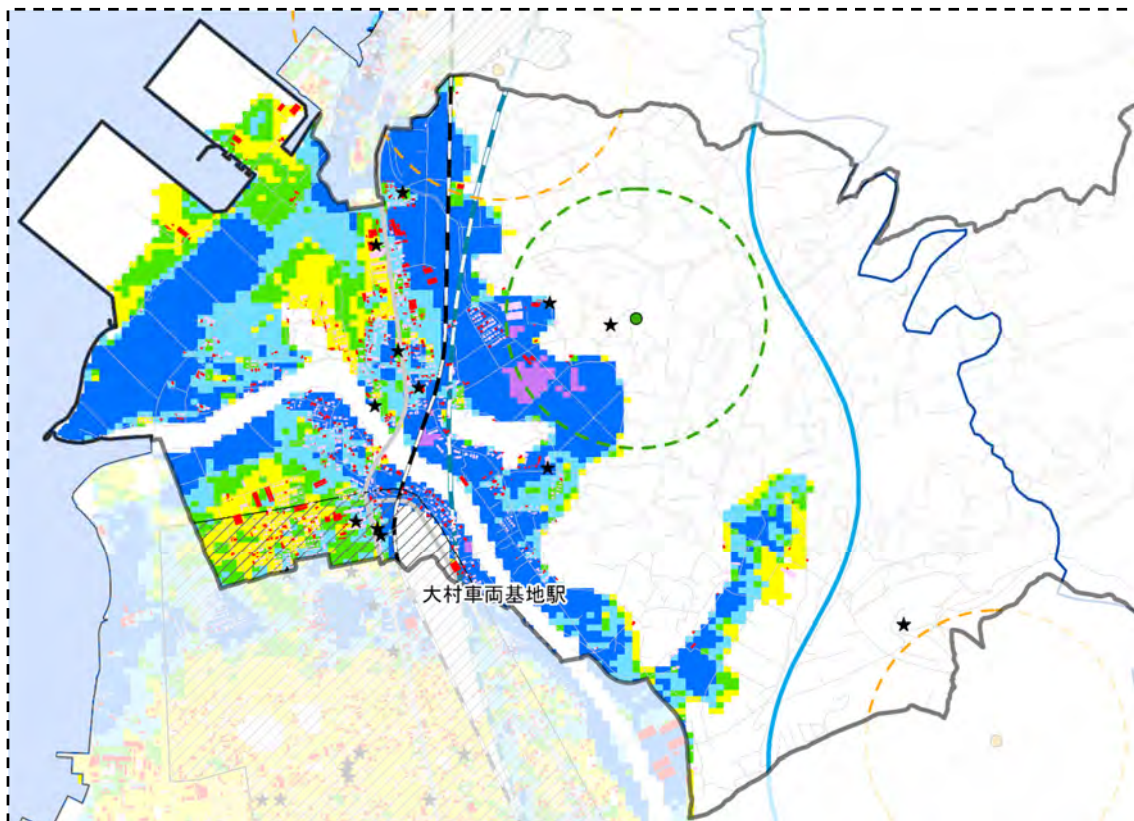
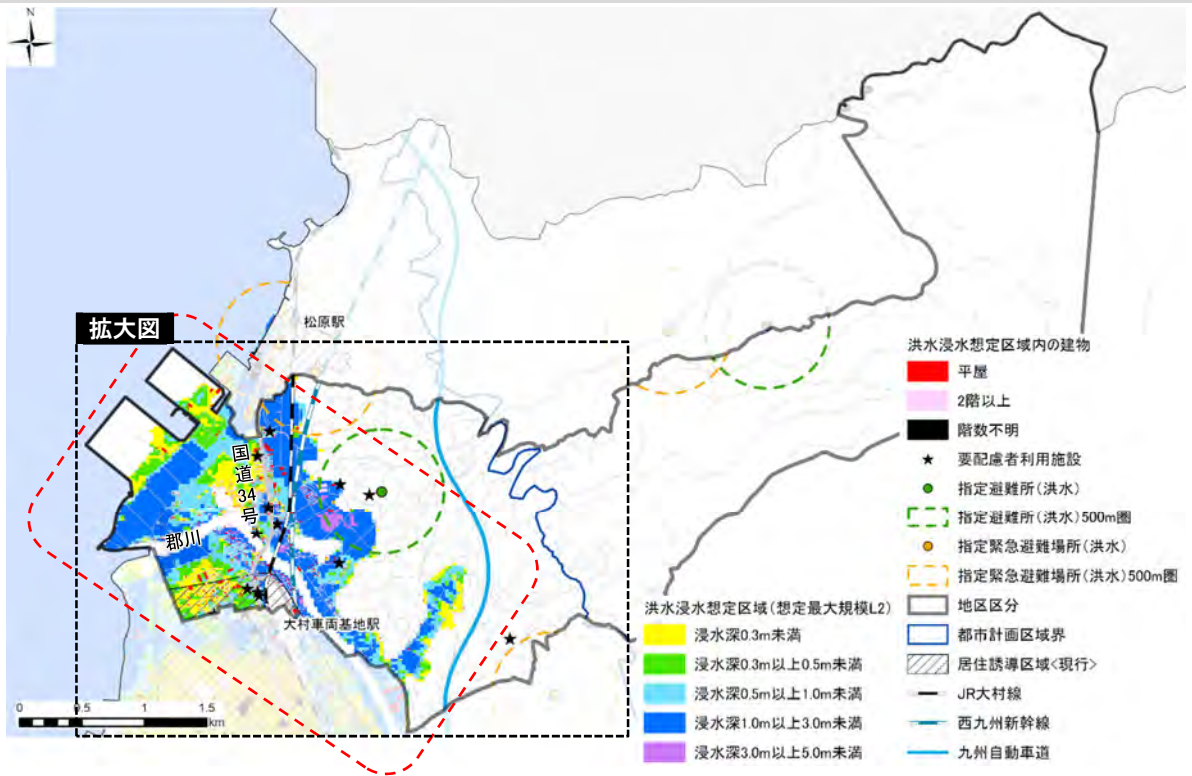
ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



○松本本町において国道 34 号や県道松原停車場線沿いの浸水深が 0.3m 以上に達する場所があり道路が途絶する恐れ

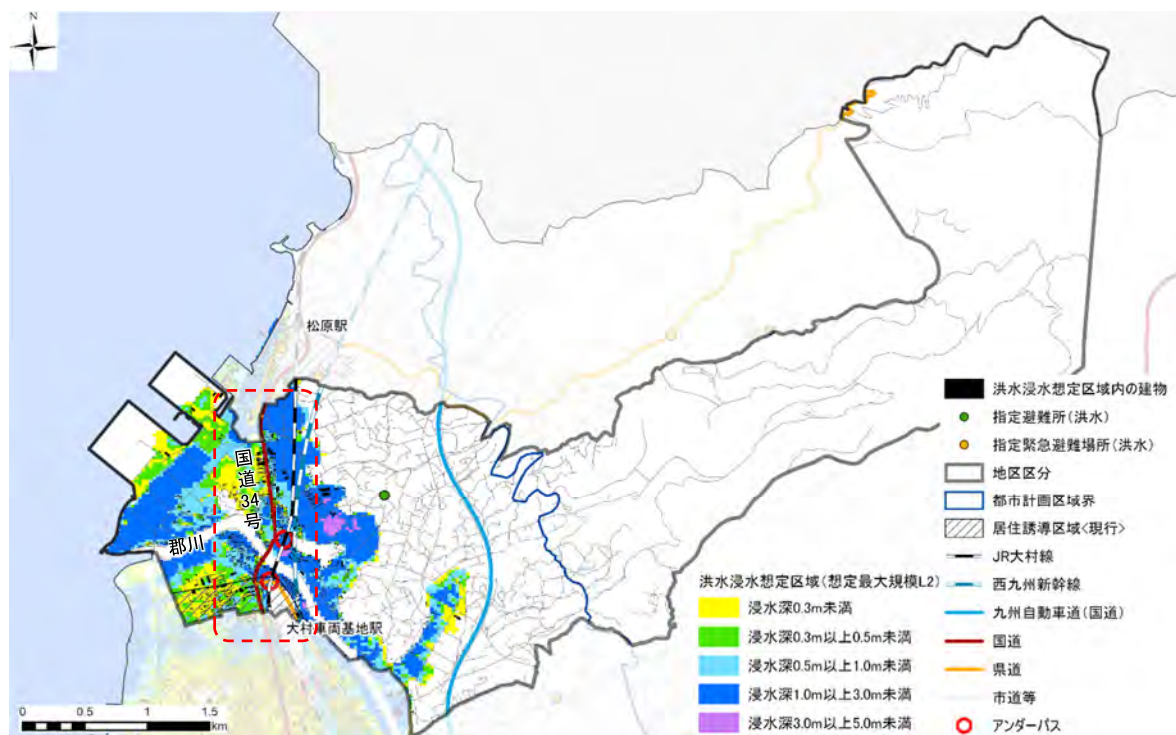
2. 福重地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



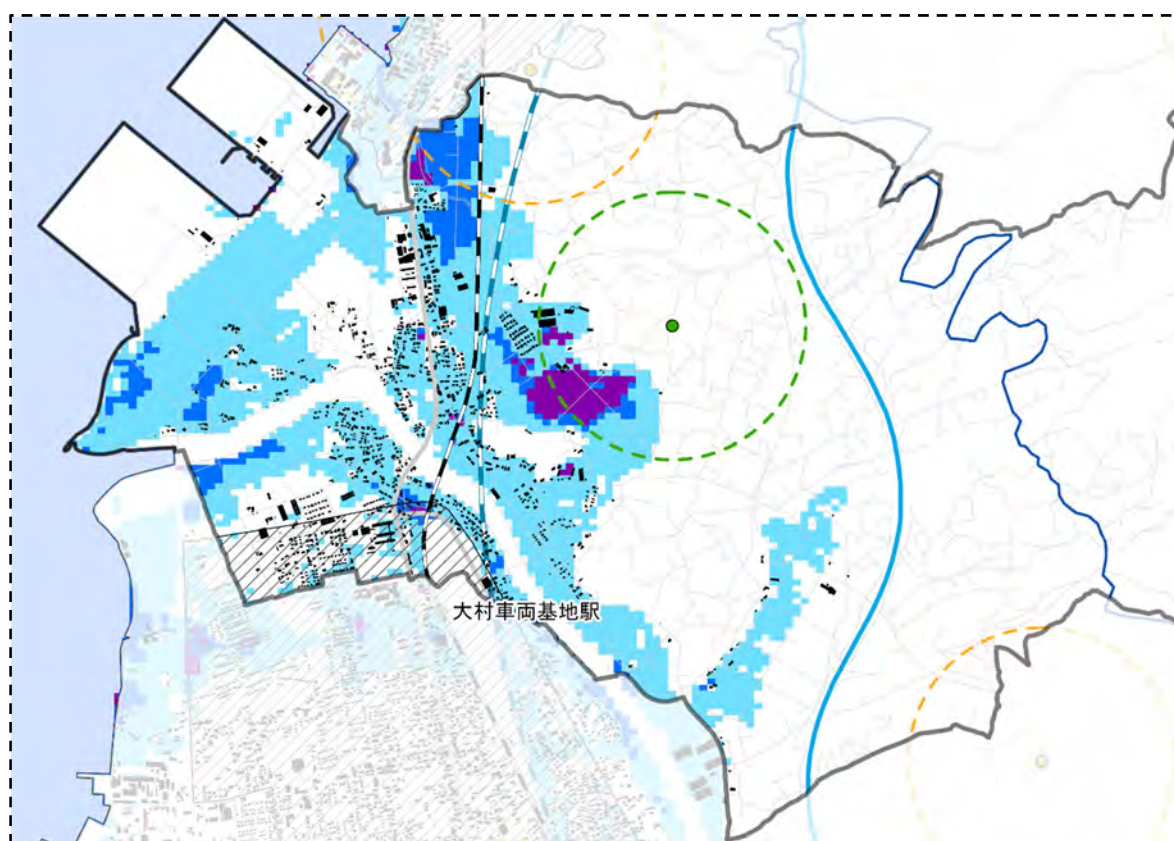
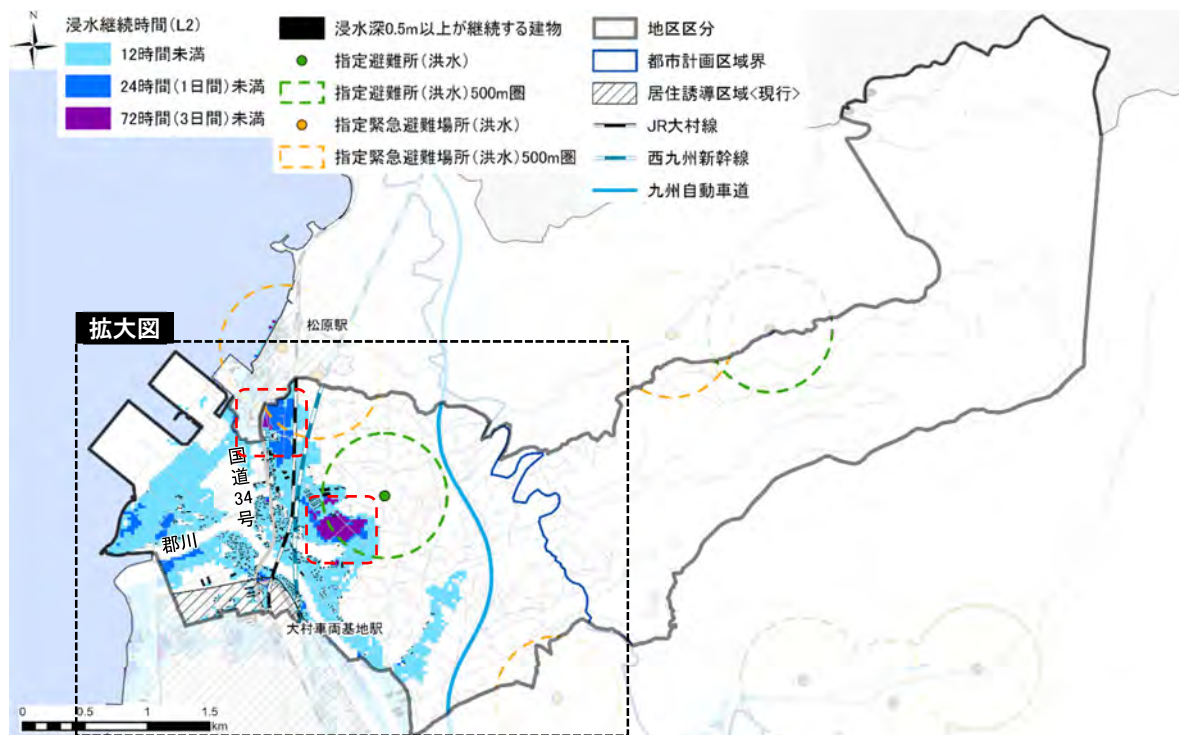
- 浸水深 3.0m 以上～5.0m 未満の場所(=2階軒下ほどまで浸水する恐れがある場所)が皆同町に局所的に存在
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)も寿古町や皆同町、沖田町などを中心に広範囲に分布しており、平屋の建物も存在
- 洪水浸水想定区域内に要配慮者利用施設(小中学校、保育園、高齢者施設、障害者福祉施設、診療所)が存在

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設



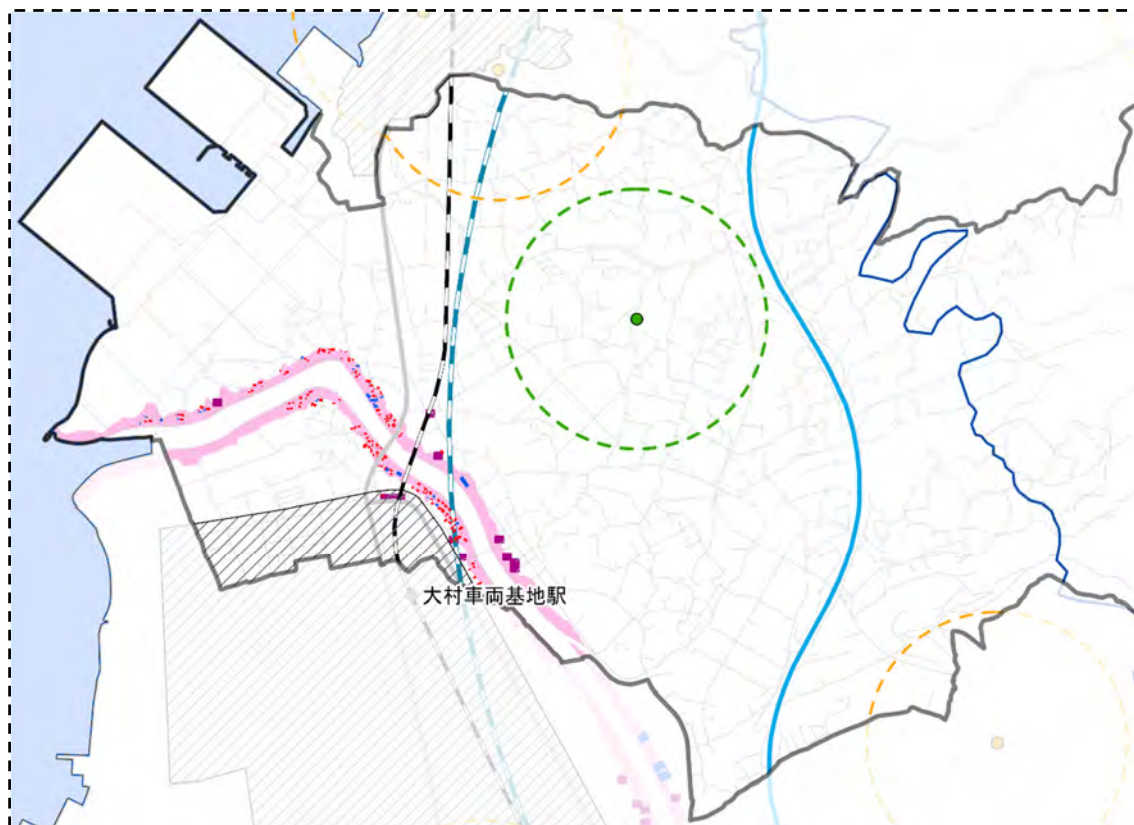
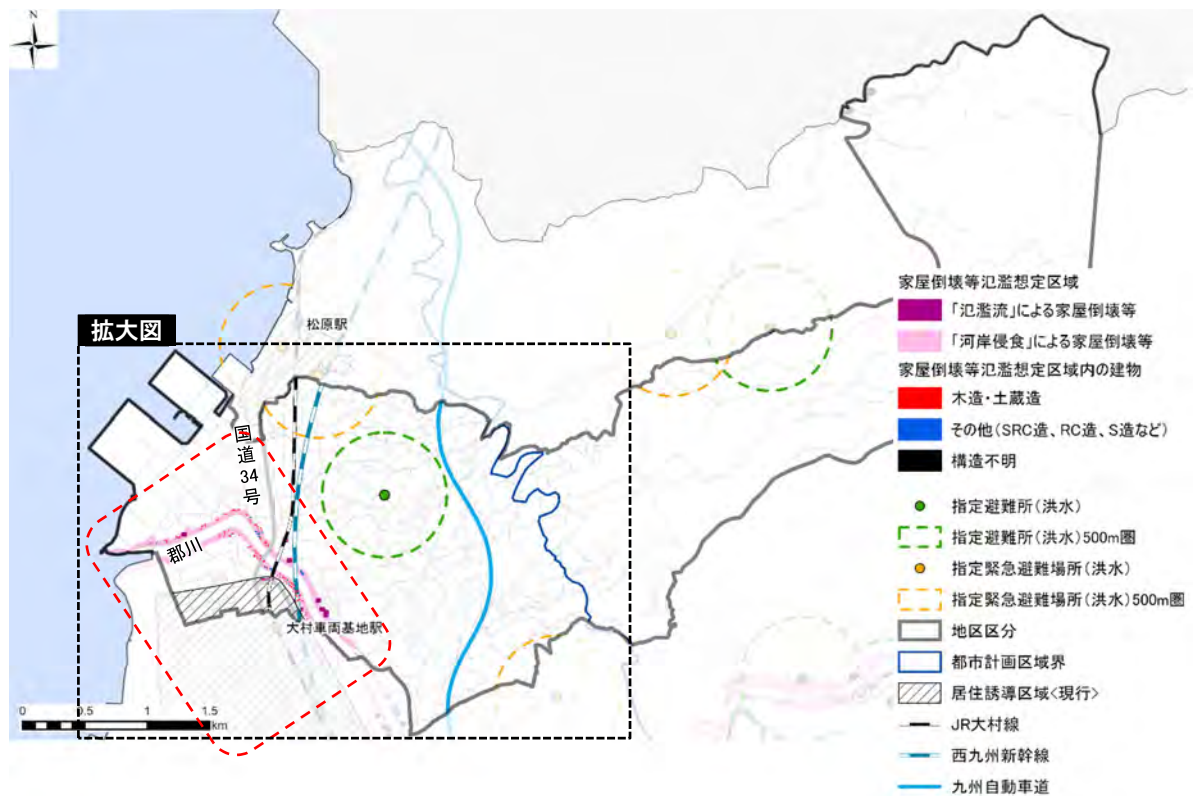
○寿古町において国道 34 号沿いの浸水深が 0.3m 以上(=自動車が走行できない浸水深)に達する場所があり道路が途絶する恐れ

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水継続時間) × 建物・避難施設



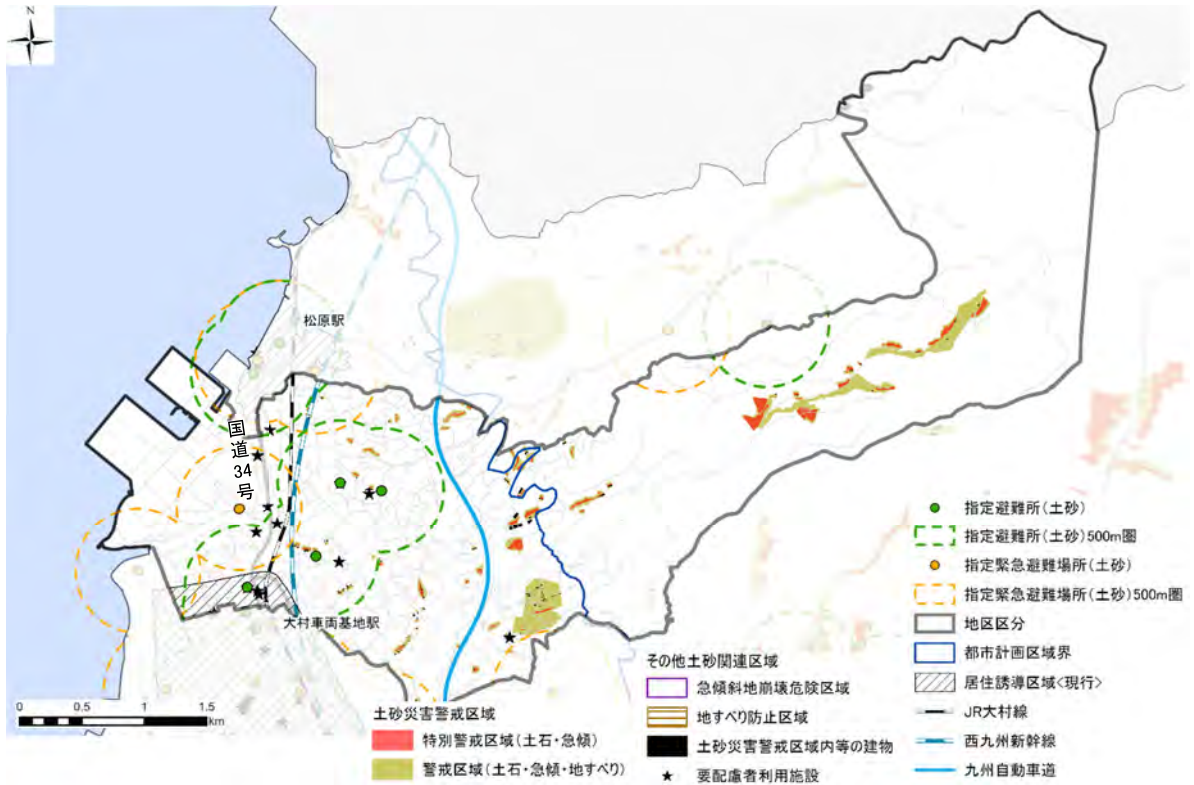
○浸水継続時間(=洪水時に避難が困難となる一定の浸水深 0.5m を上回る時間)が1日以上～3日未満となる場所が草場町や福重町を中心に局所的に存在し、建物も立地

家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設



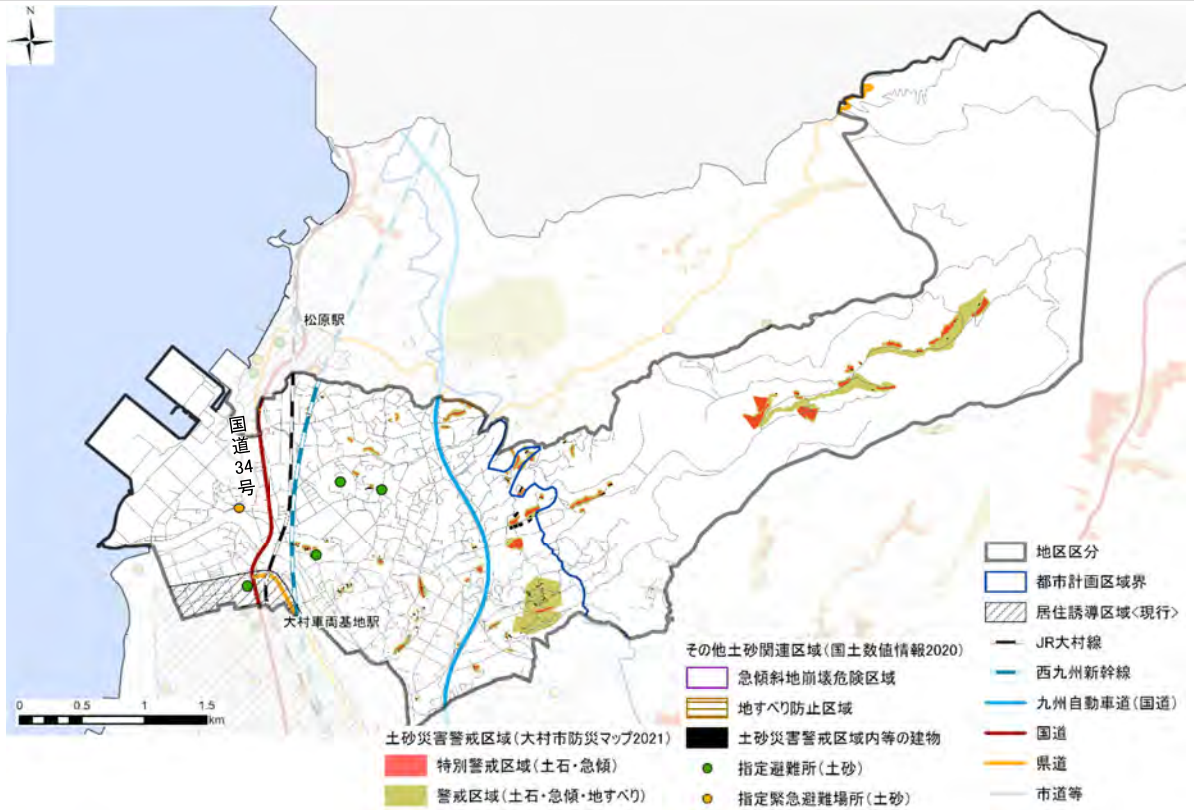
- 郡川沿いに家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)が線状に分布しており、建物の立地もみられ、洪水時、河岸浸食による家屋倒壊の恐れ
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)も局所的に存在しており、木造・土蔵造りの建物の立地もみられ、洪水時、木造家屋が倒壊するような堤防決壊等が発生する恐れ

土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

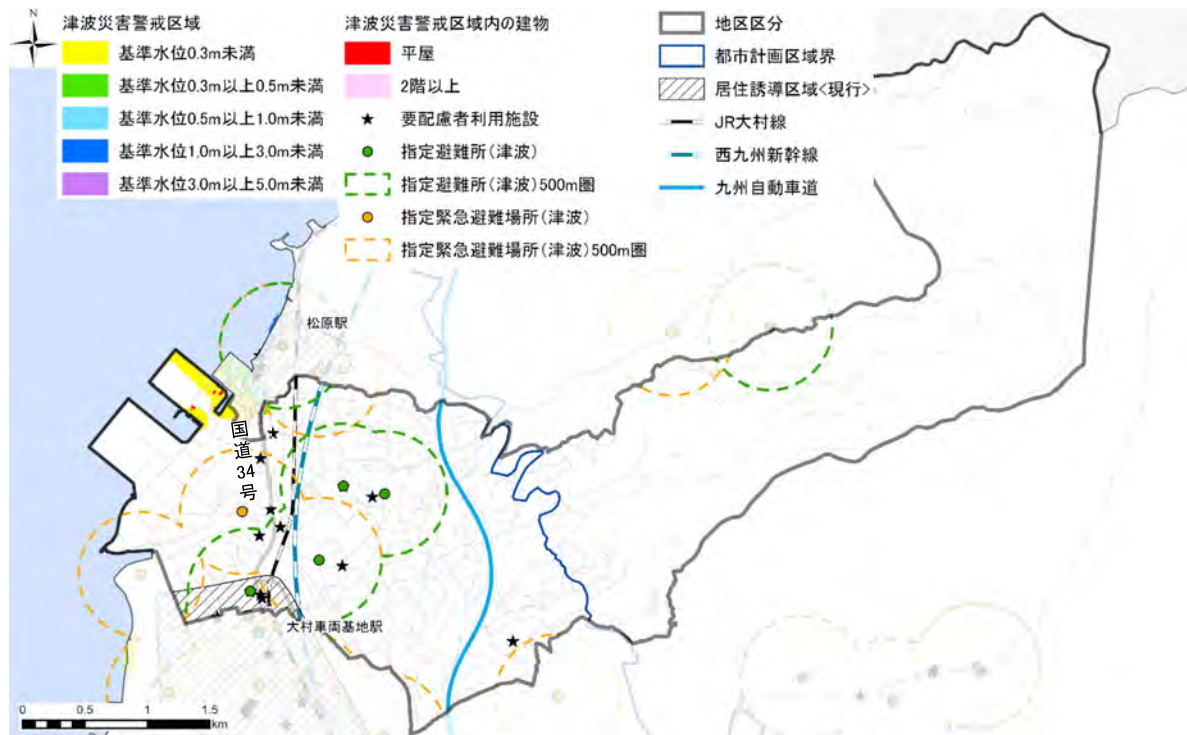


- 重井田町、野田町、立福寺町を中心に土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域の集積や面的広がりがみられ、建物も立地
- 福重町や野田町で土砂災害警戒区域に近接する要配慮者利用施設(高齢者施設、保育園)が存在

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設

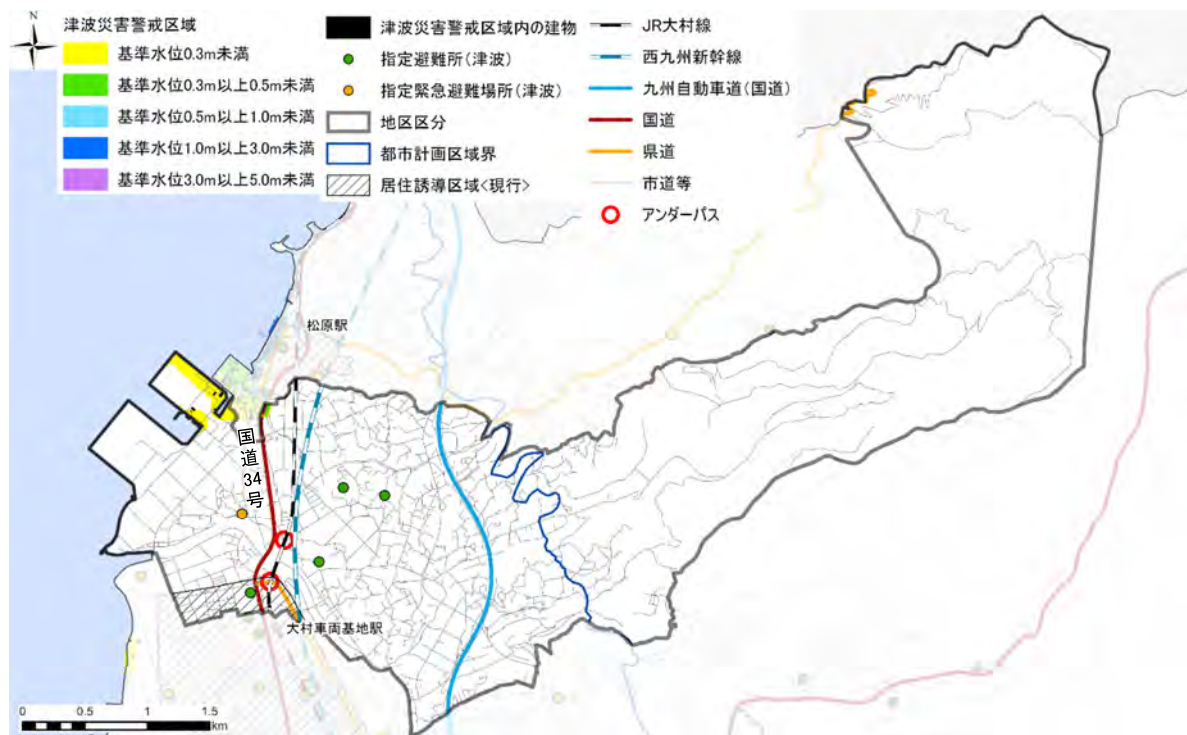


津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

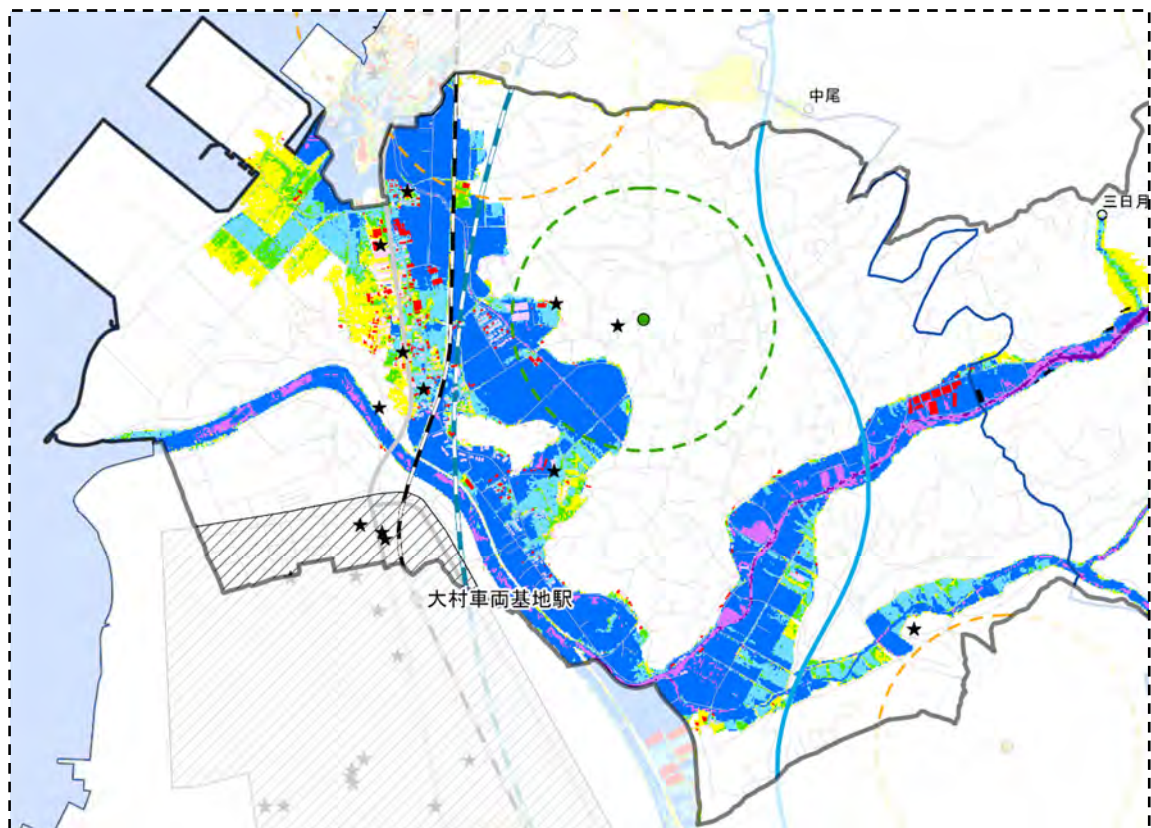
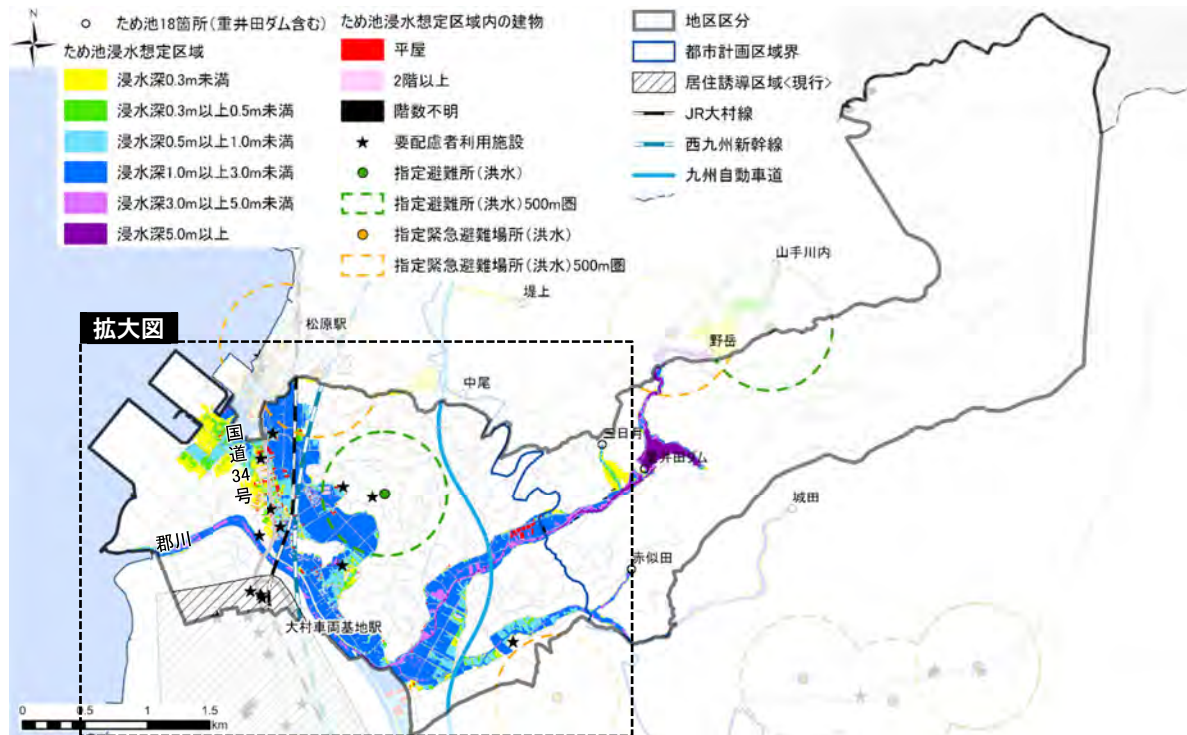


○寿古町や草場町では基準水位 0.5m 未満の場所が分布しており、一部の場所で建物も立地

津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設

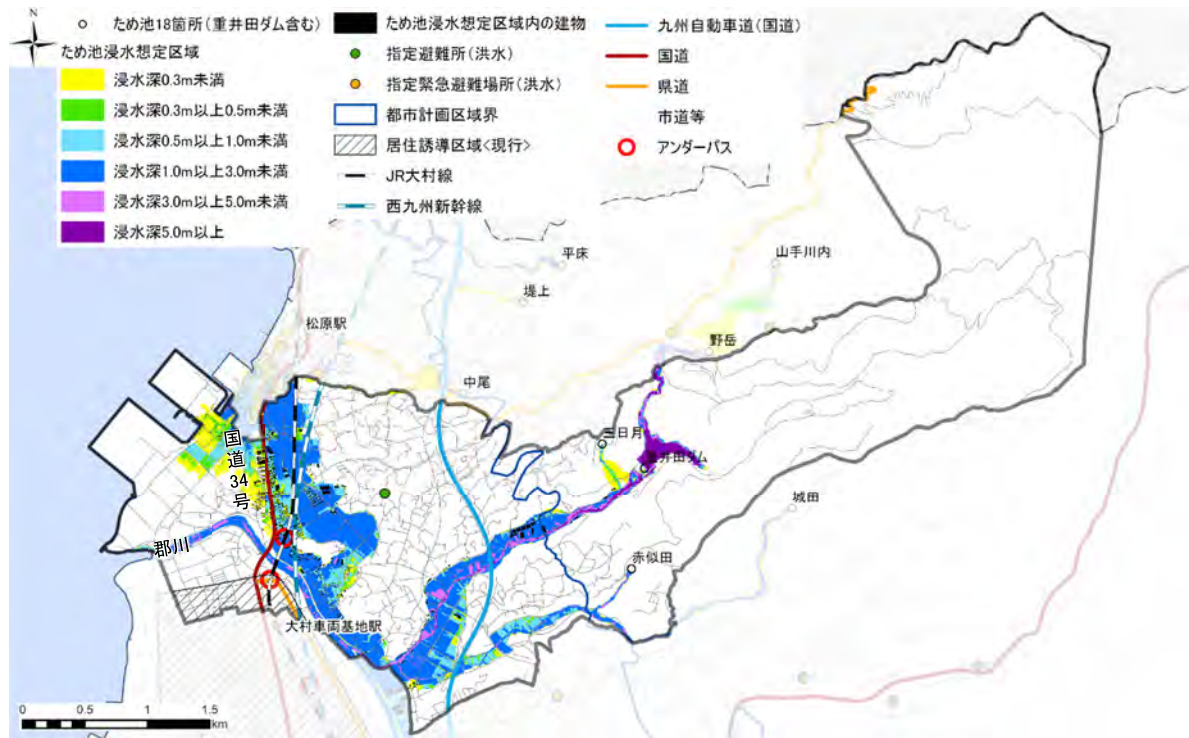


ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設



- ため池浸水想定区域が広く分布しており、建物も多数立地
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)も草場町や皆同町、福重町、今富町、立福寺町、野田町で比較的広く、平屋の建物も存在
- ため池浸水想定区域内に要配慮者利用施設(小学校、保育園、高齢者施設、障害者福祉施設、診療所)が存在

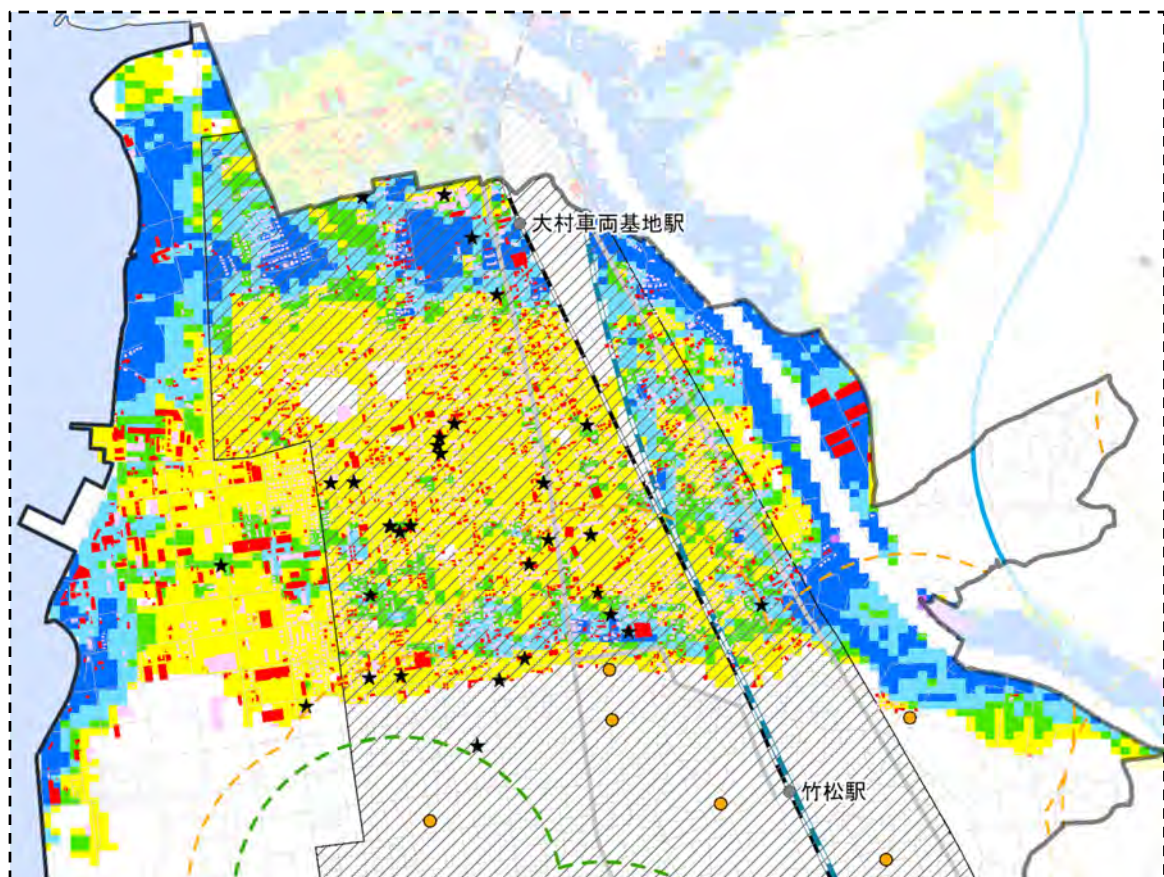
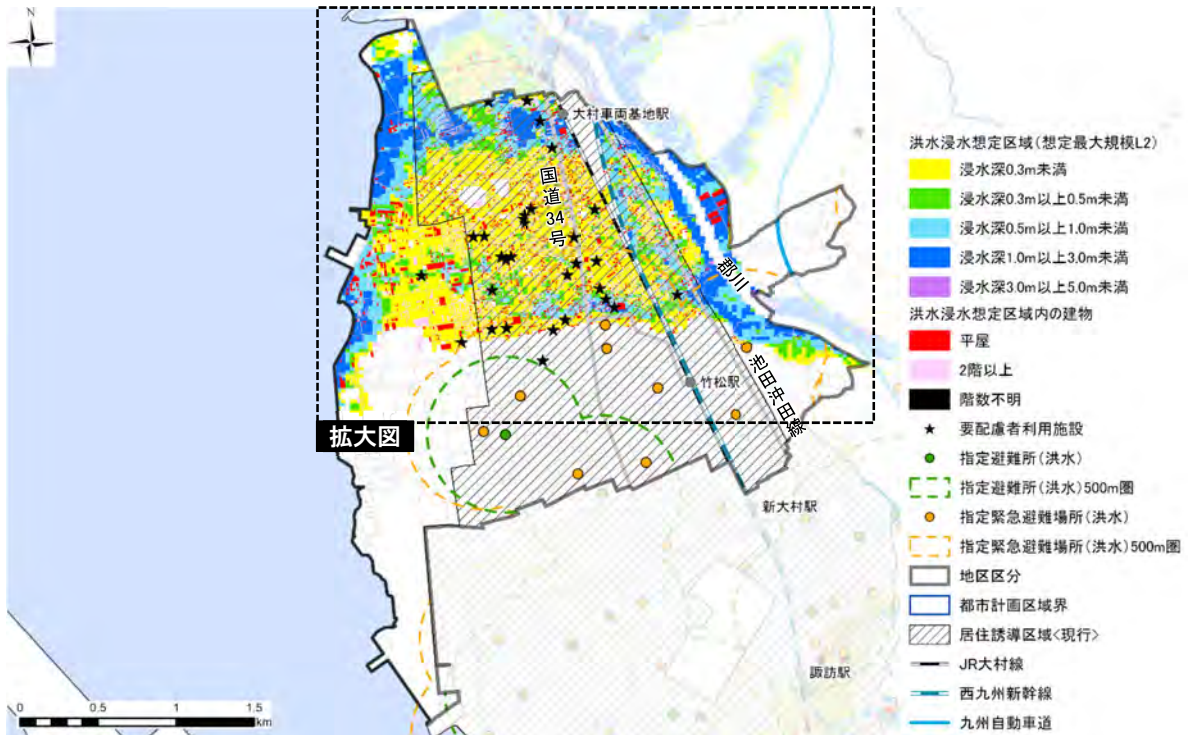
ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



○寿古町、皆同町において国道 34 号沿いが浸水深 0.3m 以上に達する場所があり、道路が途絶する恐れ

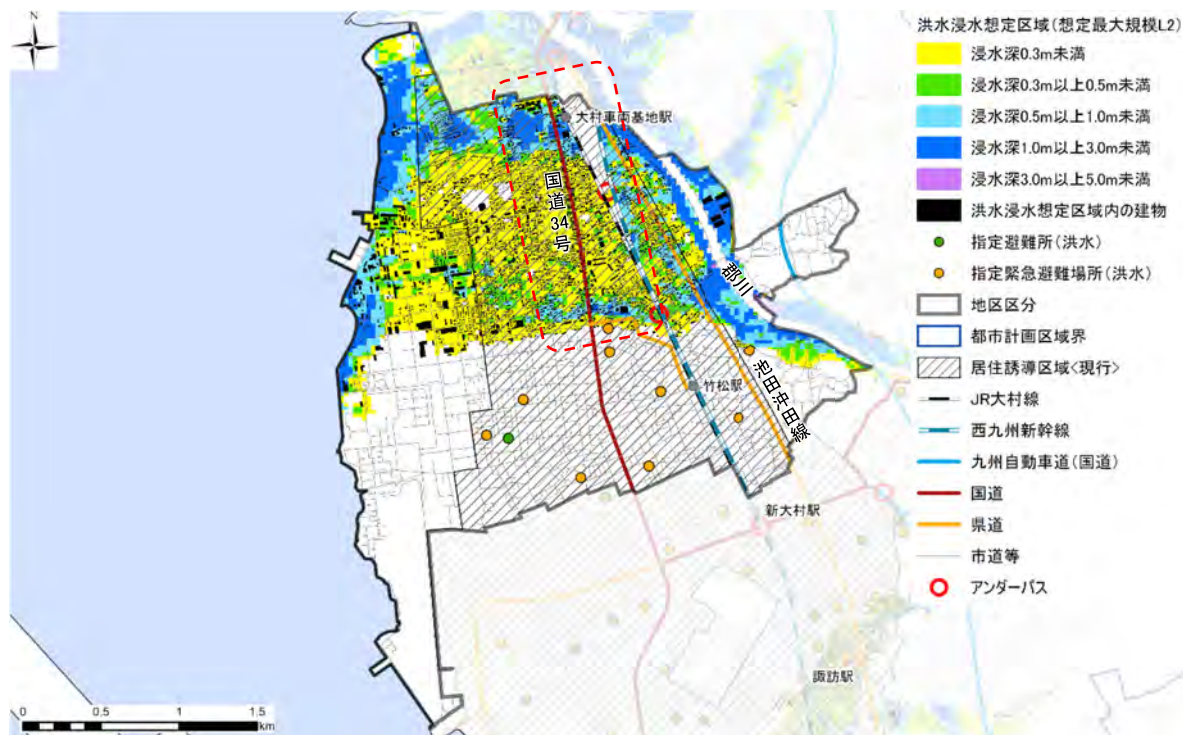
3. 竹松地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



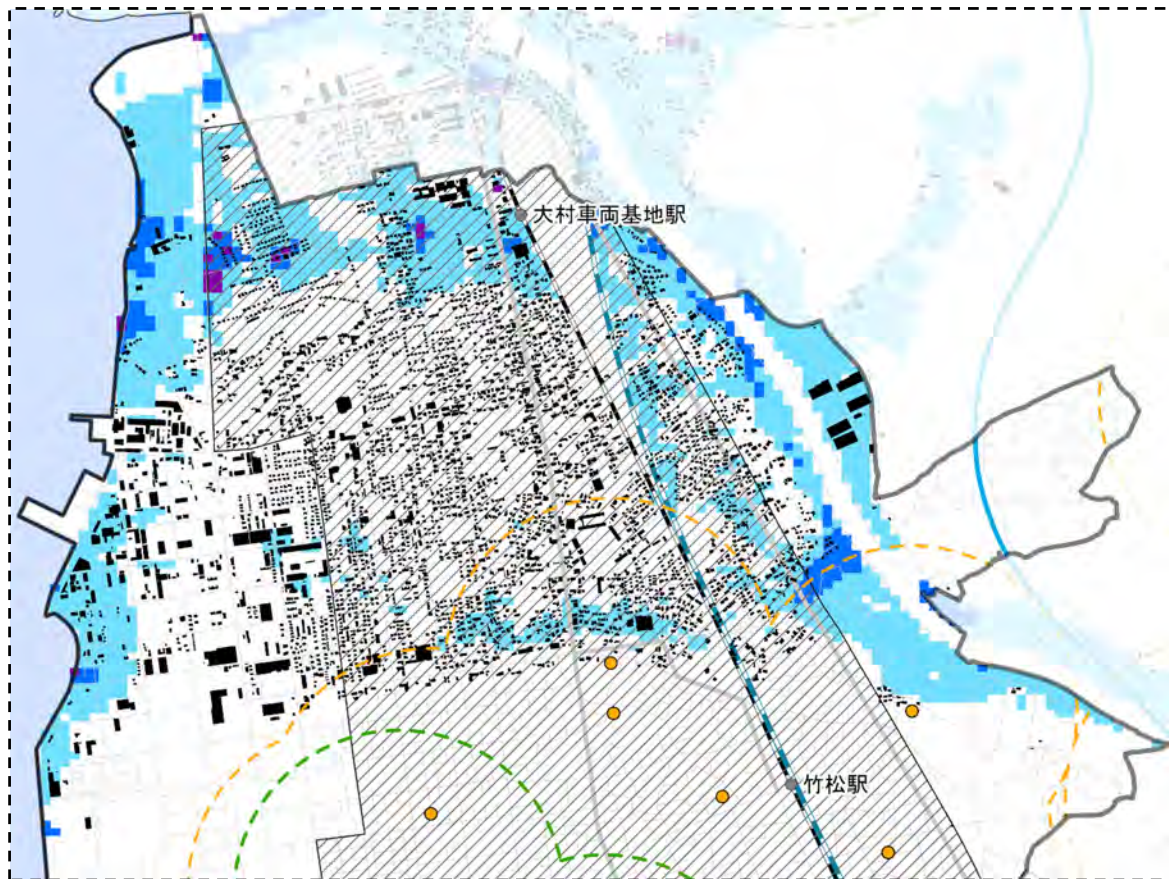
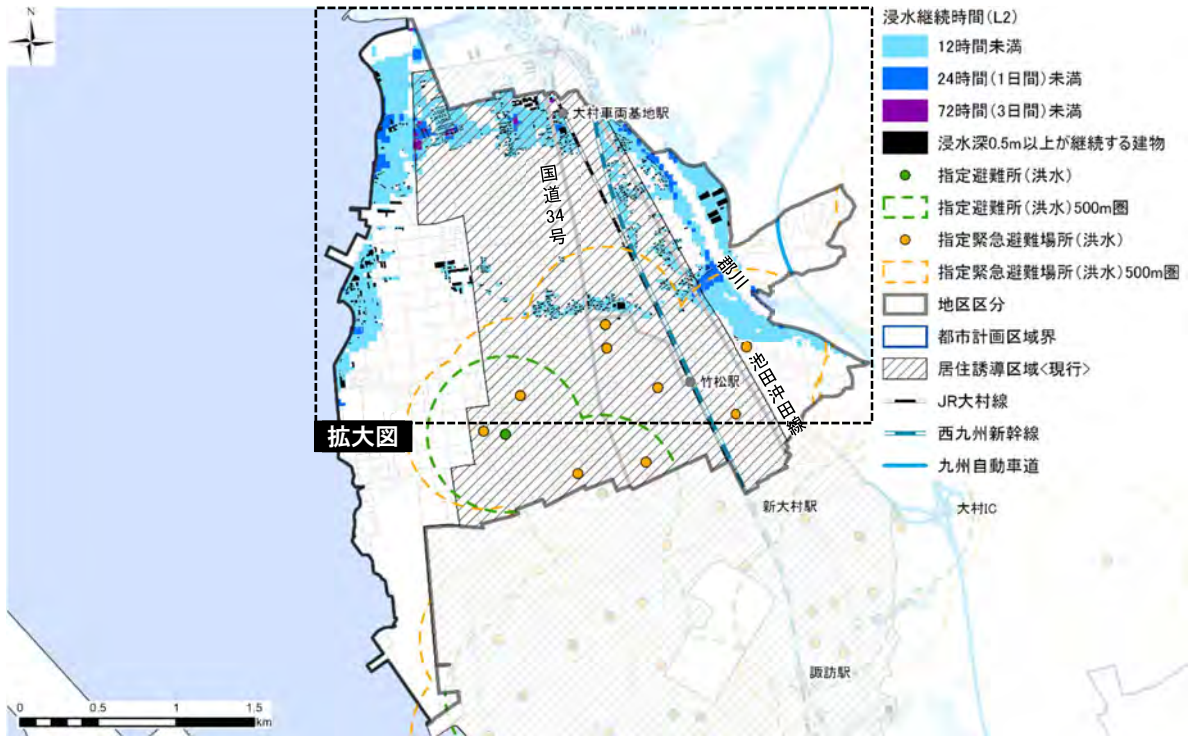
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)が大村湾や郡川沿いを中心に分布しており、平屋の建物も存在
- 洪水浸水想定区域内に要配慮者利用施設(学校、保育園、放課後児童クラブ、高齢者施設、障害者福祉施設、診療所)が存在

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設



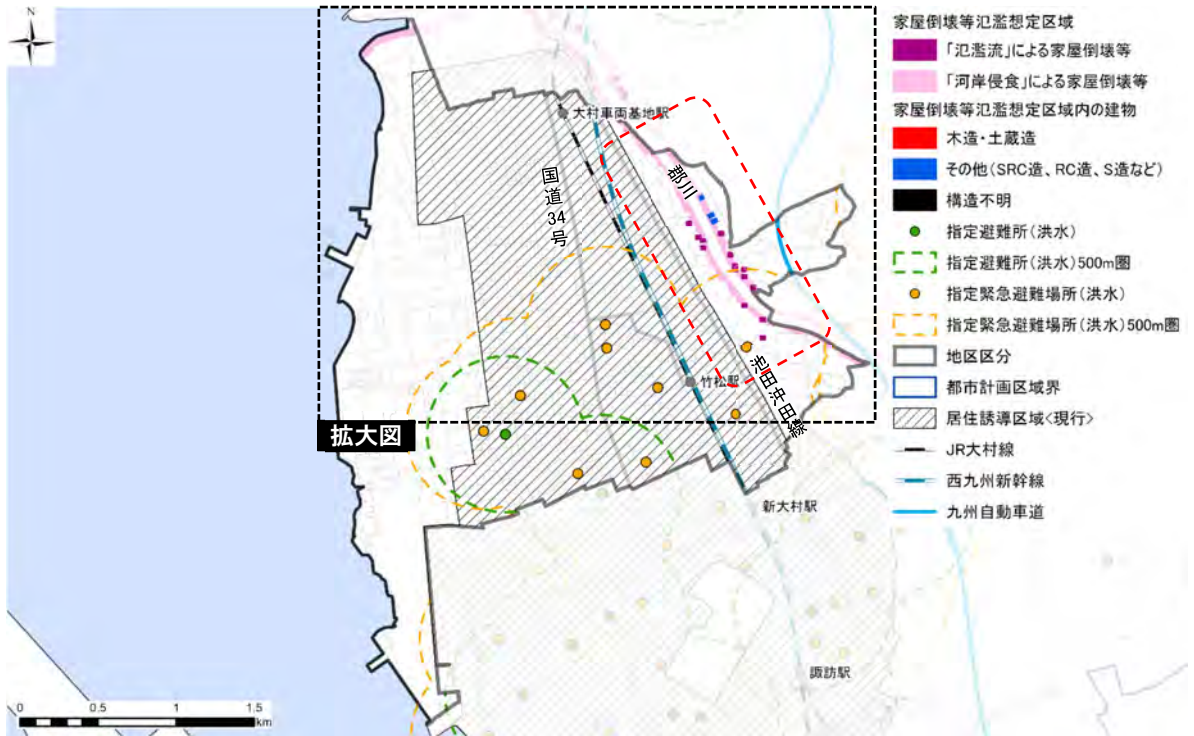
○沖田町において国道 34 号沿いの浸水深が 0.3m 以上(=自動車が行けない浸水深)に達する場所があり道路が途絶する恐れ

洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水継続時間) × 建物・避難施設

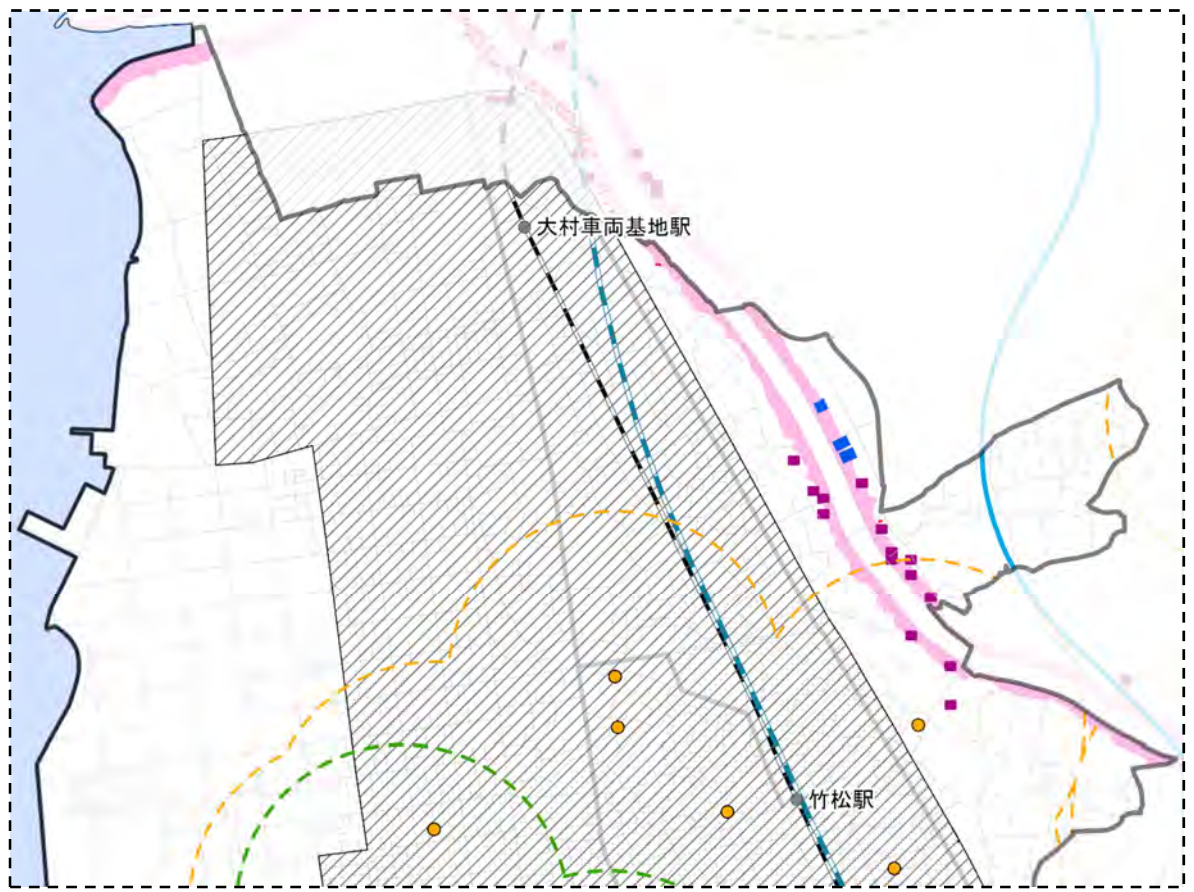


○浸水継続時間(=洪水時に避難が困難となる一定の浸水深 0.5m を上回る時間)が 1 日以上～3 日未満となる場所が黒丸町を中心に局所的に存在し、建物も立地

家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設

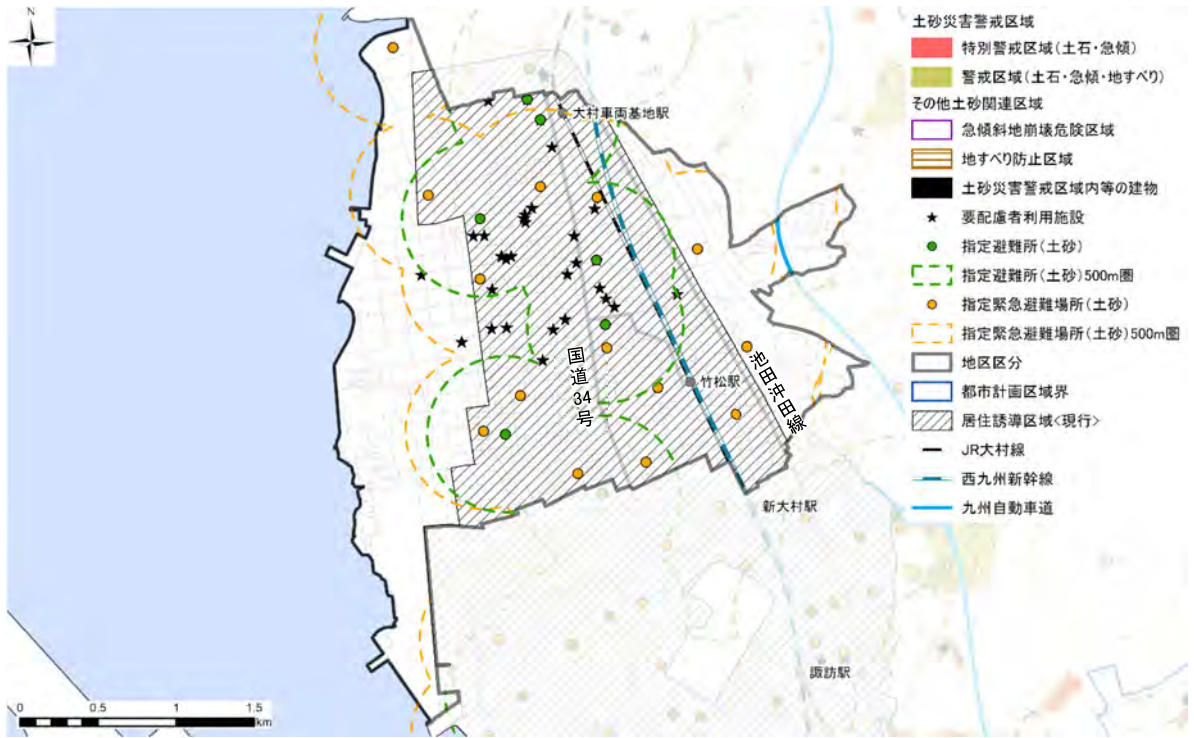


拡大図

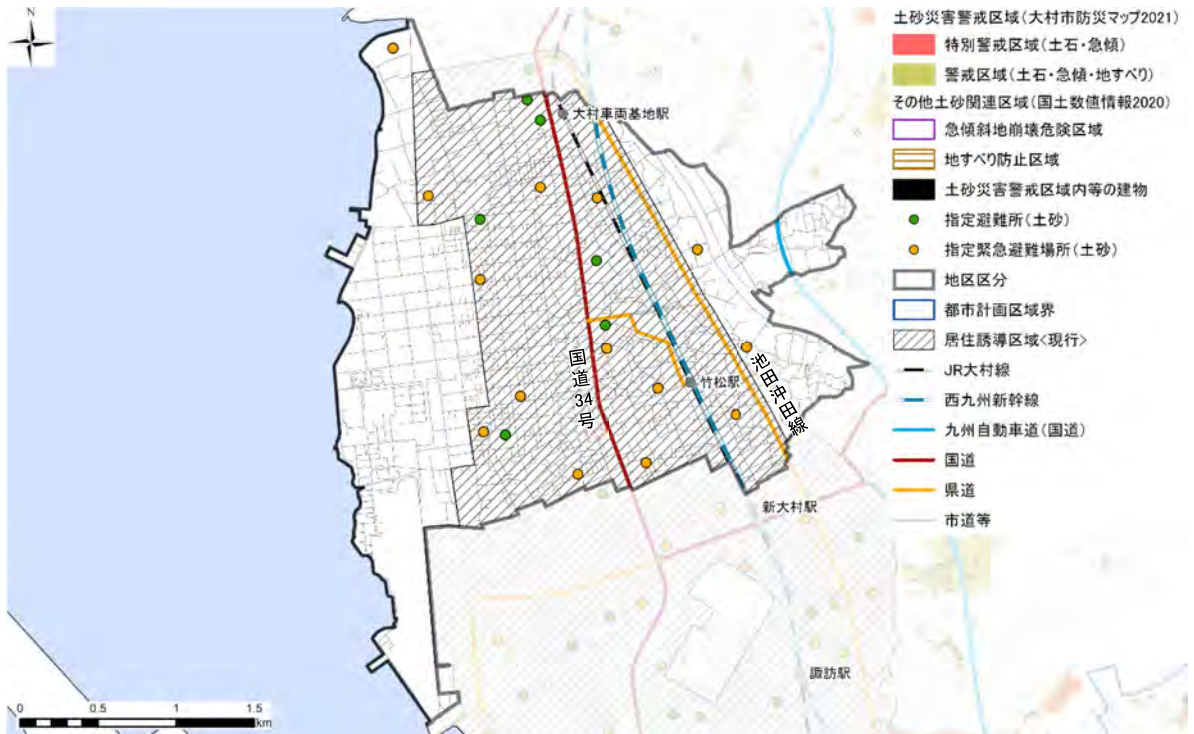


- 郡川沿いに家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)が線状に分布しており、建物の立地もみられ、洪水時、河岸浸食による家屋倒壊の恐れ
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)も局所的に存在

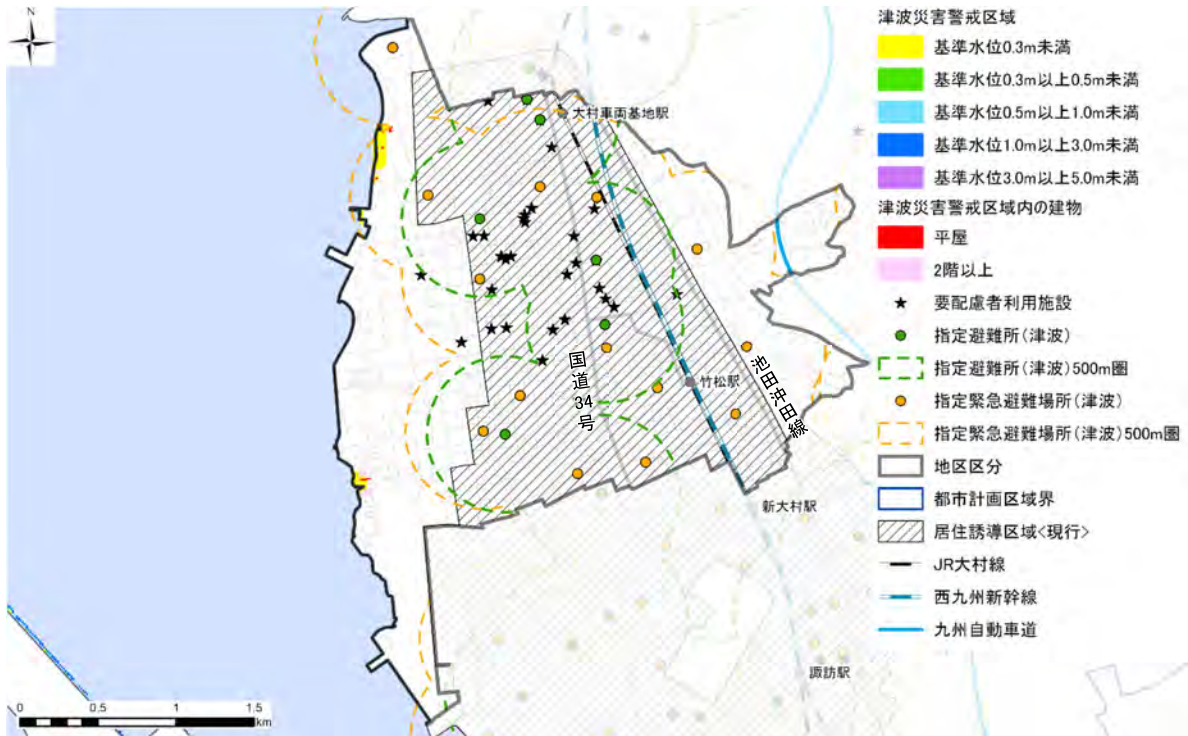
土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設

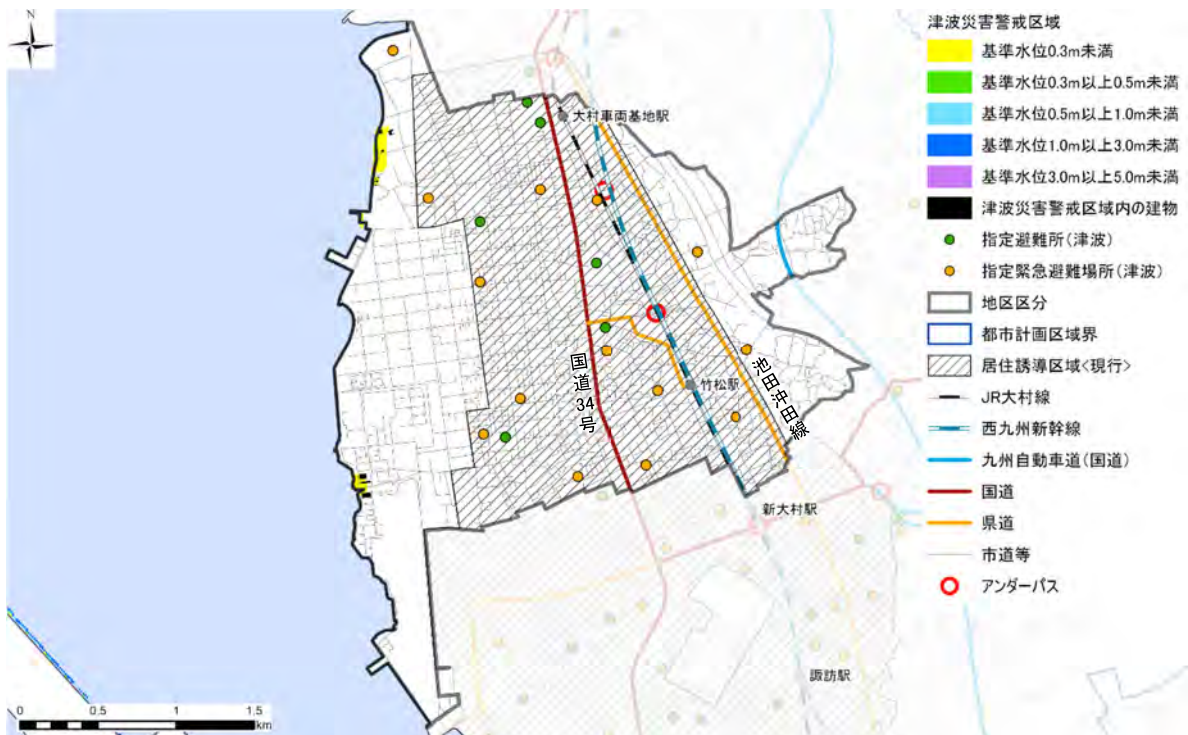


津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

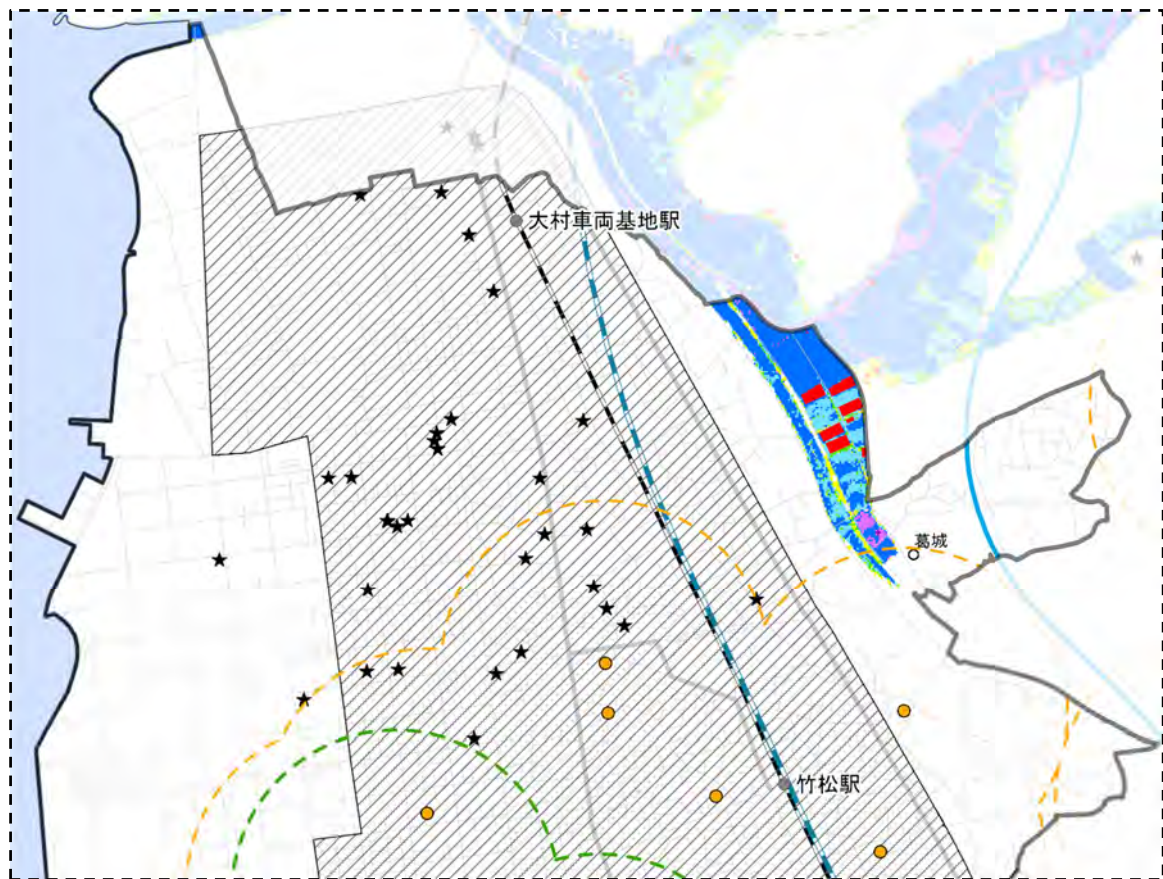
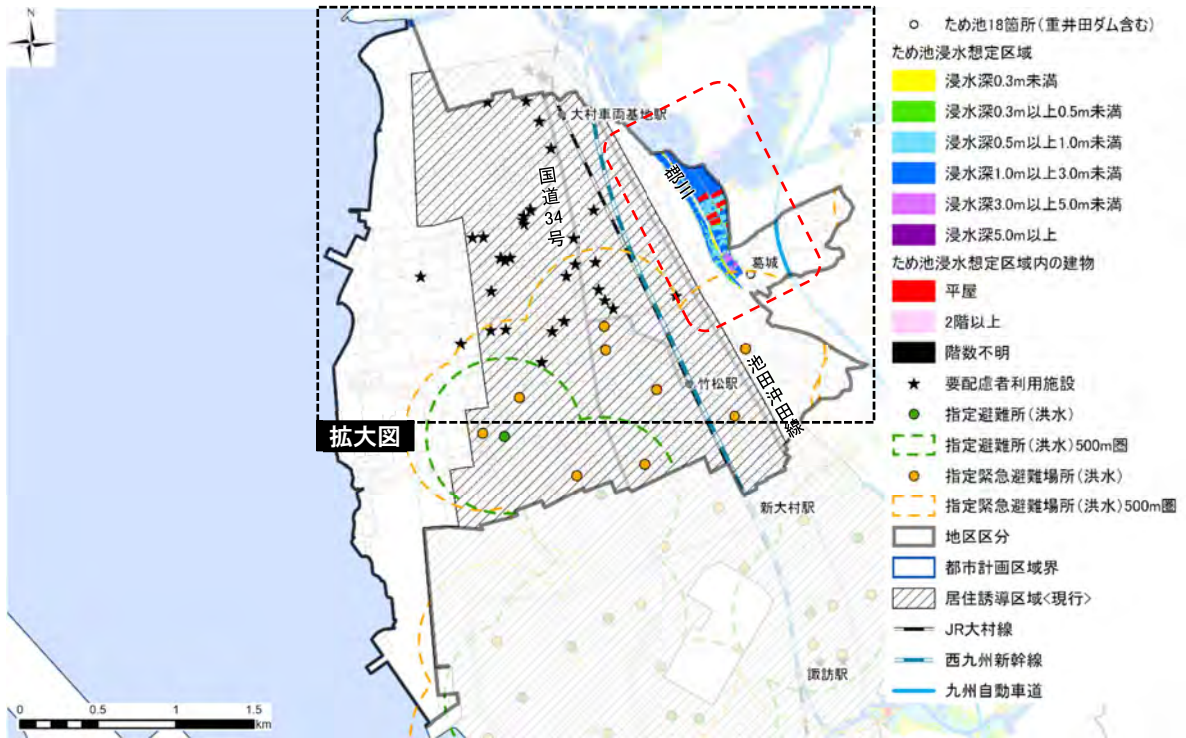


○黒丸町や富の原1丁目では基準水位 0.3m 未満の場所が分布しており、一部の箇所建物も立地

津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設

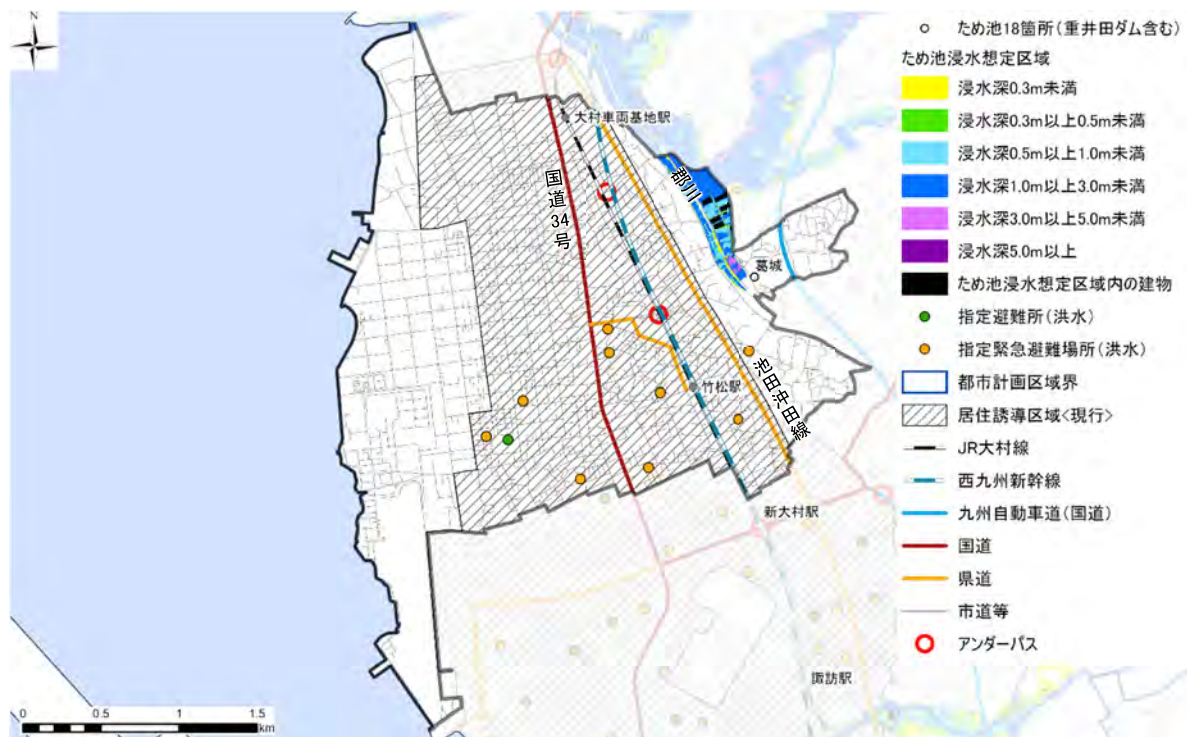


ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設



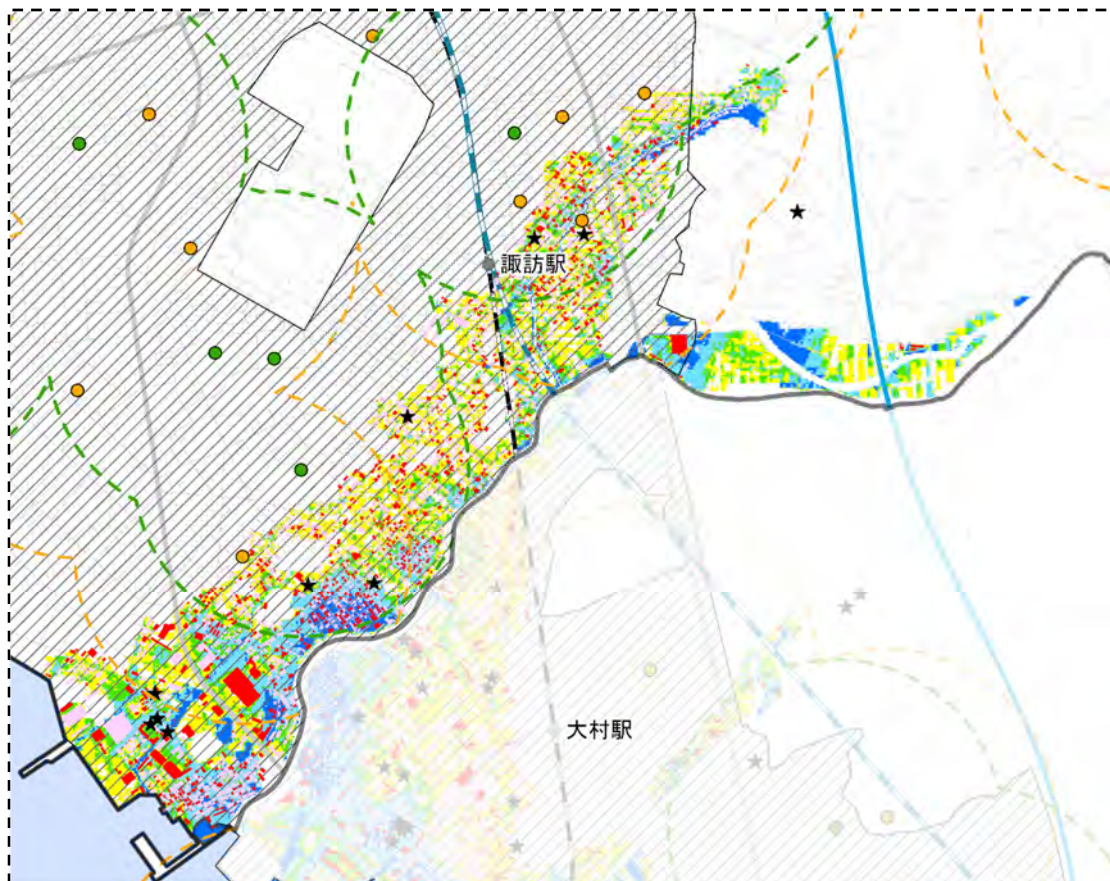
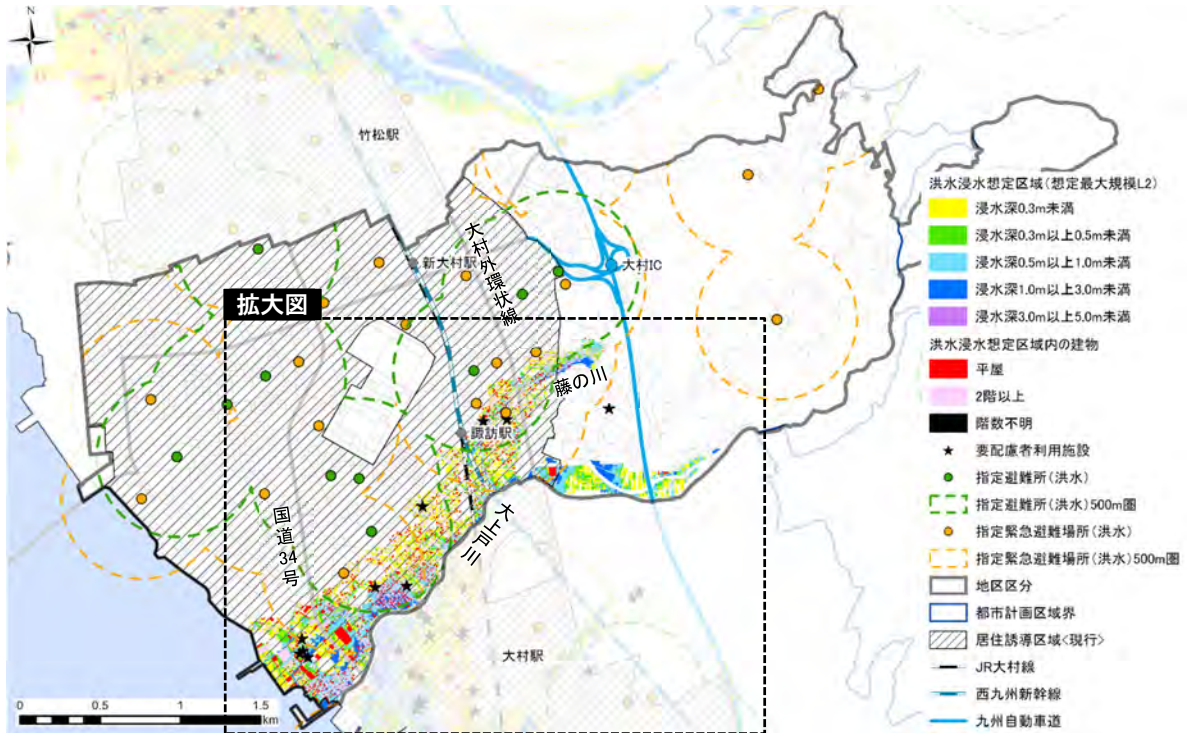
○竹松町や鬼橋町の郡川右岸でため池浸水想定区域が分布しており、建物の立地もみられます。浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)もあり、平屋の建物も存在

ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



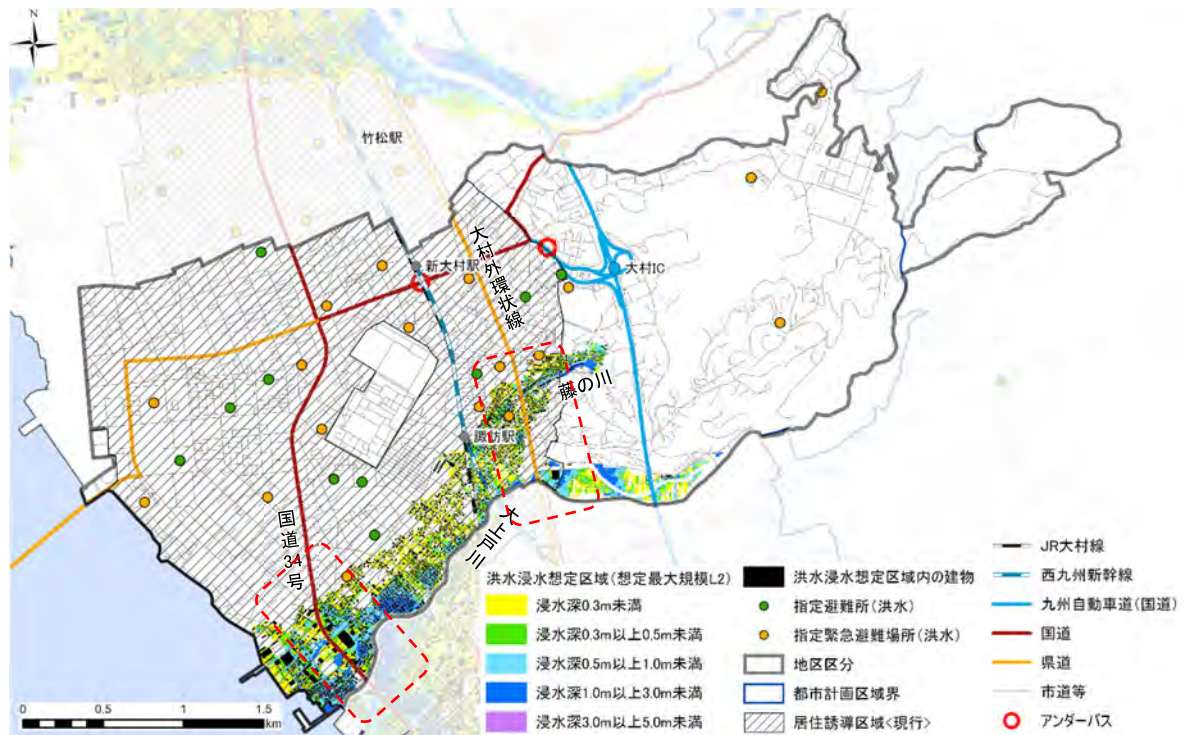
4. 西大村地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



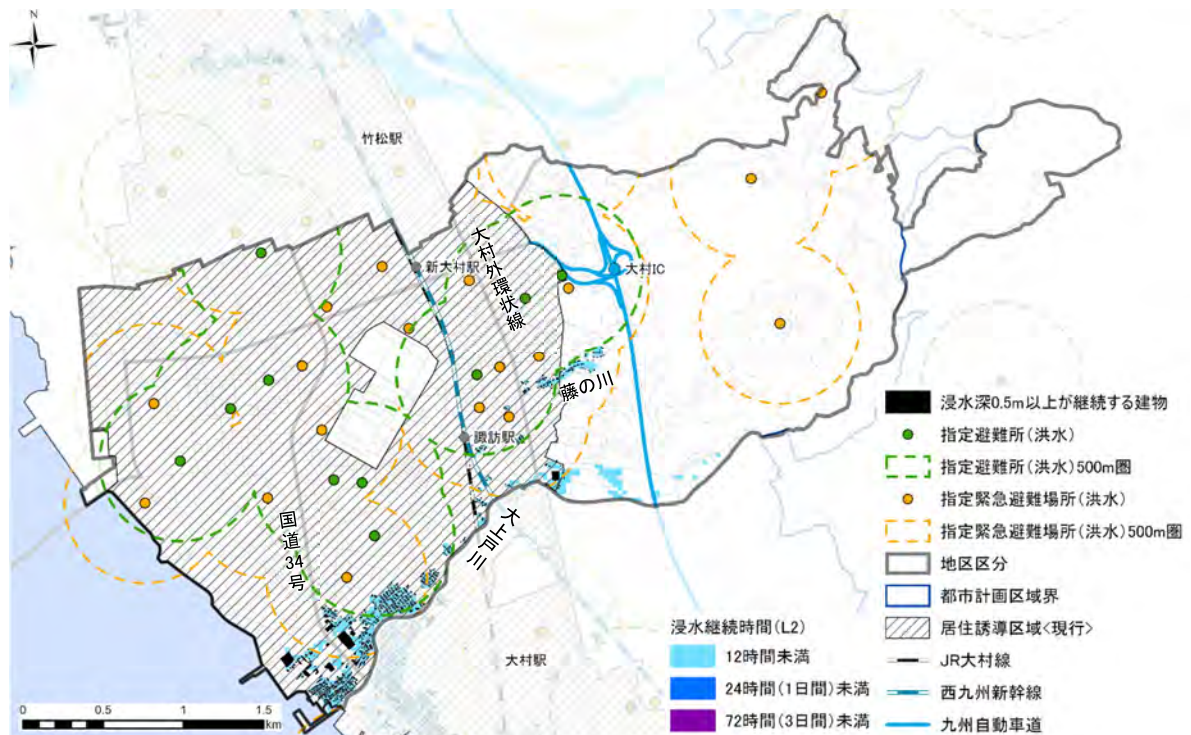
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)が大上戸川や藤の川沿いに分布しており、平屋の建物も存在
- 洪水浸水想定区域内に要配慮者利用施設(保育園、放課後児童クラブ、高齢者施設、診療所)が存在

洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設

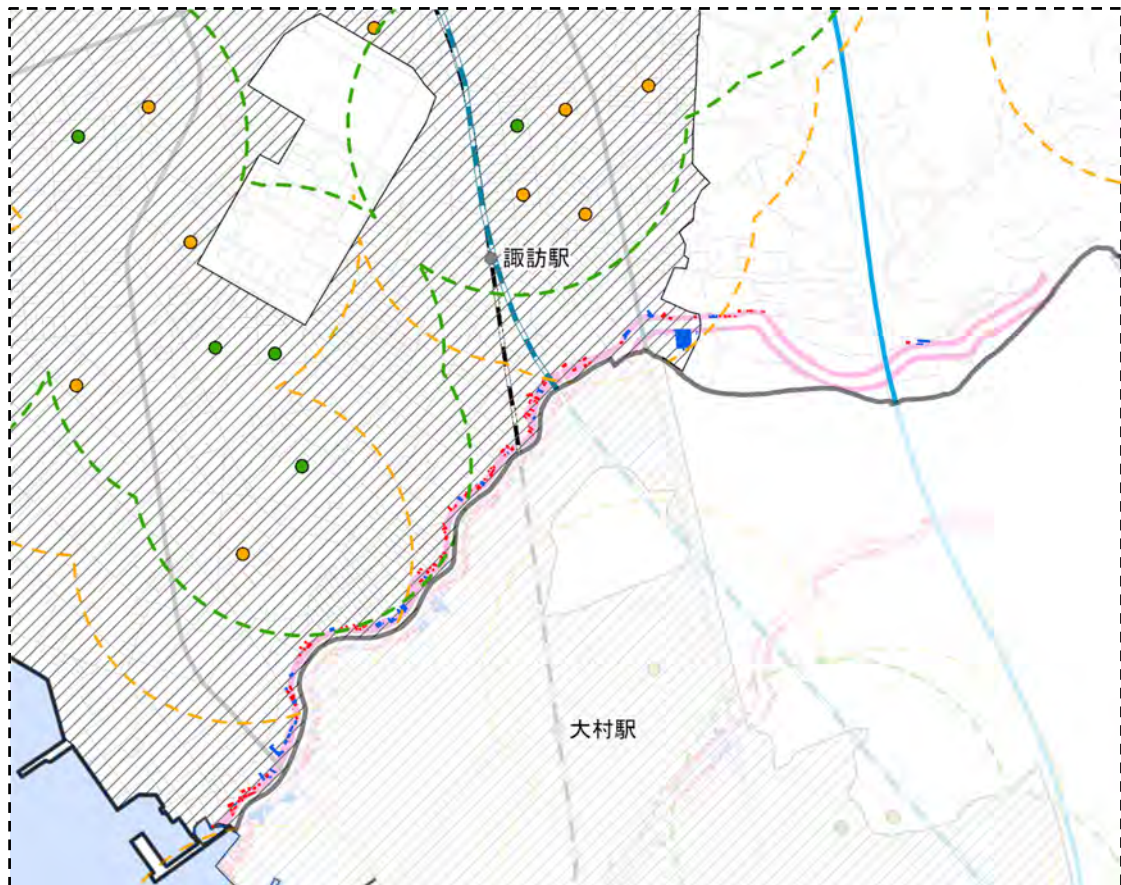
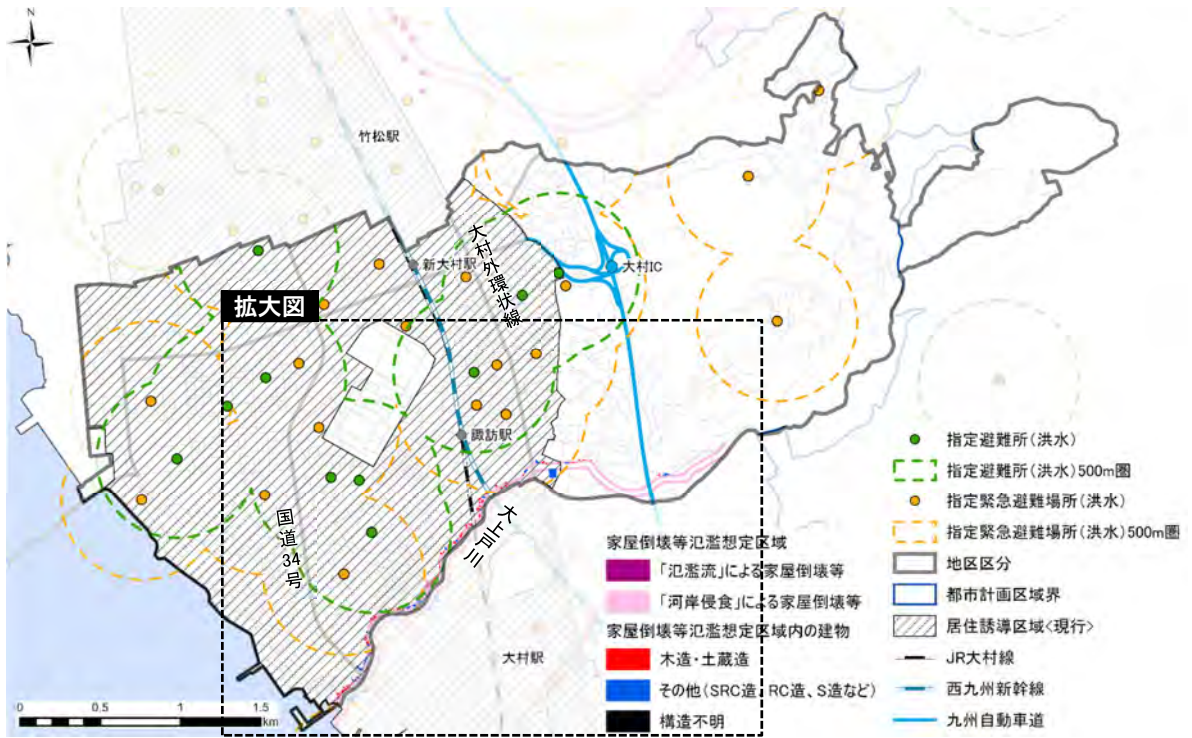


○杭出津 1・2 丁目において国道 34 号沿いが、また、諏訪、上諏訪町において県道大村外環状線沿いが浸水深が 0.3m 以上(=自動車が行きできない浸水深)に達する場所があり道路が途絶する恐れ

洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水継続時間) × 建物・避難施設

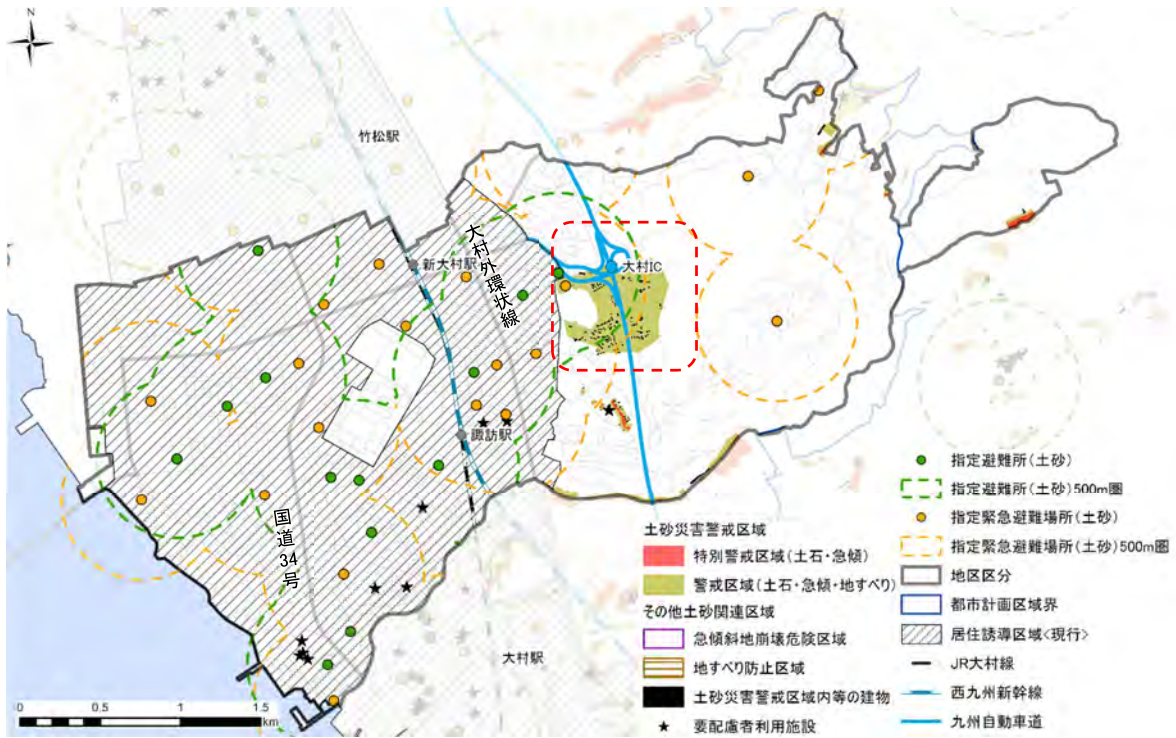


家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設



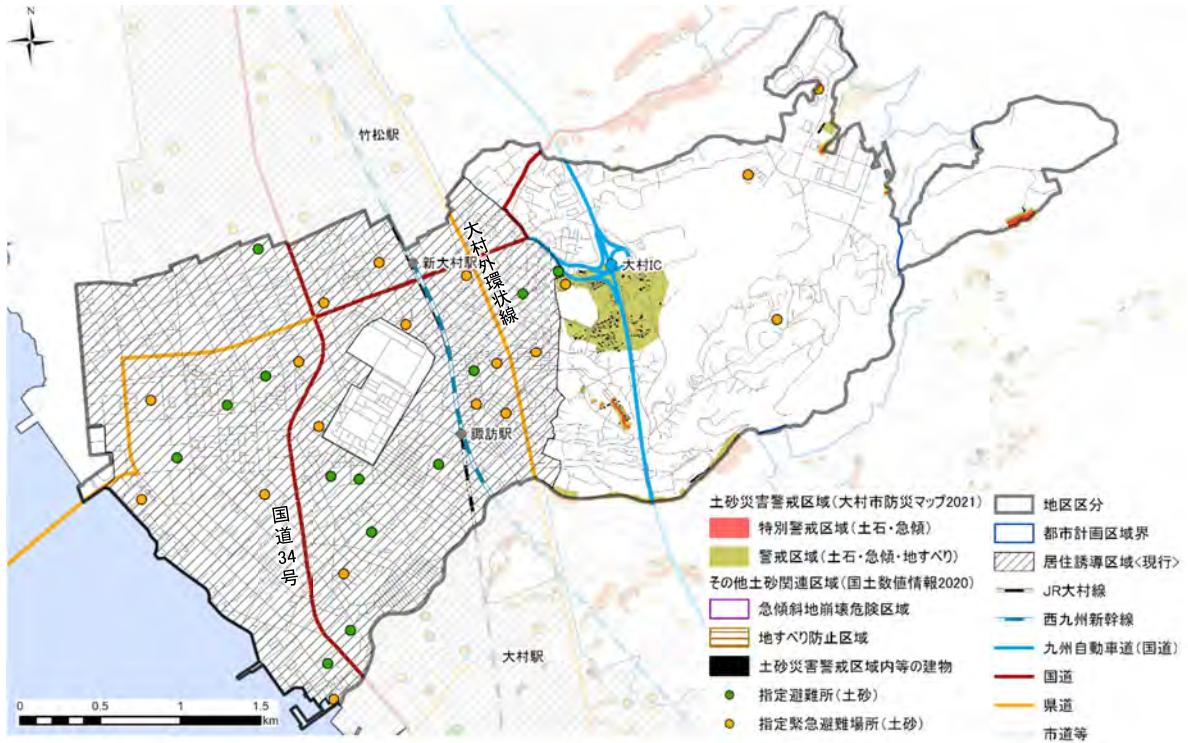
○大上戸川沿いに家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)が線状に分布しており、建物の立地もみられ、洪水時、河岸侵食による家屋倒壊の恐れ

土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

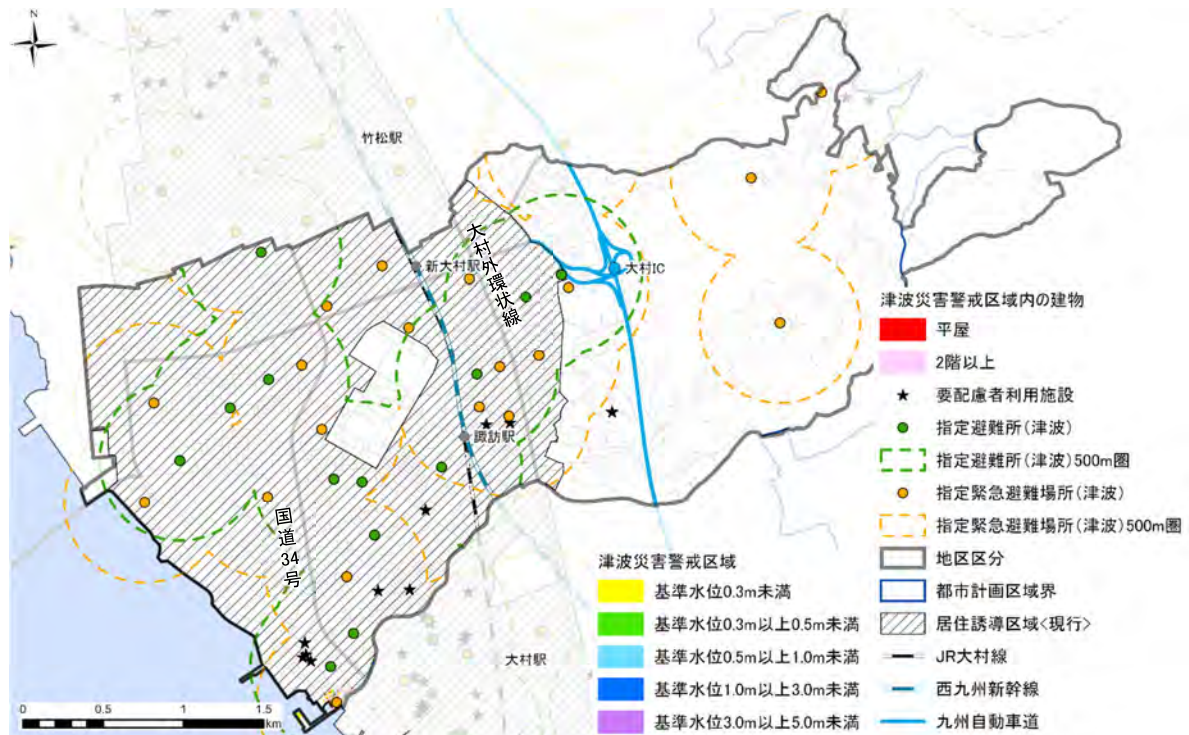


○大村 IC 周辺に比較的大きな土砂災害警戒区域が存在し、建物も立地

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設

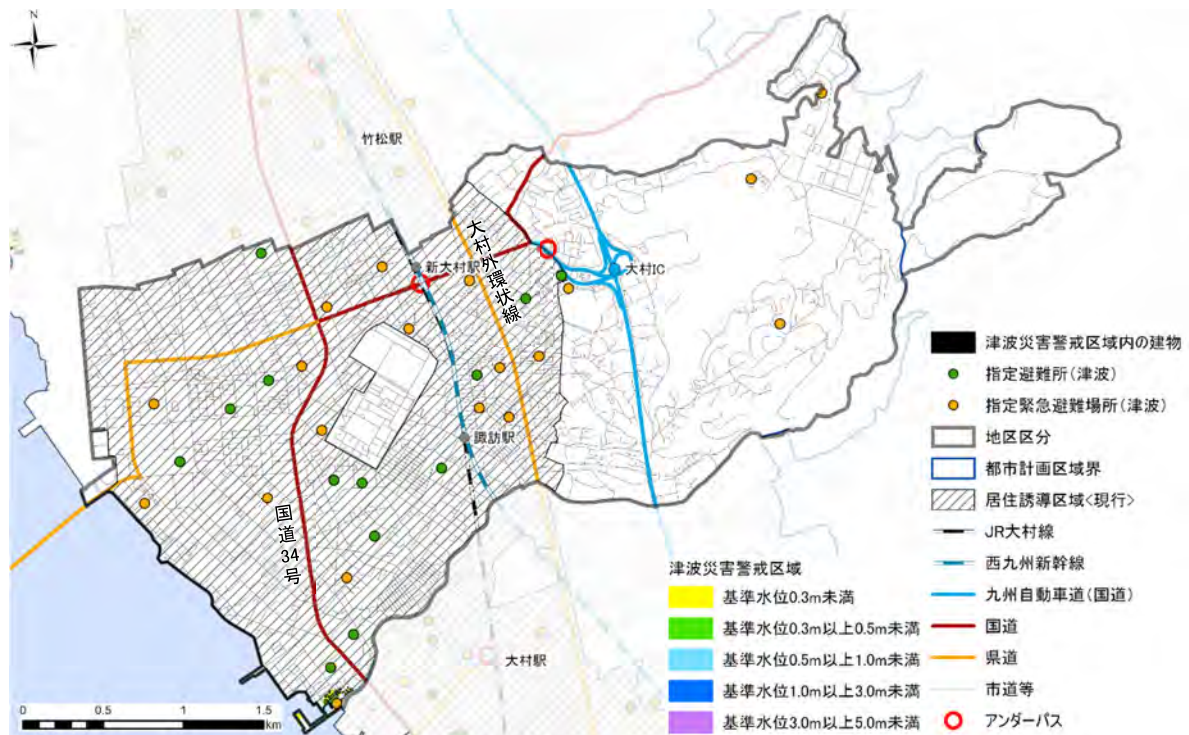


津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

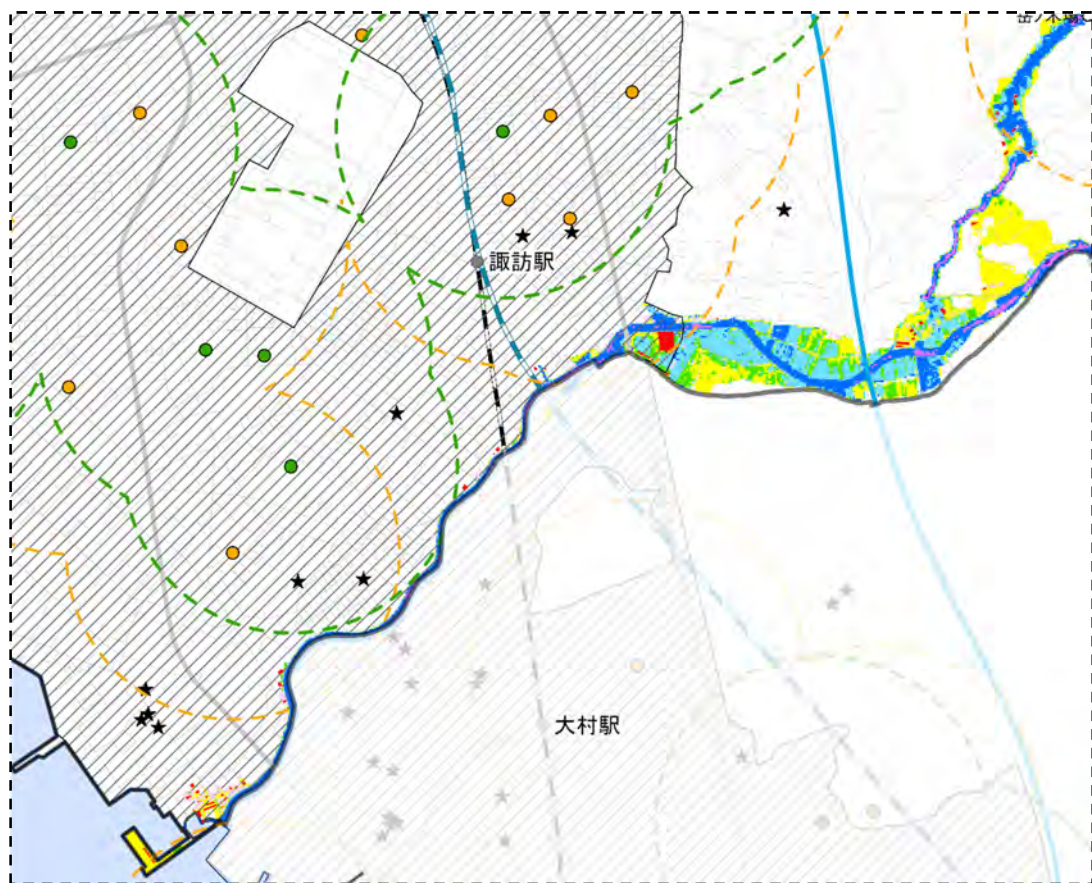
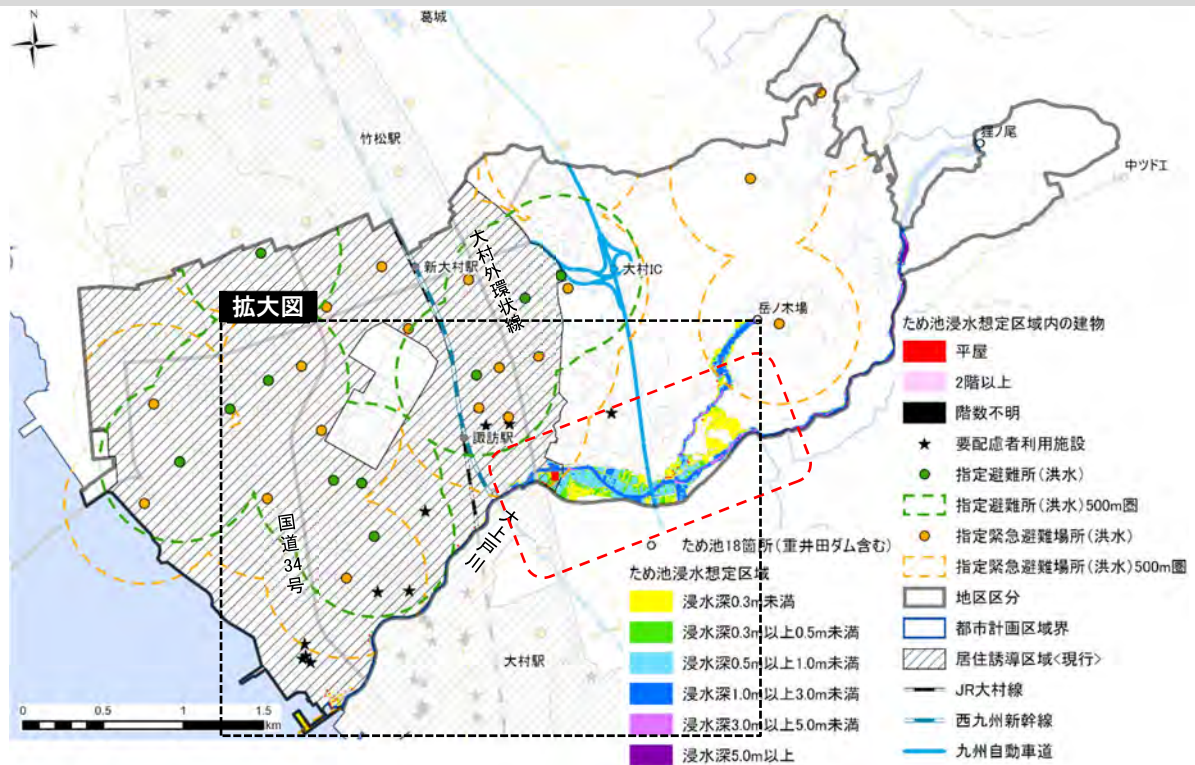


○杭出津1丁目では基準水位1.0m未満の場所が分布しており、一部の箇所で建物も立地

津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設

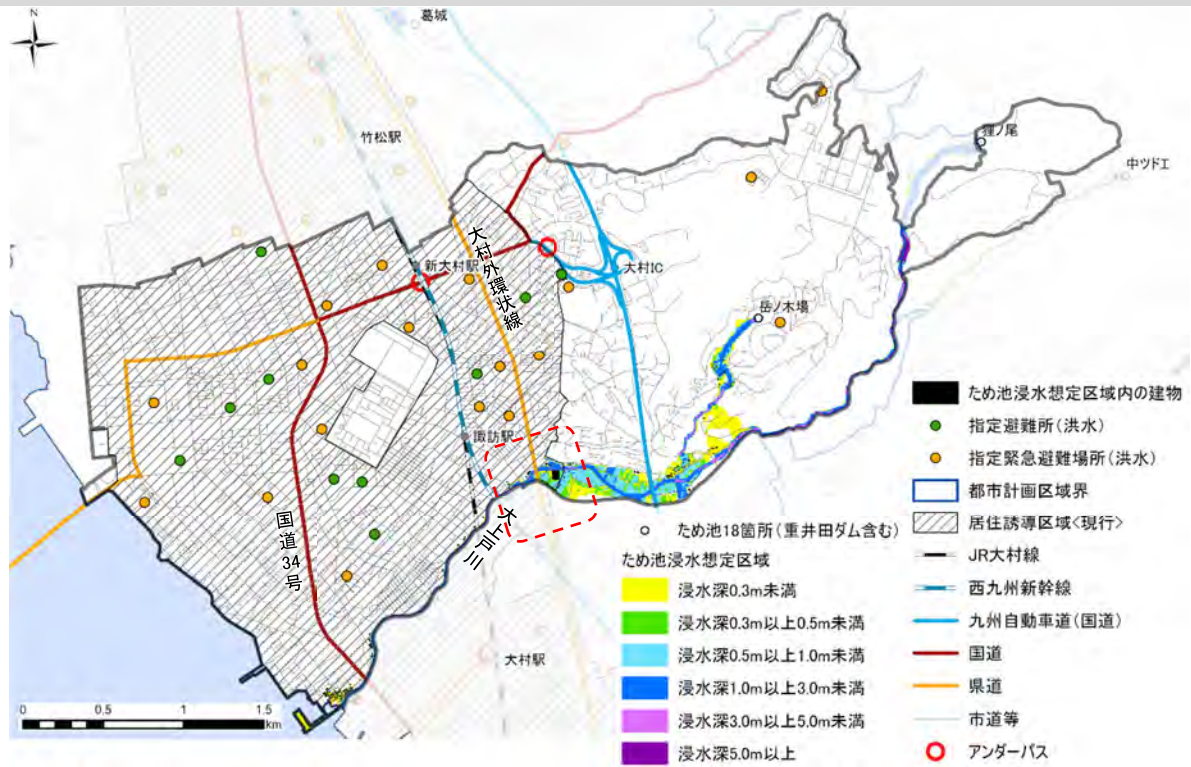


ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設



- 上諏訪町や杭出津1丁目のため池浸水想定区域が分布しており、建物も立地
- 上諏訪町では浸水深1.0m以上3.0m未満の場所(=2階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深0.5m以上1.0m未満の場所(=歩行困難になる場所)もあり、平屋の建物も存在

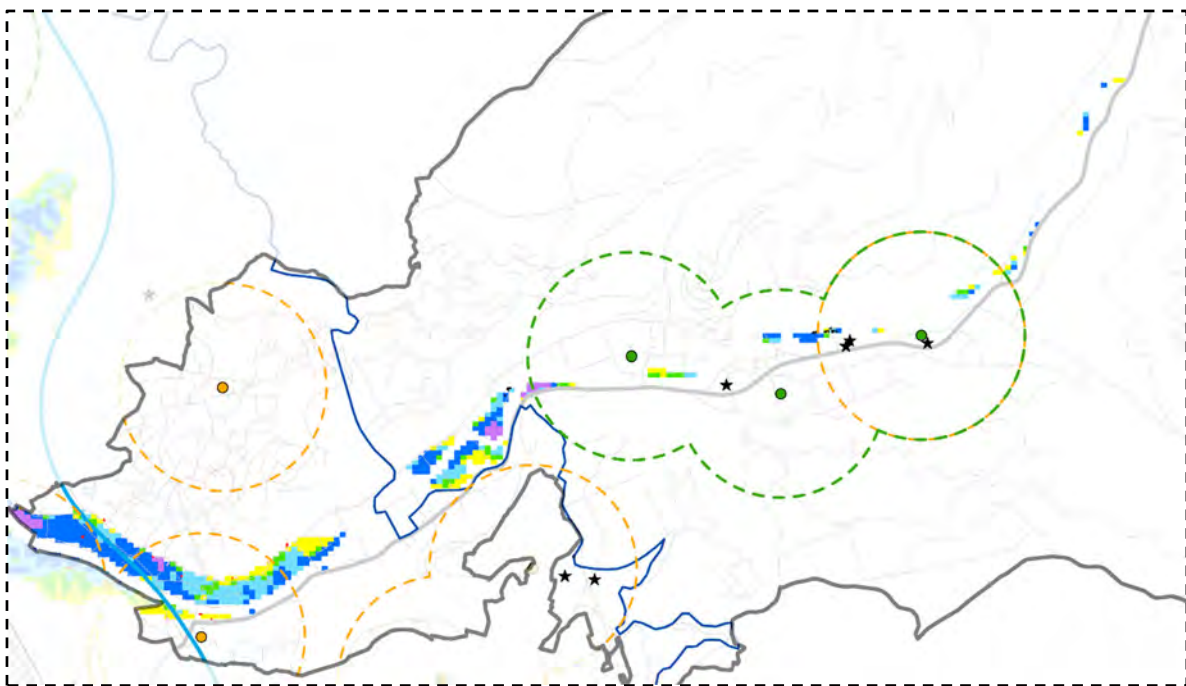
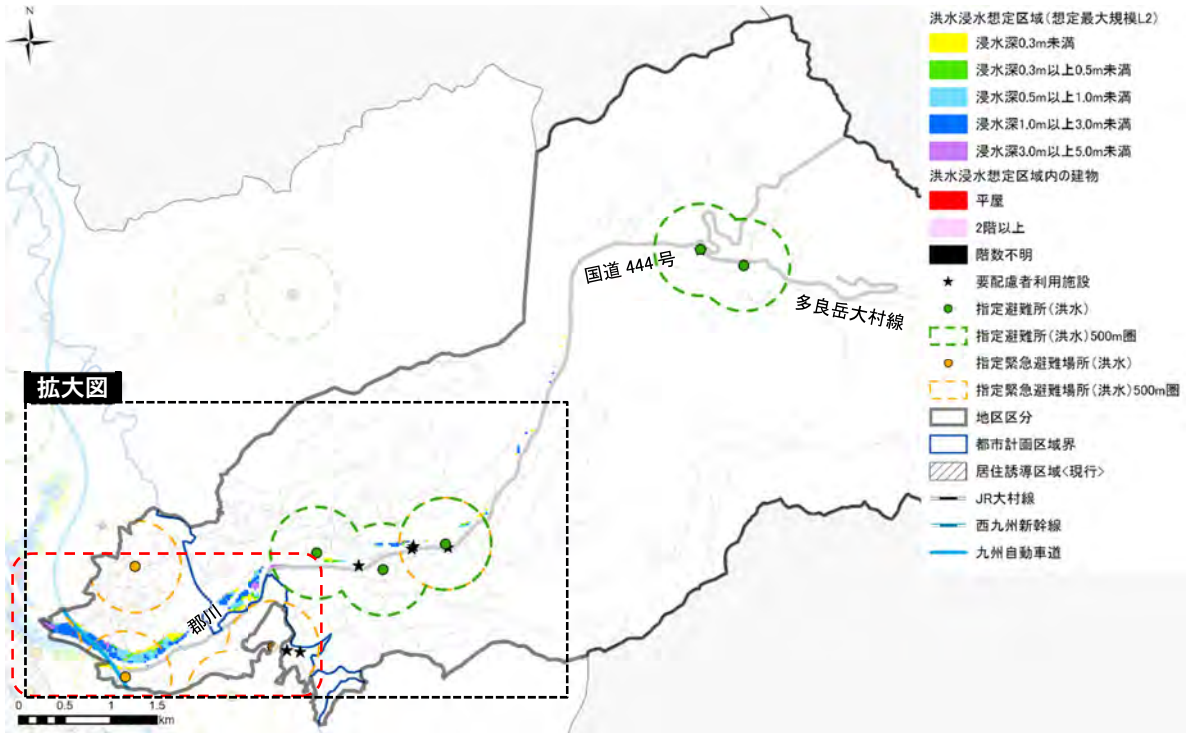
ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



○諏訪、上諏訪町において県道大村外環状線沿いが浸水深が 0.3m 以上に達する場所があり道路が途絶する恐れ

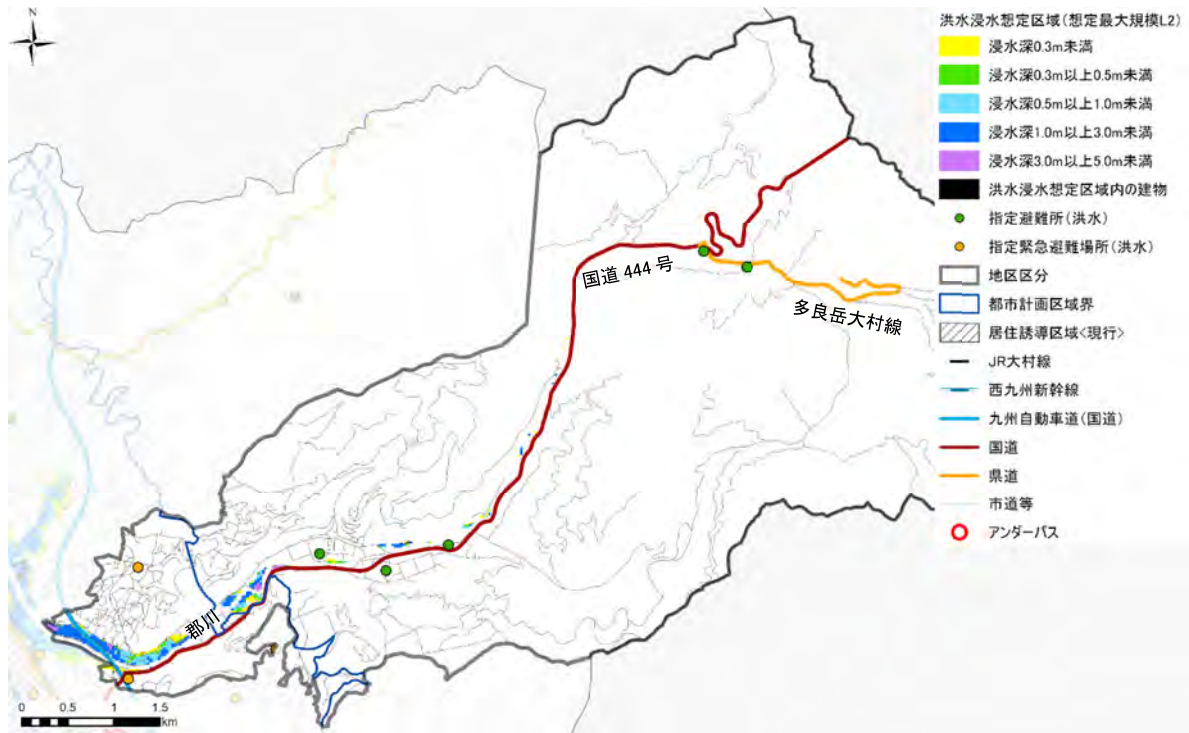
5. 萱瀬地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

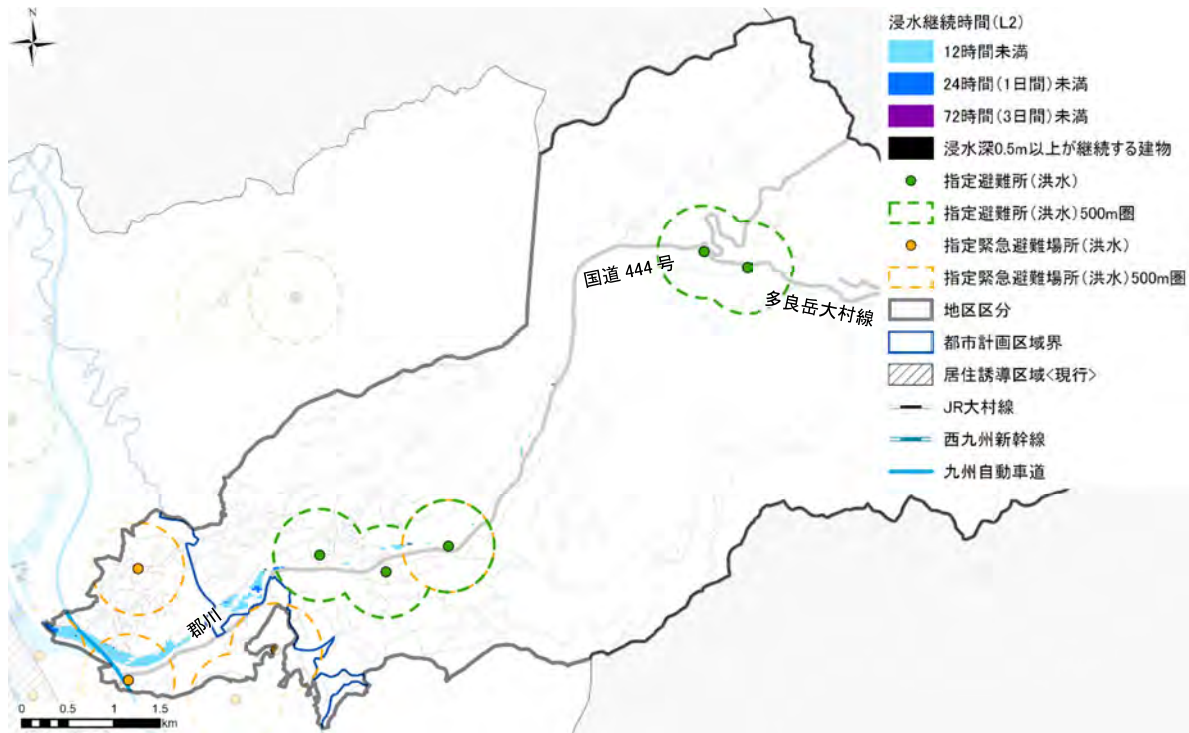


- 浸水深 3.0m 以上～5.0m 未満の場所(=2 階軒下ほどまで浸水する恐れがある場所)が荒瀬町と宮代町に局所的に存在
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)も同地域を中心に郡川沿いに分布しており、平屋の建物も存在

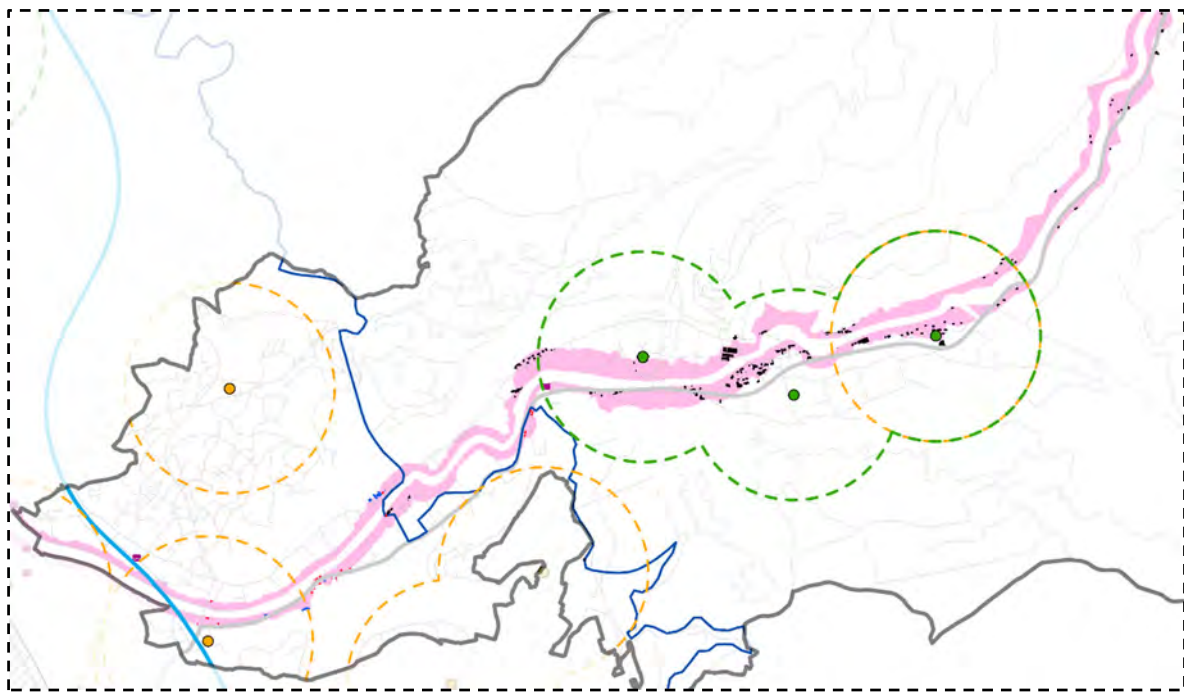
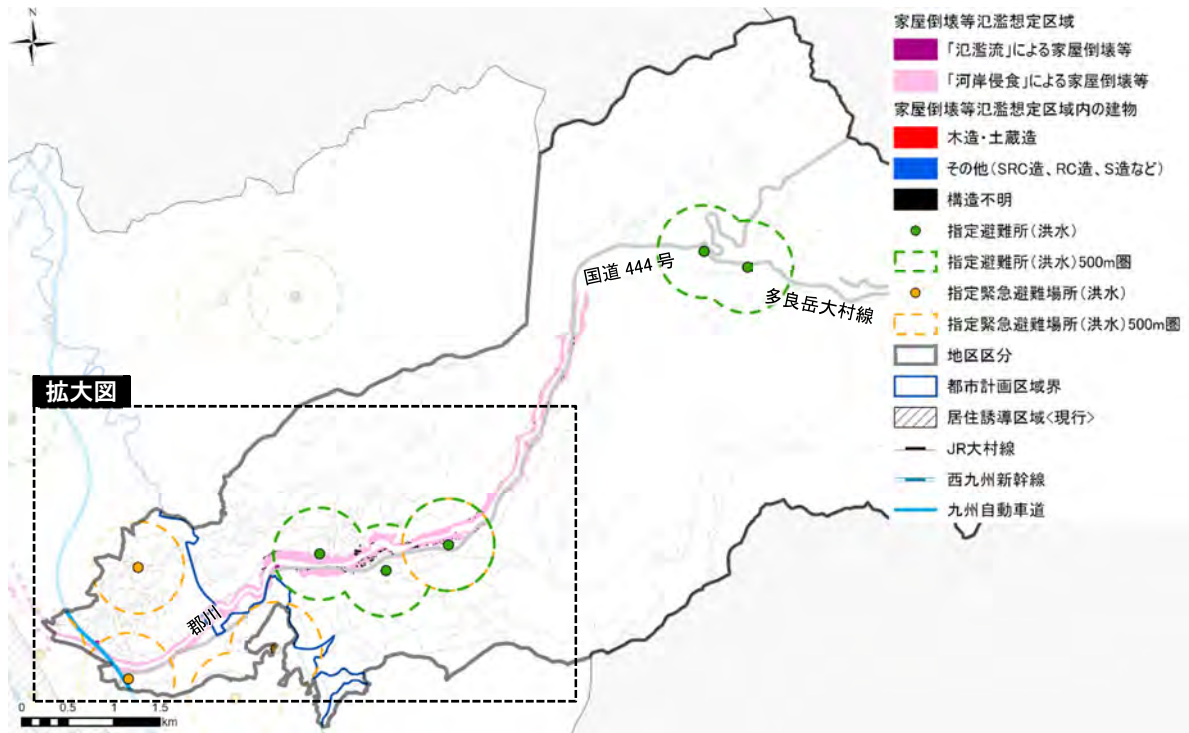
洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設



洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水継続時間) × 建物・避難施設

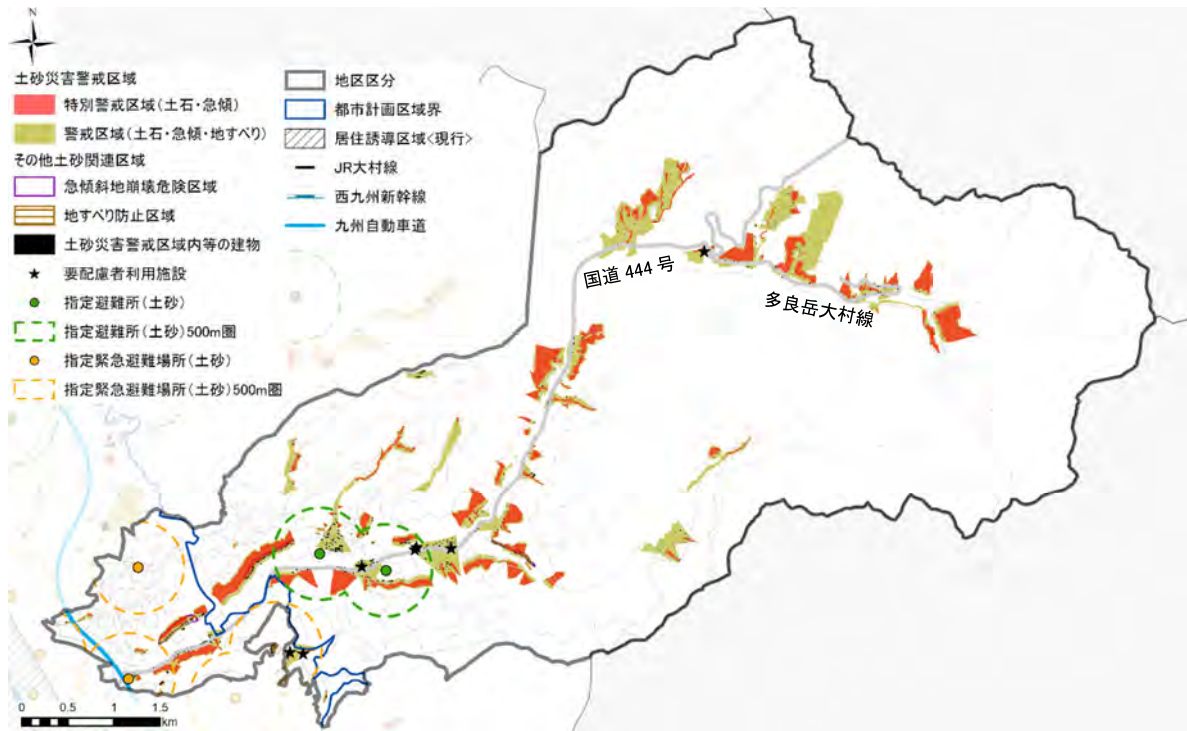


家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設



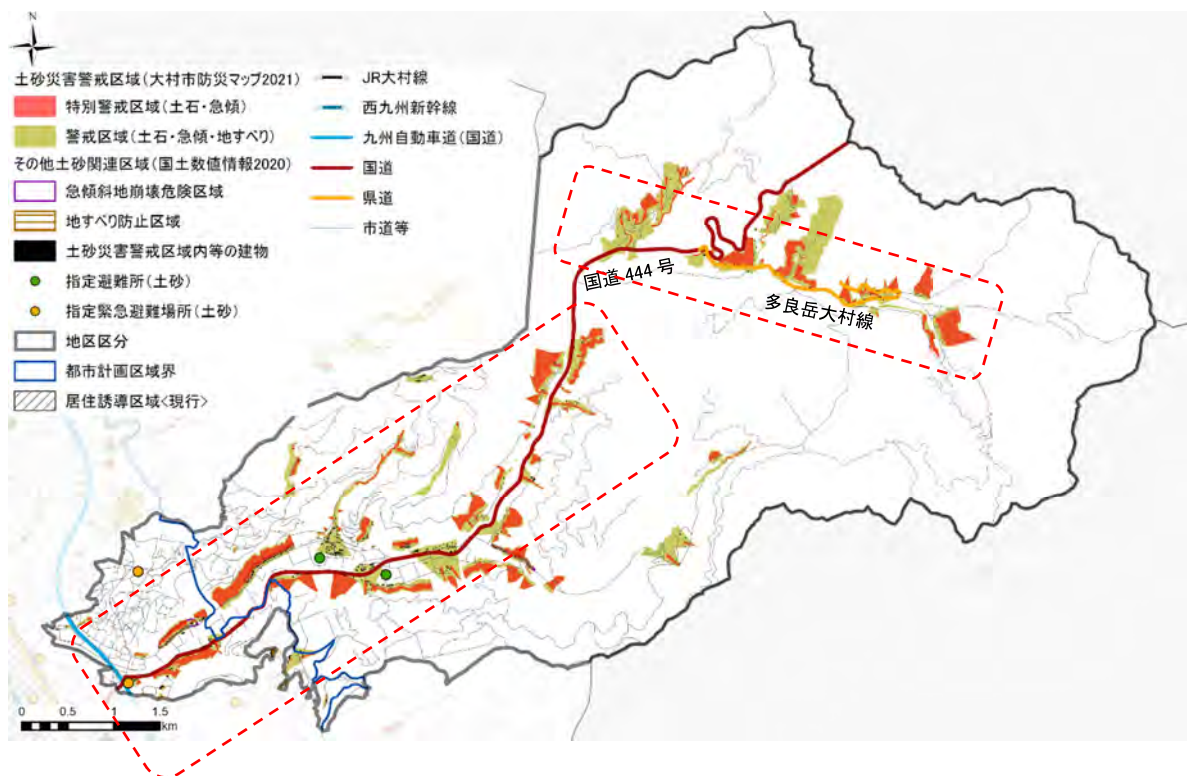
- 郡川沿いに家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)が線状に分布しており、建物の立地もみられ、洪水時、河岸浸食による家屋倒壊の恐れ
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)も局所的に存在

土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



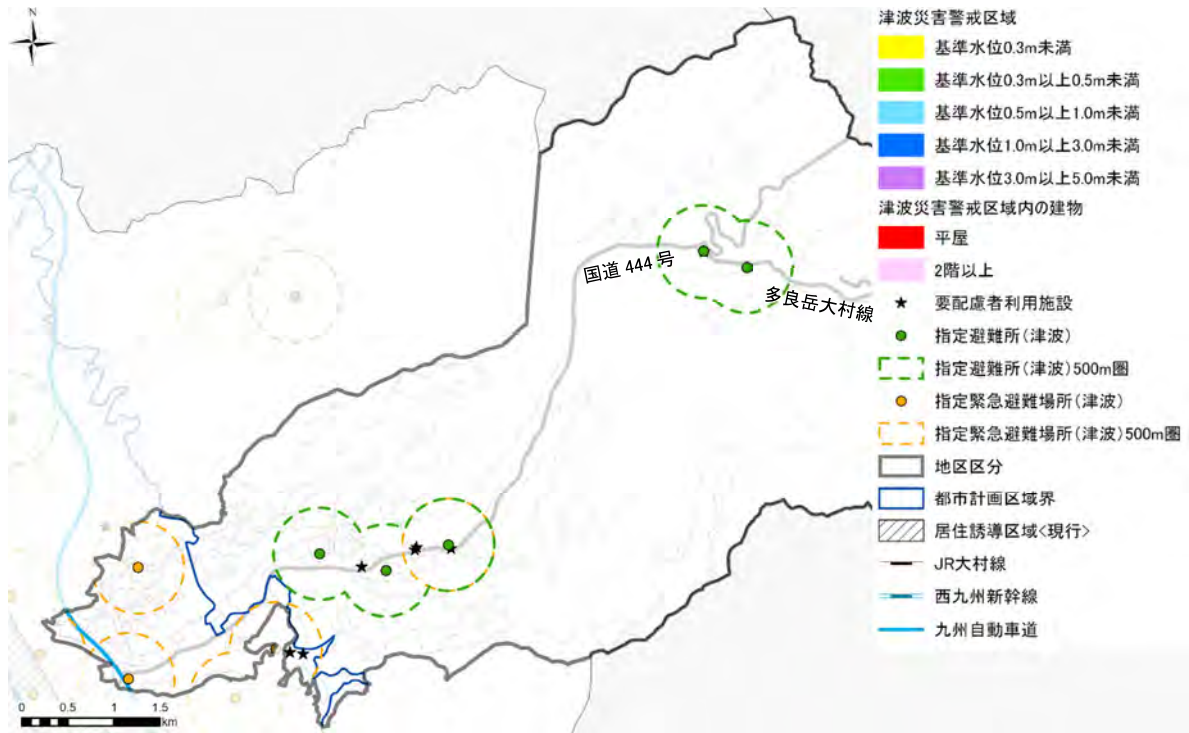
- 国道 444 号沿いに比較的大きな土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域が多数分布しており、建物も立地
- 雄ヶ原町や田下町、黒木町では、土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に近接する要配慮者利用施設(小学校、保育園、高齢社施設)が存在

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設

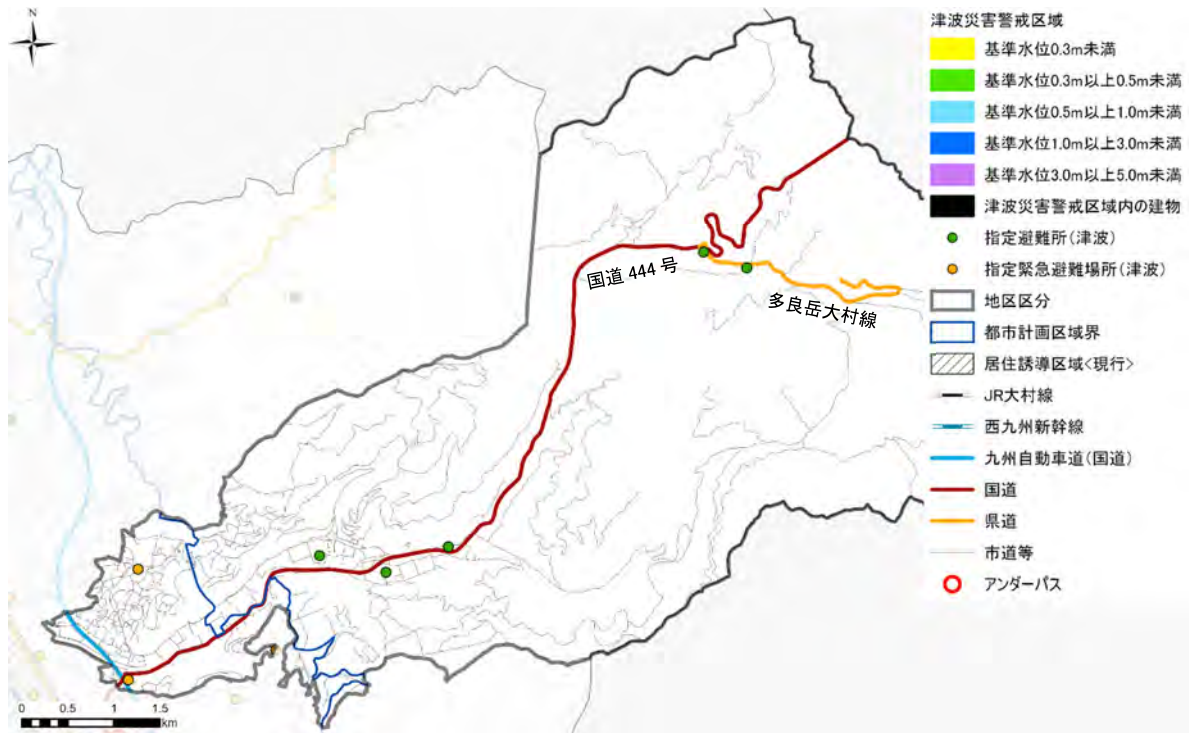


- 土砂災害により国道 444 号が黒木町や中岳町、田下町、原町などでの広範囲で途絶する恐れ

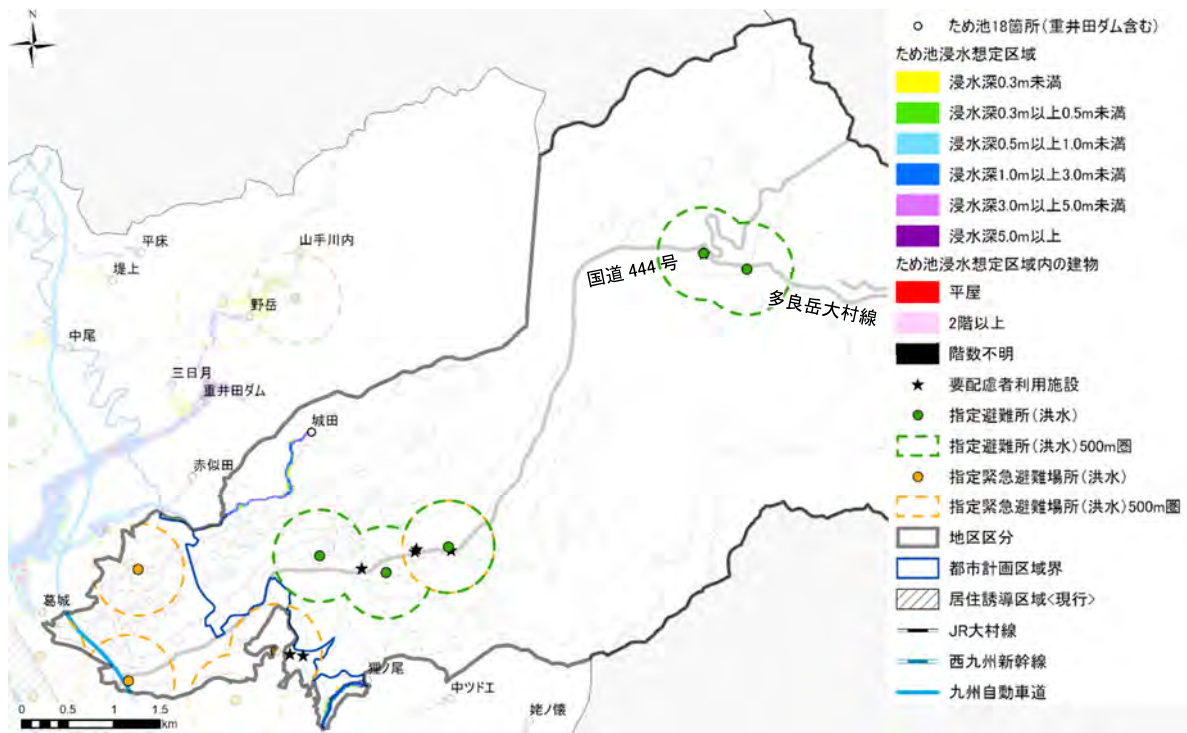
津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



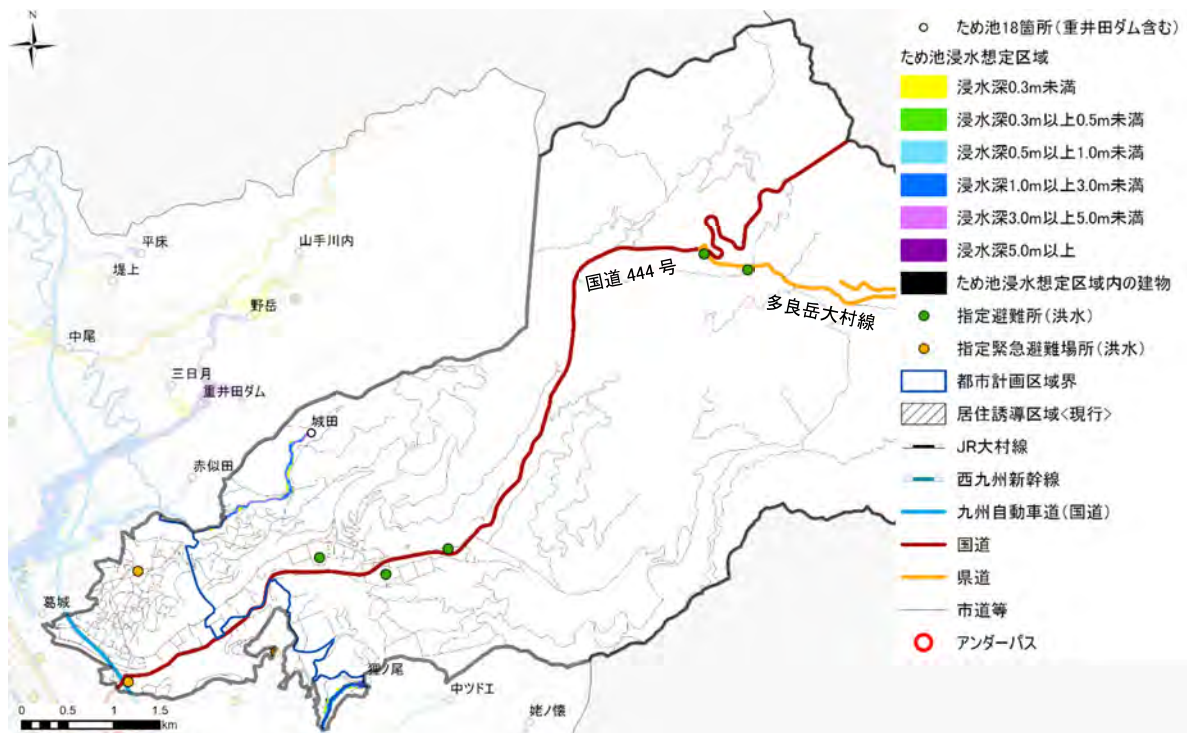
津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設



ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設

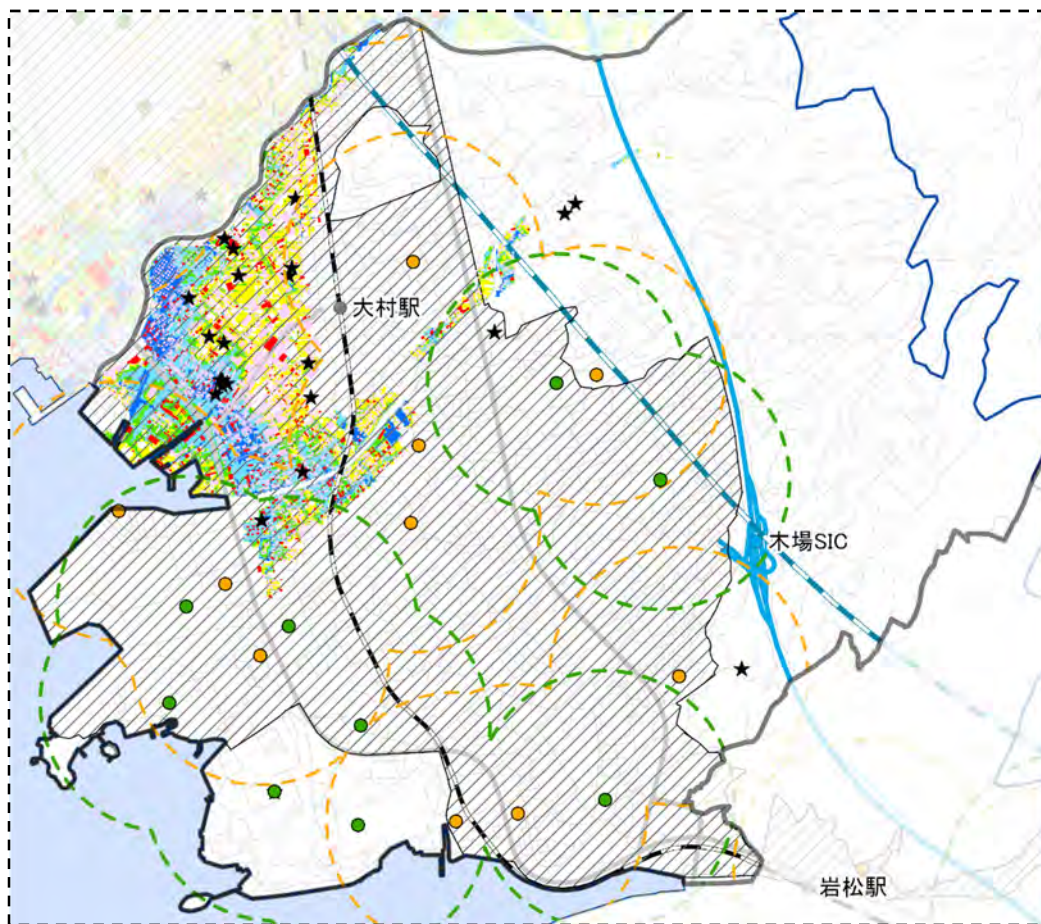
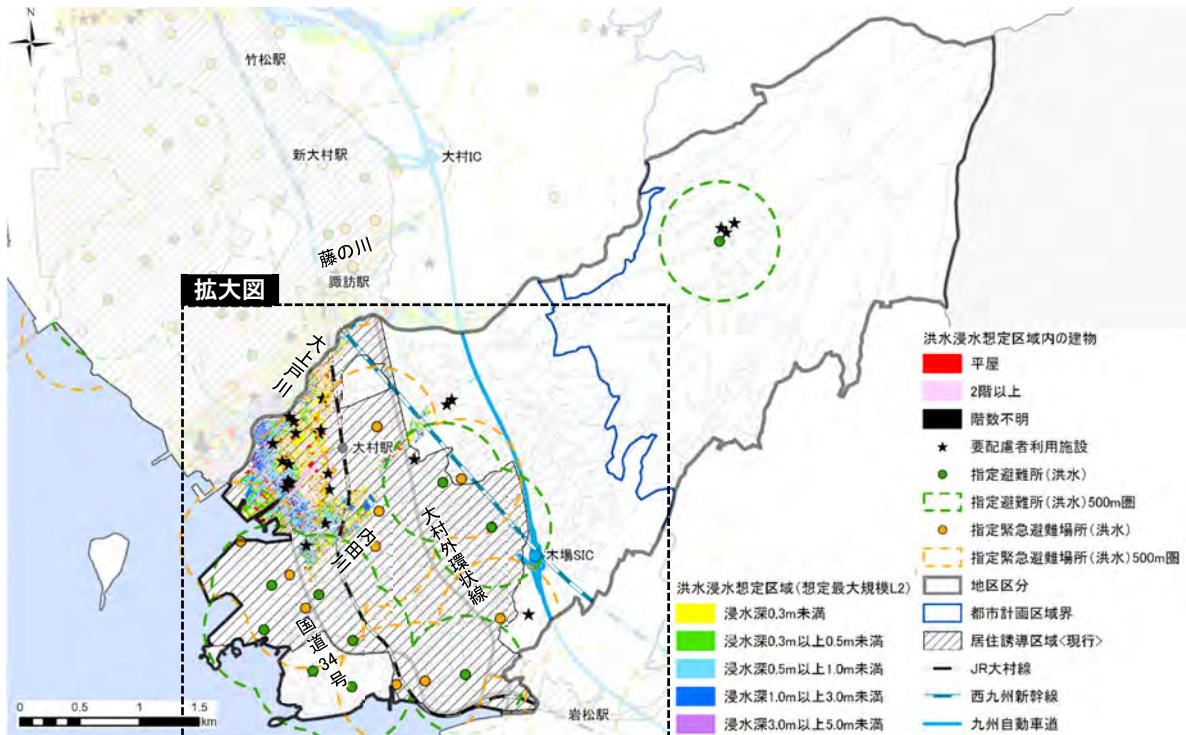


ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



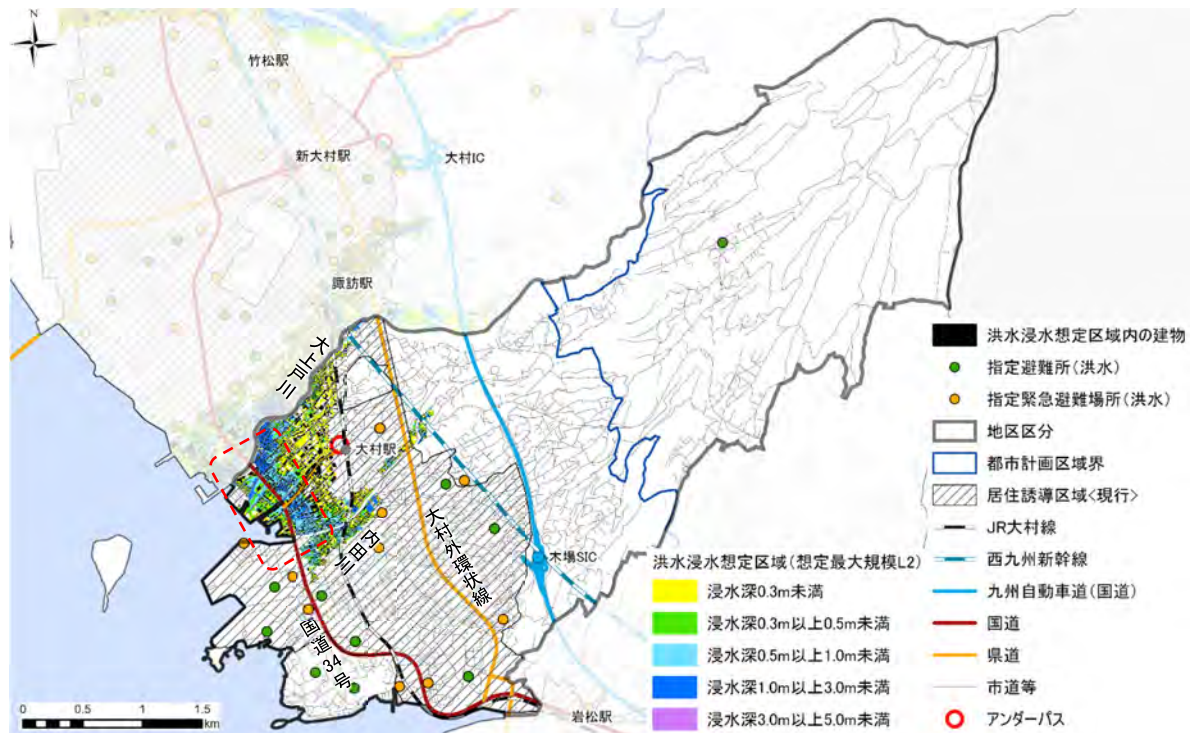
6. 大村地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



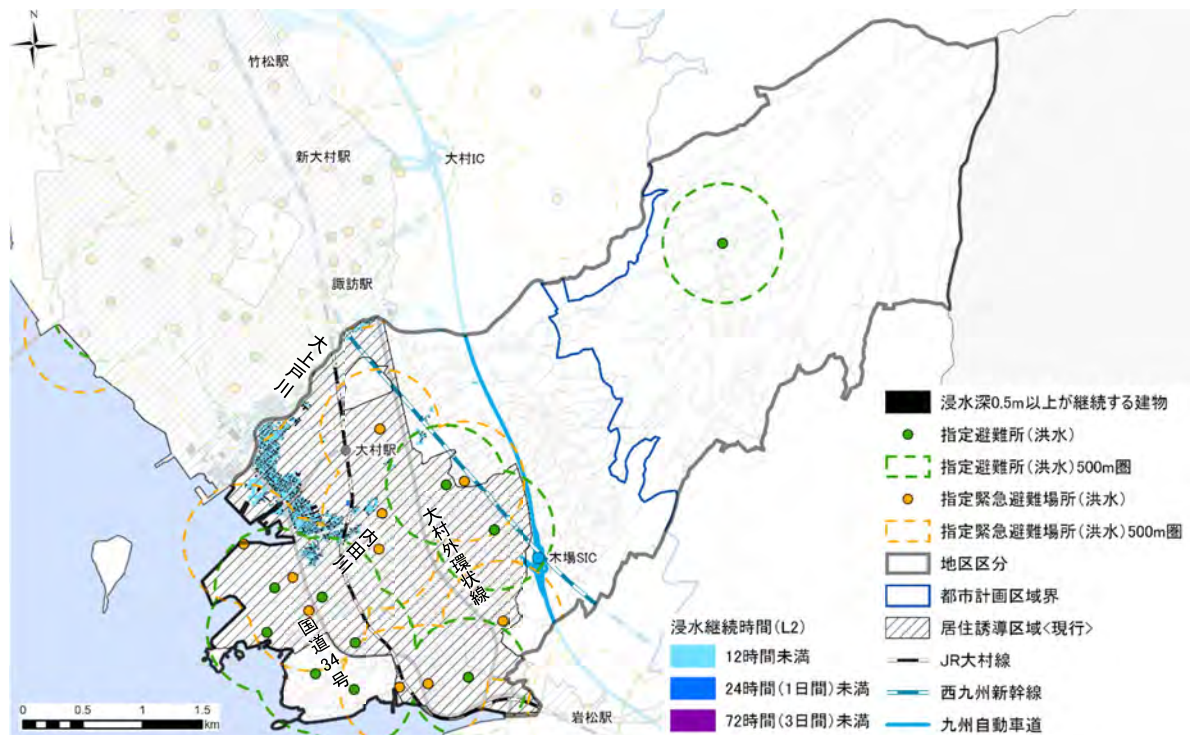
- 浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所 (= 2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所) や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所 (= 歩行困難になる場所) が大上戸川や内田川沿いの特に河口付近に分布しており、平屋の建物も存在
- 洪水浸水想定区域内に要配慮者利用施設(小学校、高校、保育園、高齢者施設、障害者福祉施設、病院・診療所) が存在

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設

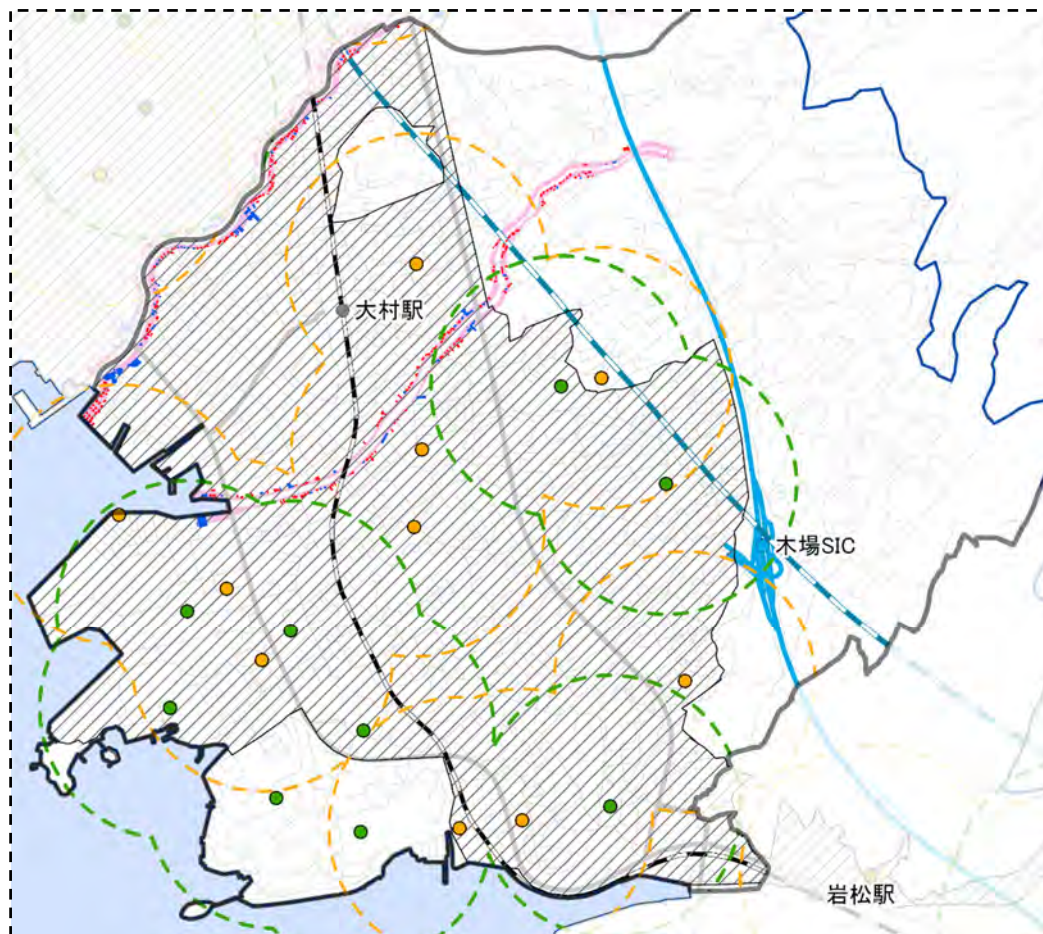
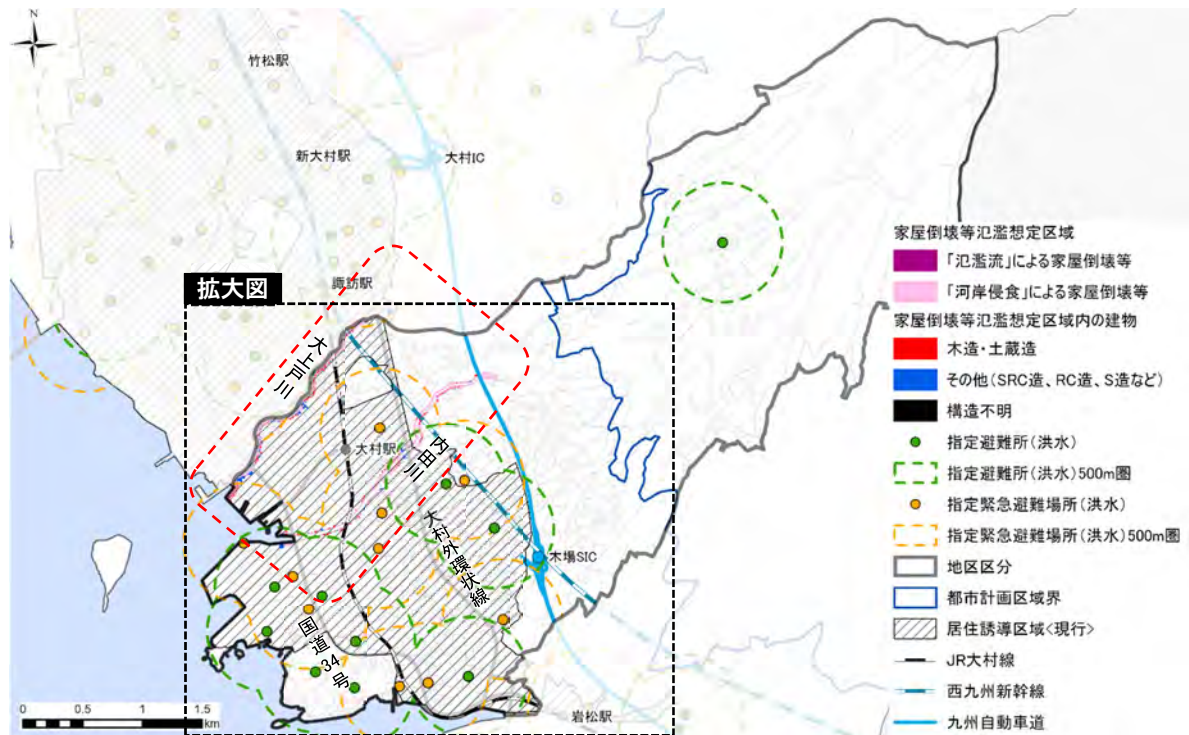


○水主町、水主町 2 丁目、西本町、本町において国道 34 号沿いの浸水深が 0.3m 以上 (=自動車が行きできない浸水深)に達する場所があり道路が途絶する恐れ

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水継続時間) × 建物・避難施設

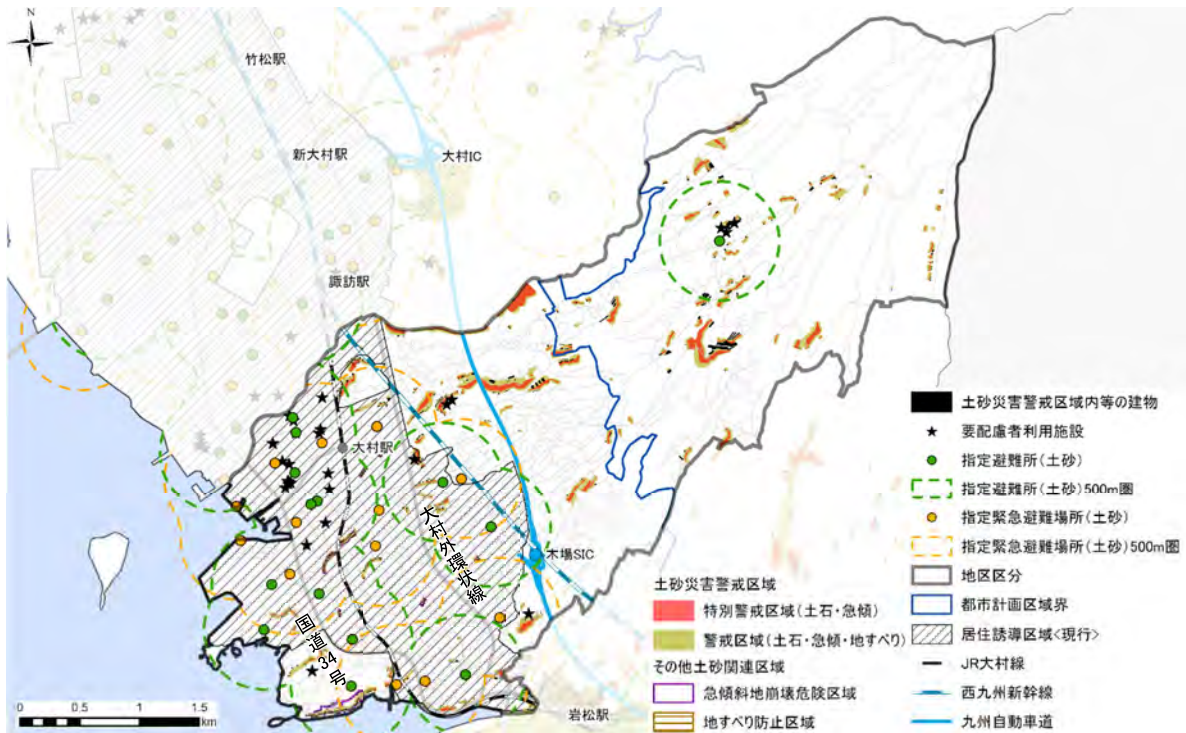


家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設



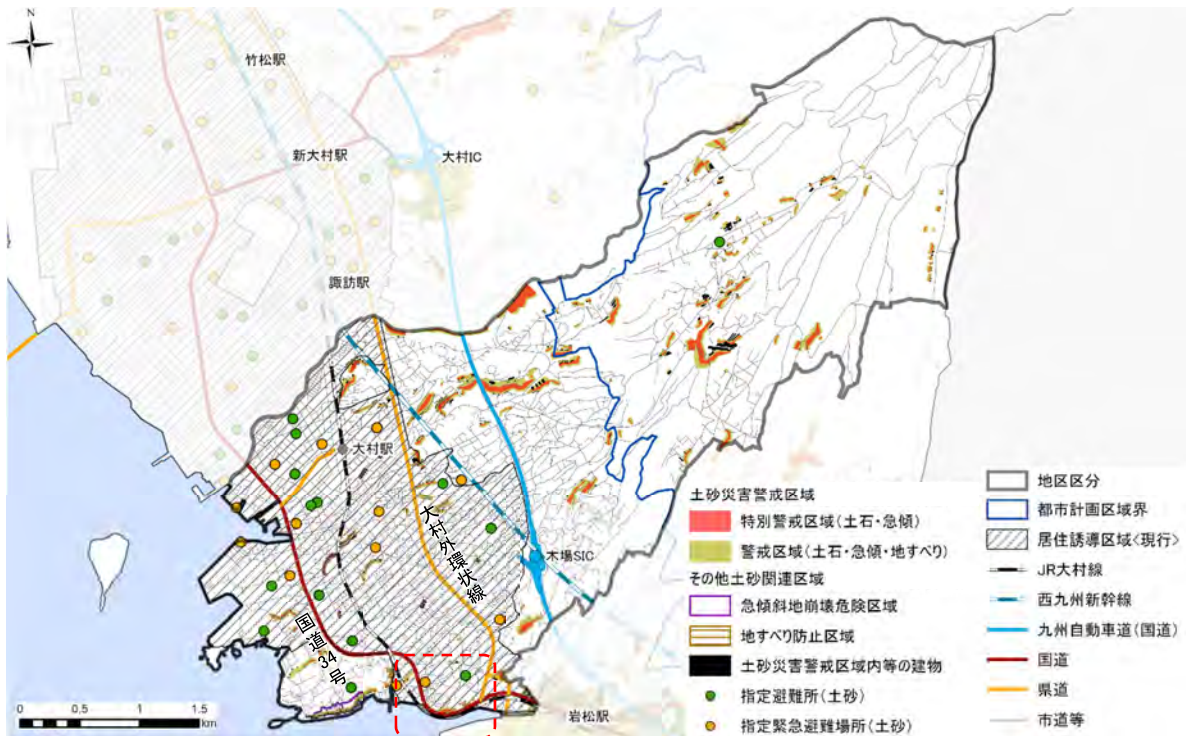
○大上戸川や内田川沿いに家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)が線状に分布しており、建物の立地もみられ、洪水時、河岸侵食による家屋倒壊の恐れ

土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



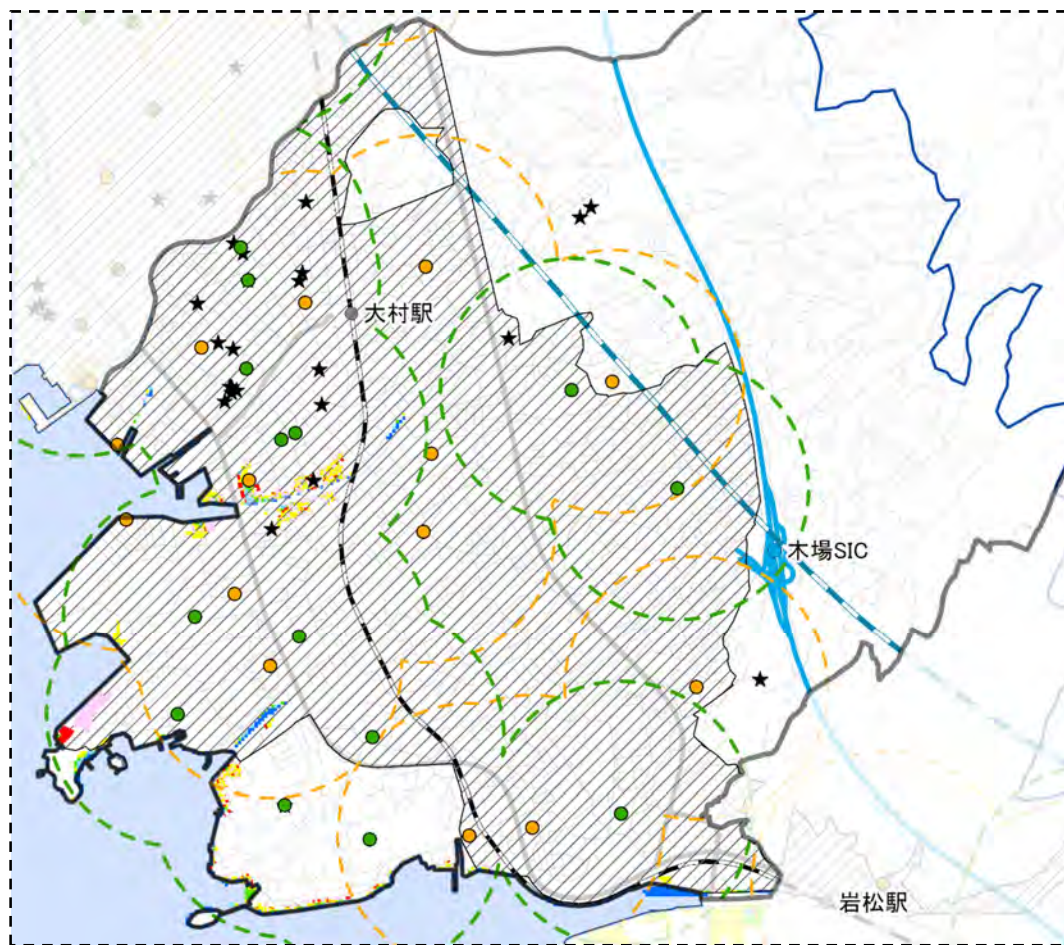
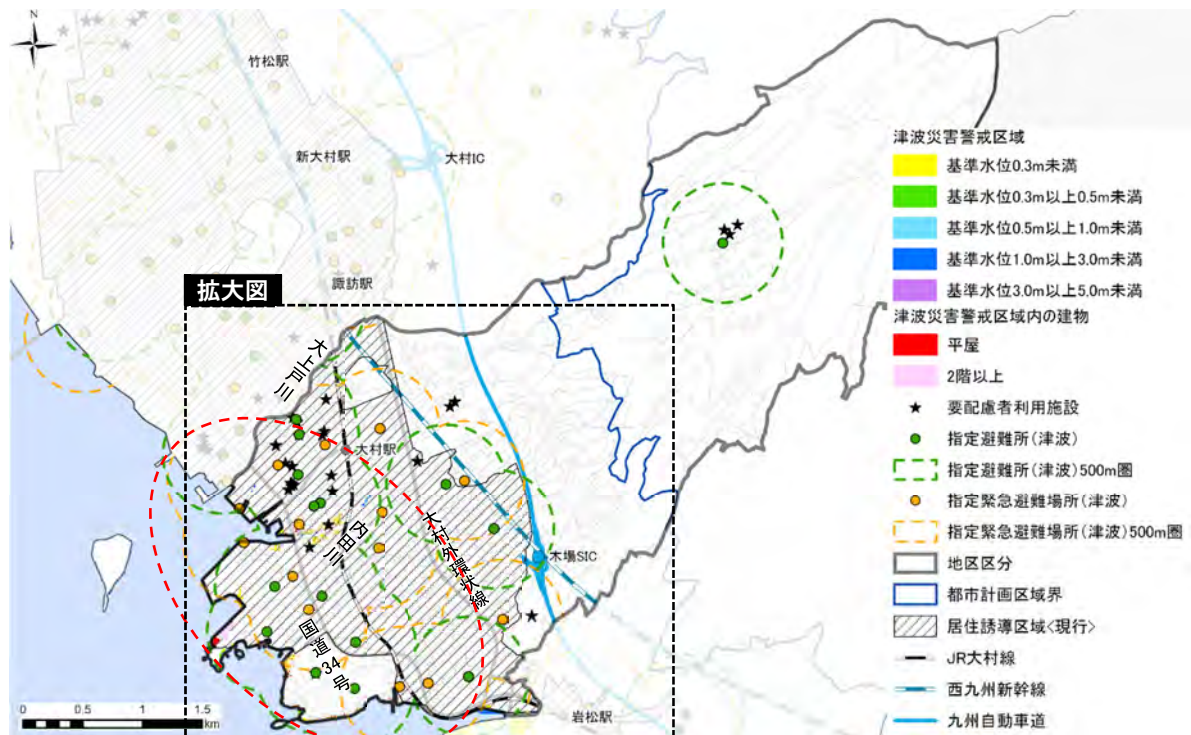
- 徳泉川内町や水計町、東大村1丁目等を中心に比較的大きな土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域が分布
- 市街地部分においても比較的小さな単位で土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域が分布し、建物も立地
- 赤佐古町や水計町、東大村2丁目では土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に近接する要配慮者利用施設(学校、高齢社施設、放課後児童クラブ)が存在

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設



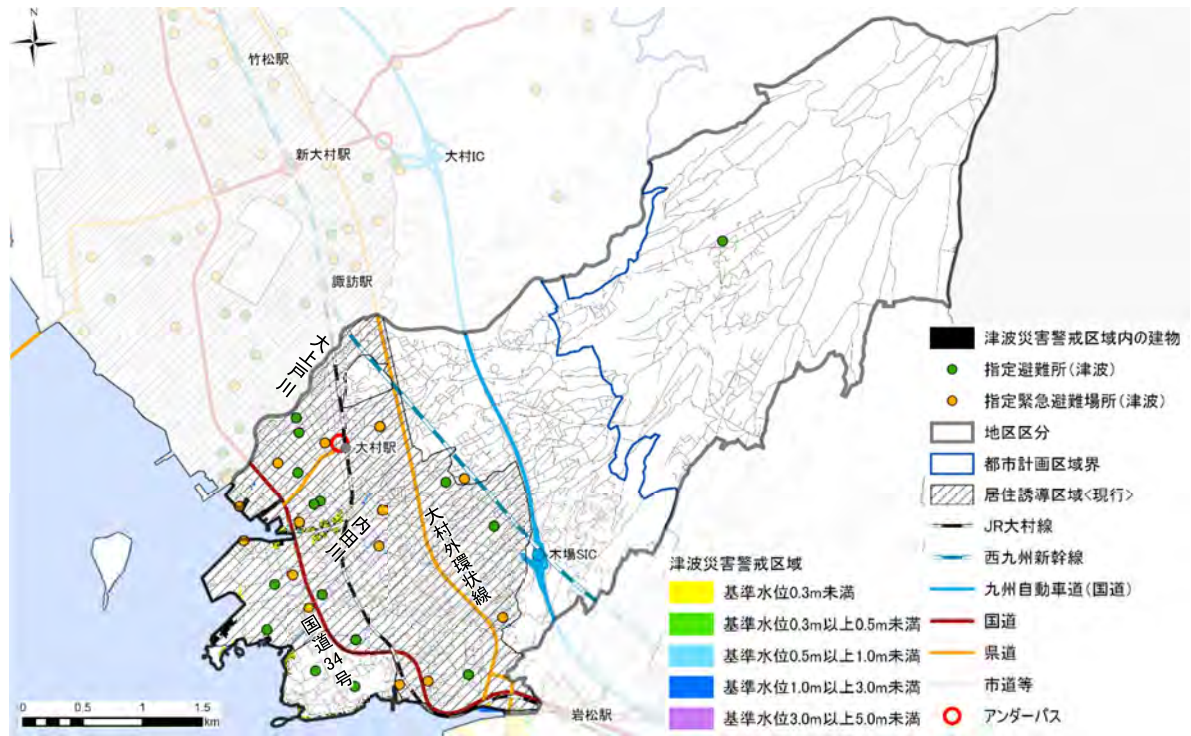
- 土砂災害により国道 34 号が久原付近で途絶する恐れ

津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

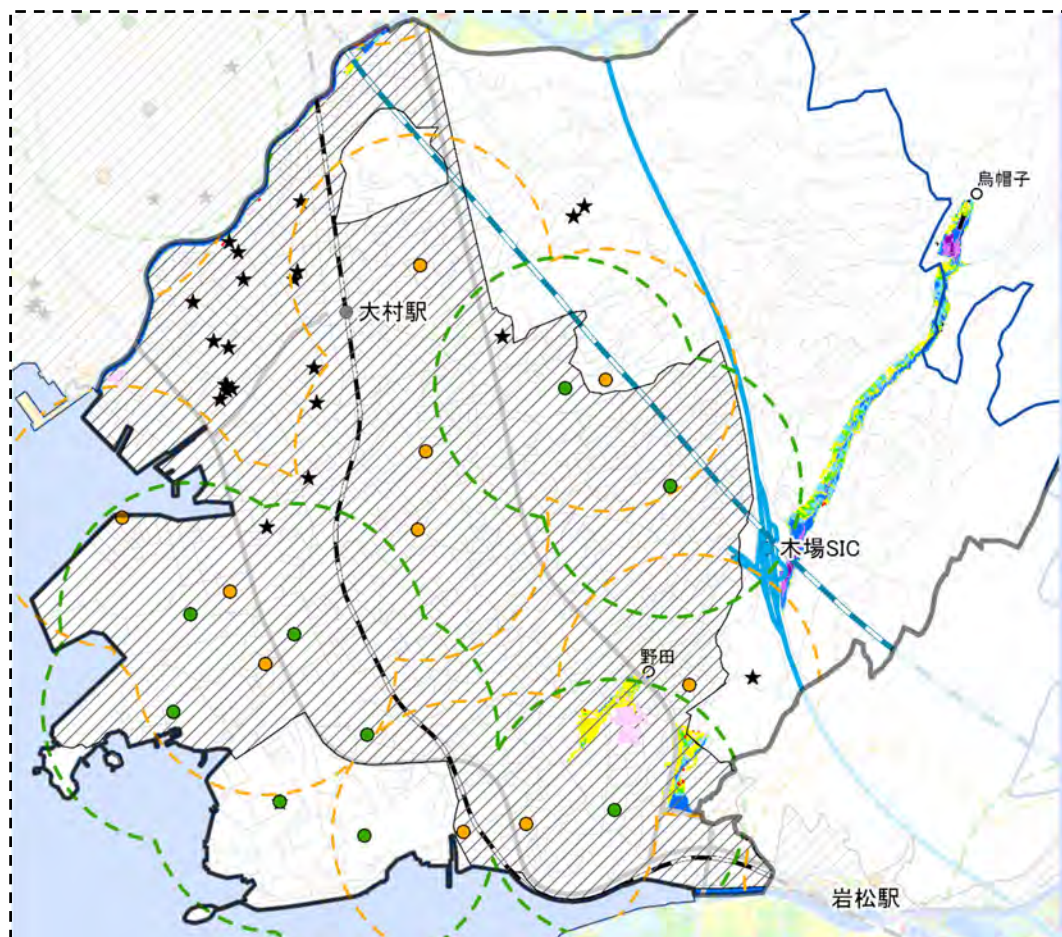
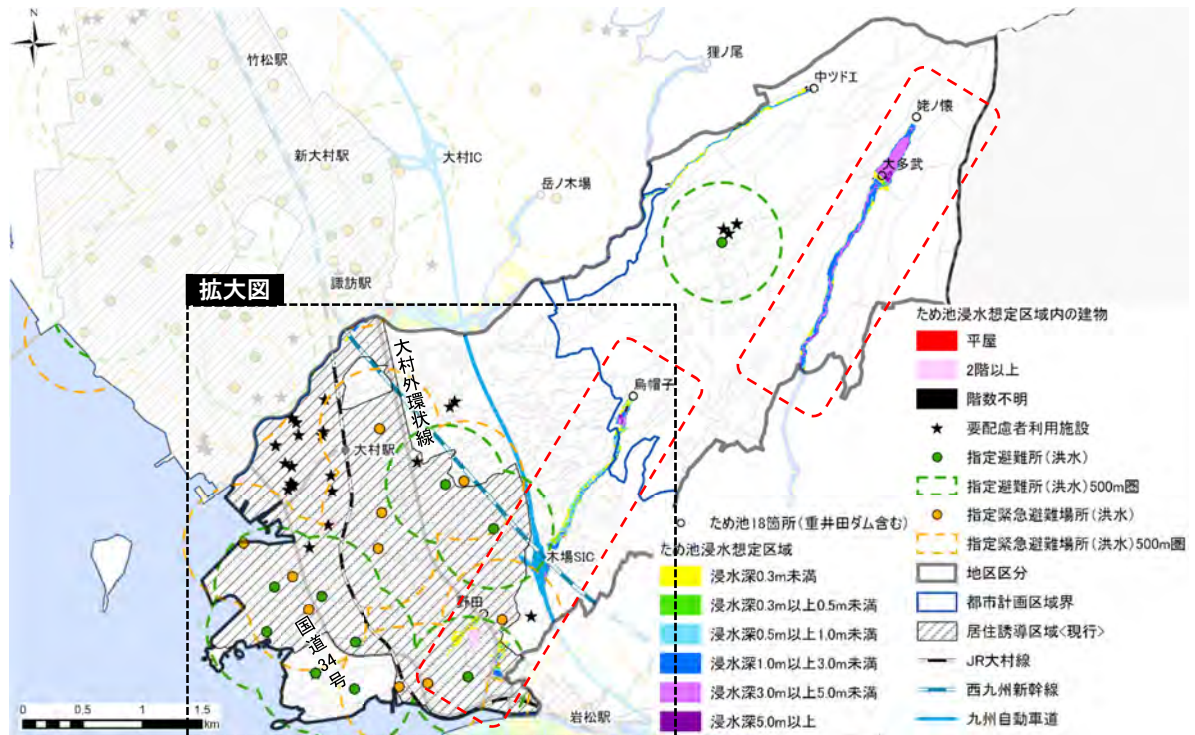


- 西本町や本町、東本町、片町では基準水位 1.0m 未満の場所が分布しており、一部の箇所建物も立地
- 津波災害警戒想定区域内に要配慮者利用施設(診療所)が存在

津波災害警戒区域×道路網・アンダーパス・避難施設

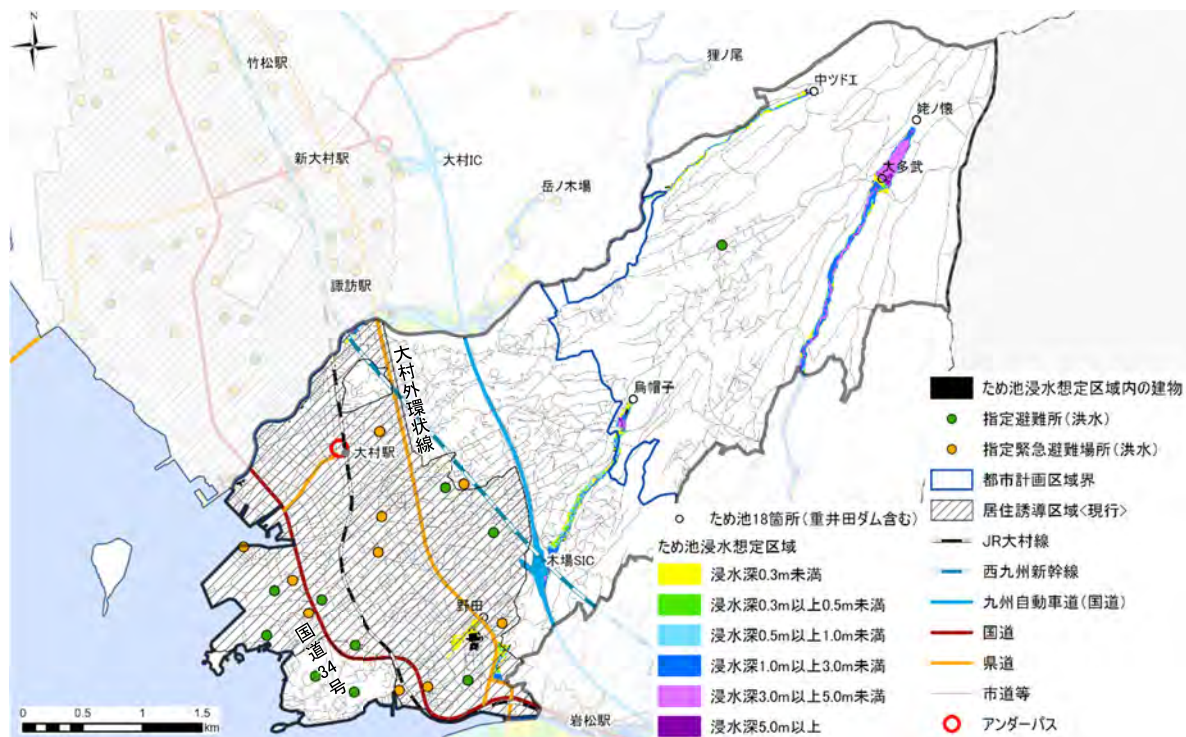


ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設



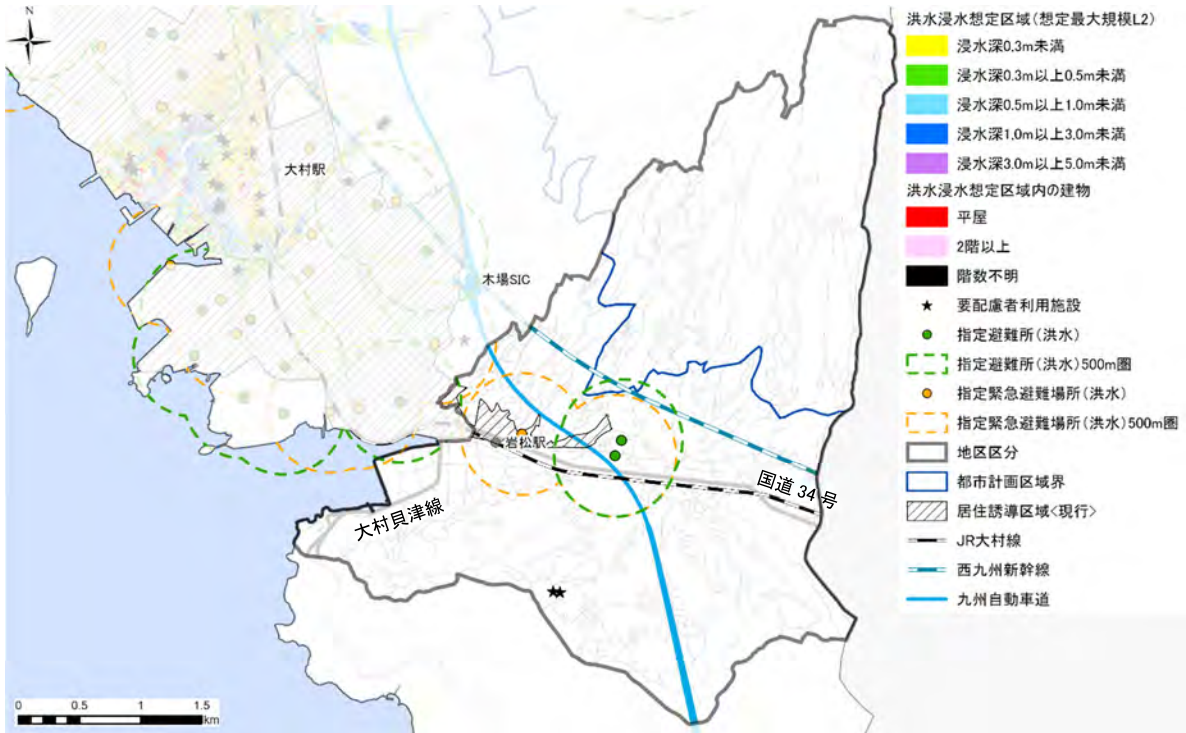
○鳥帽子ため池や姥ノ懐ため池、大多武ため池によるため池浸水想定区域が分布しており、一部の箇所で建物も立地

ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設

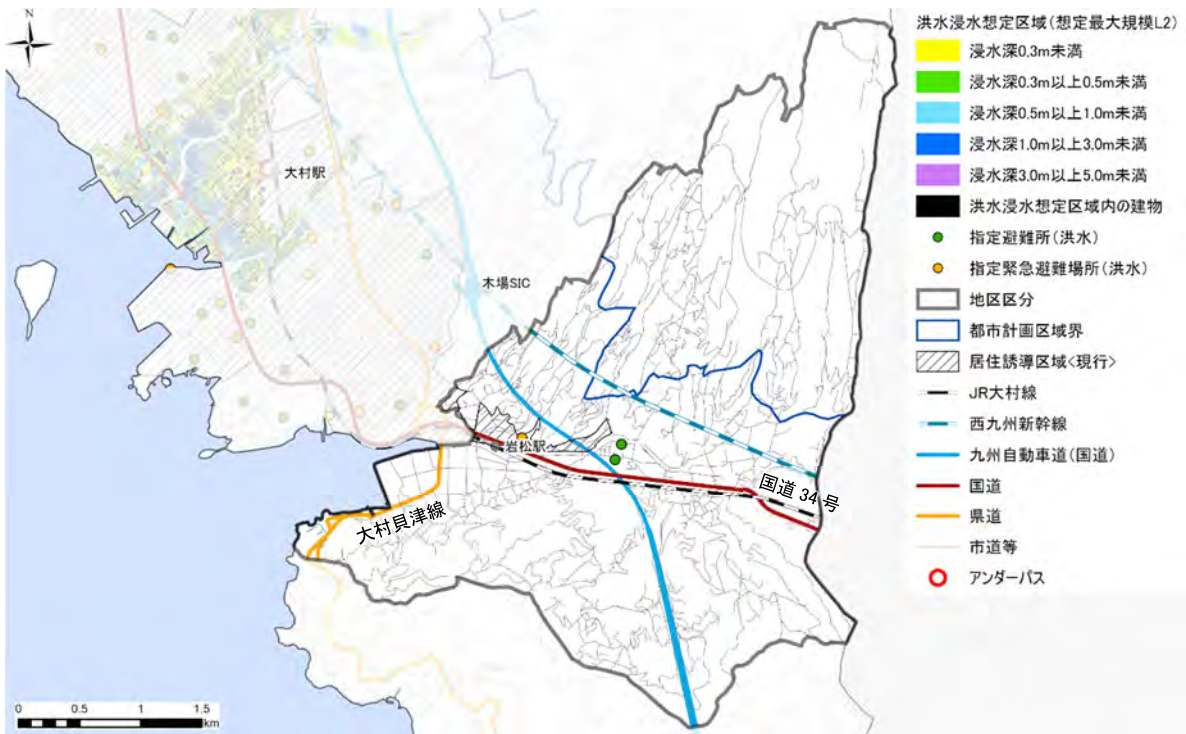


7. 鈴田地区

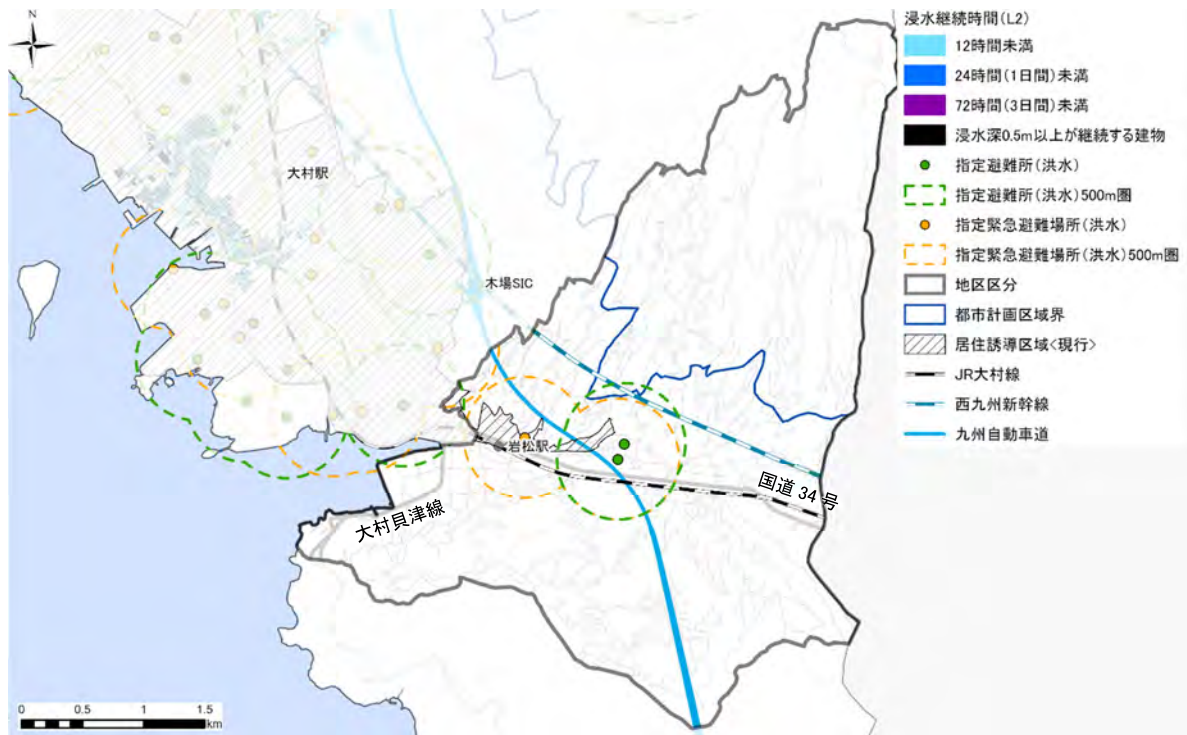
洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



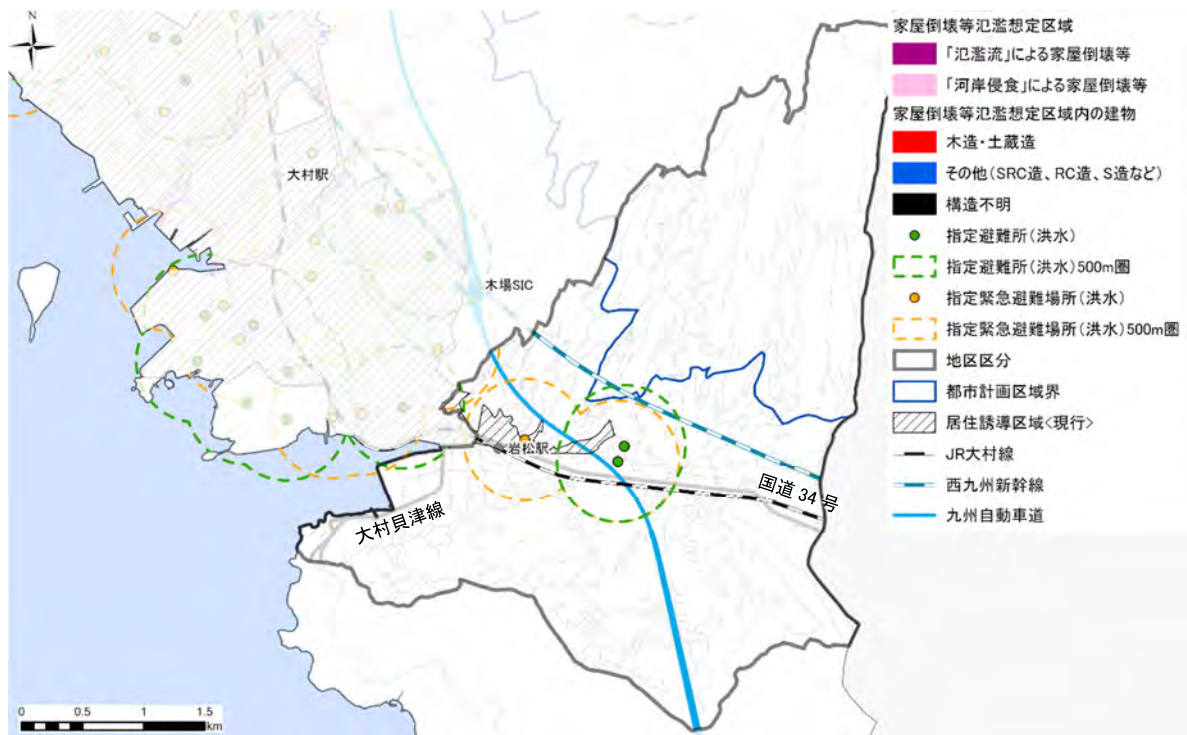
洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設



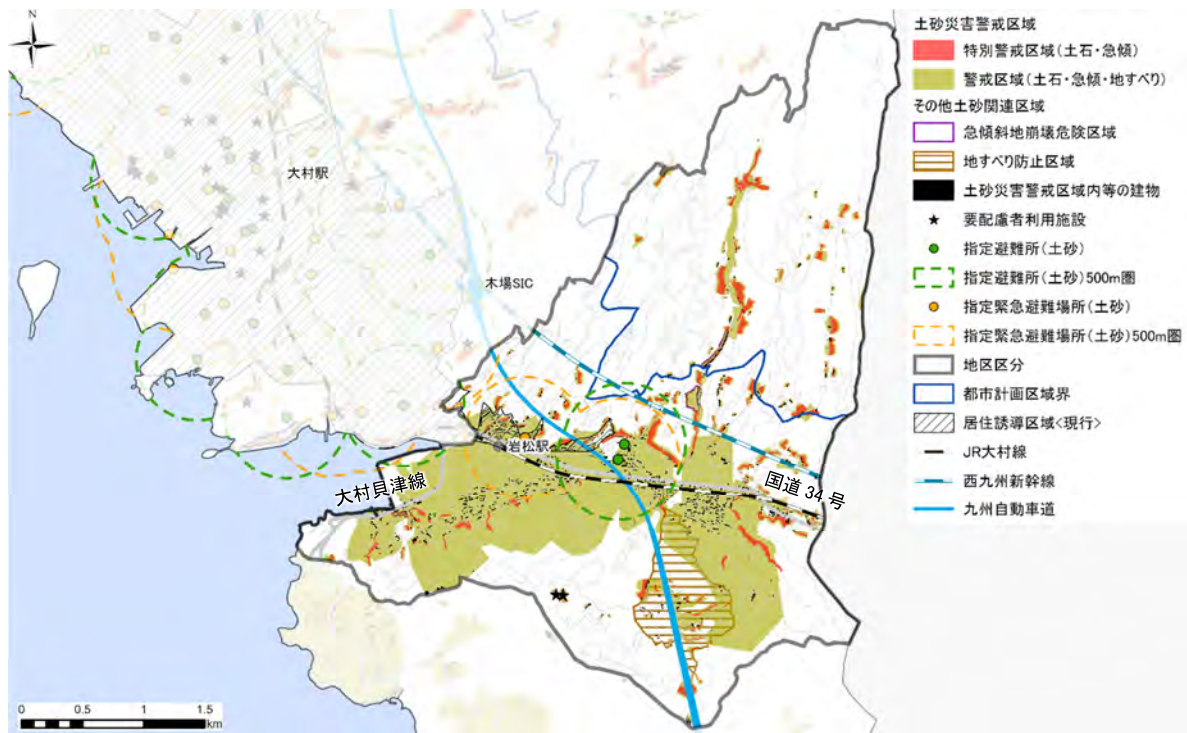
洪水浸水想定区域 (L2 : 浸水継続時間) × 建物・避難施設



家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設

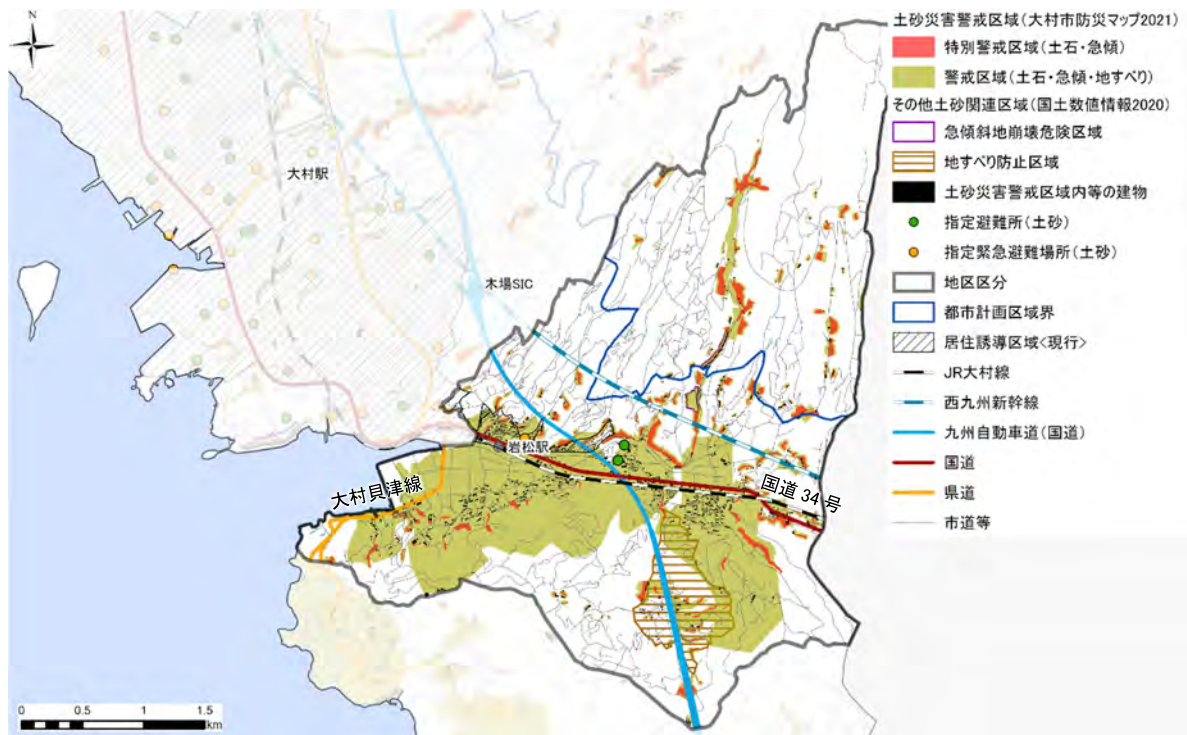


土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



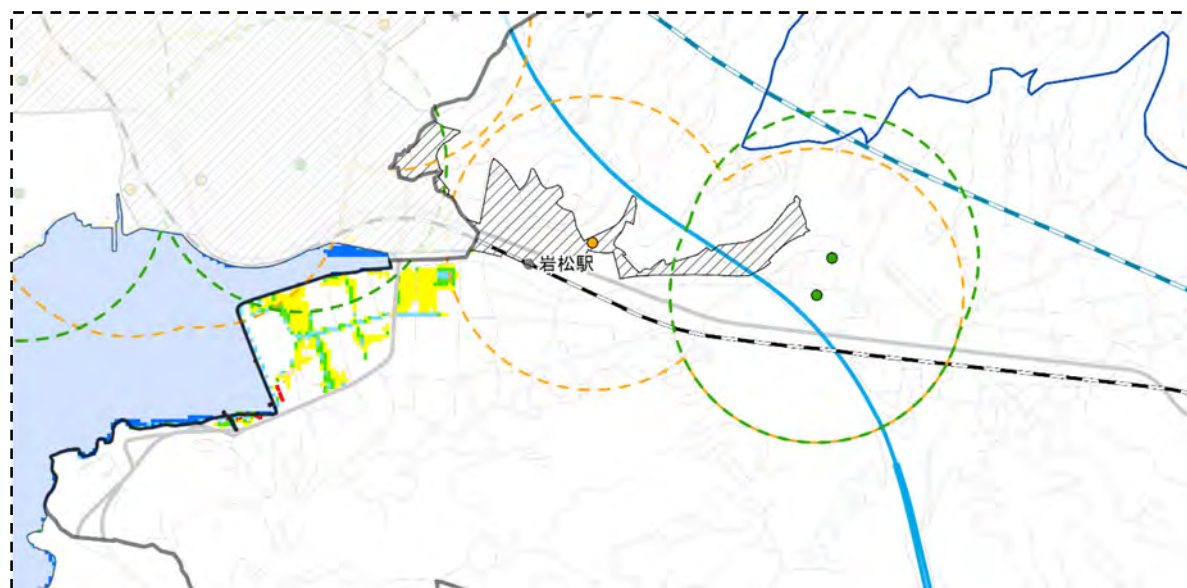
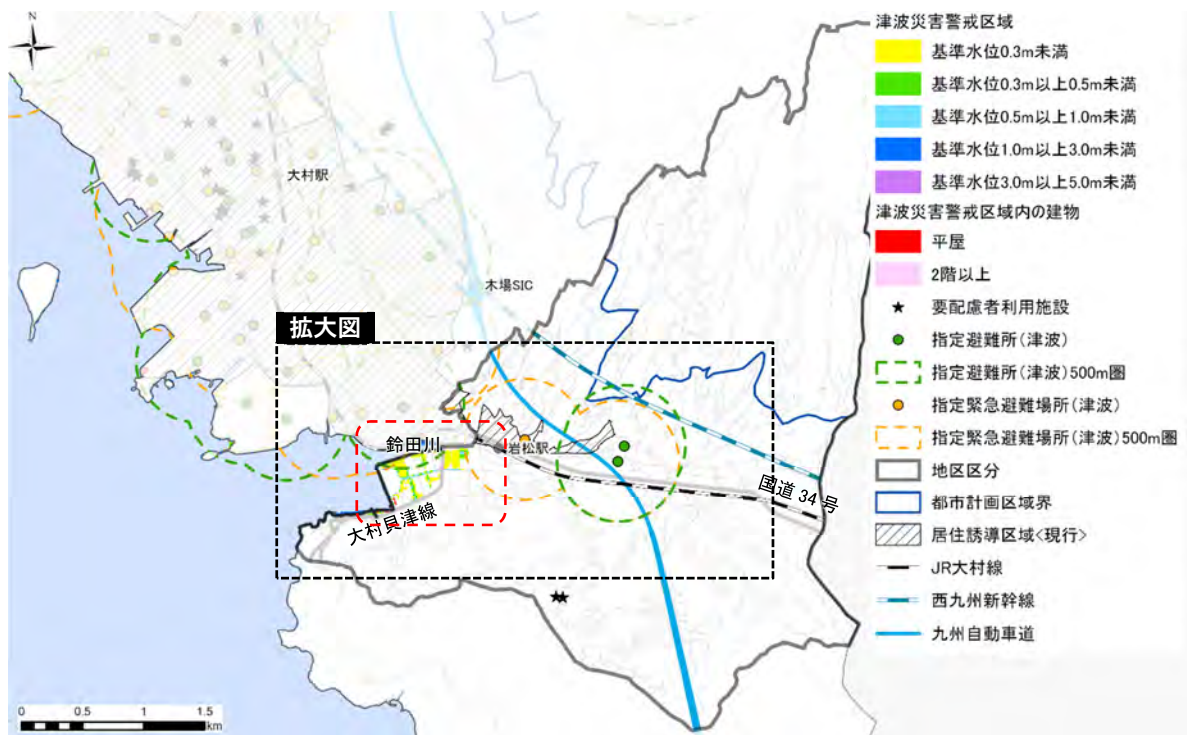
- 都市計画区域内にて土砂災害警戒区域が広く分布しており、建物も多数立地
- 大里町では土砂災害警戒区域に近接する要配慮者利用施設(障害者福祉施設)が存在

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設



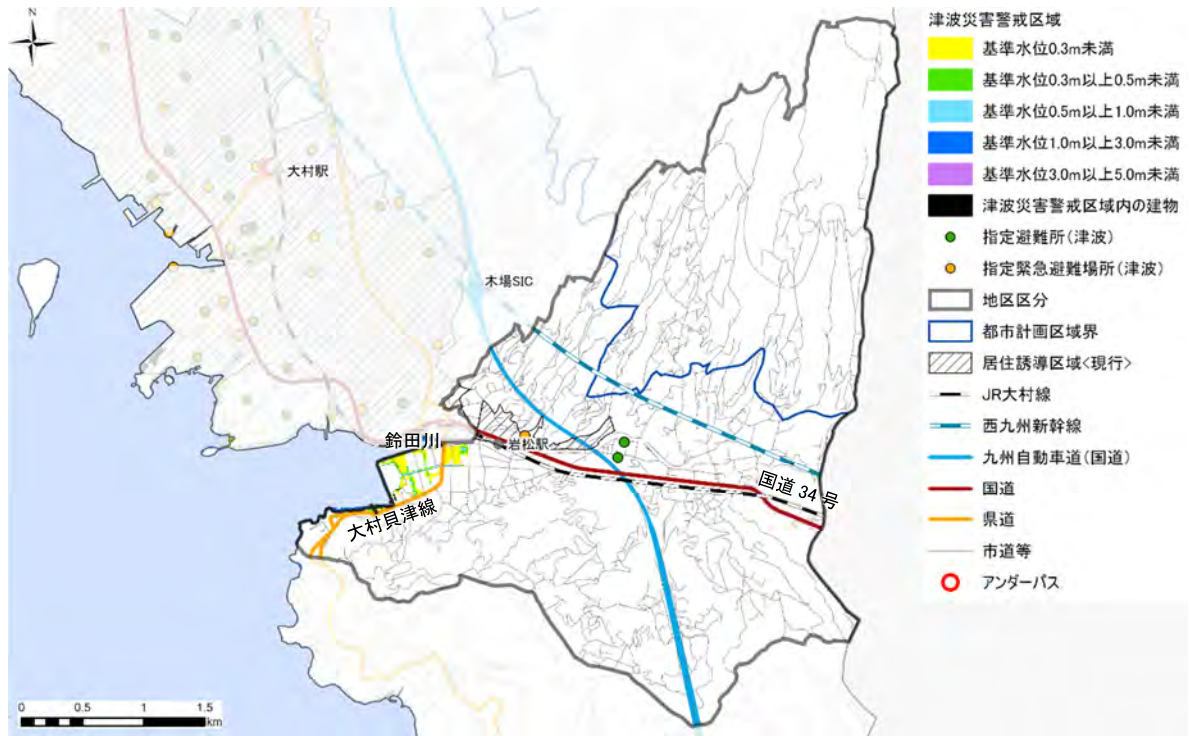
- 土砂災害により国道 34 号が岩松町や陰平町、大郷町、中里町付近で、また、県道大村貝津線が陰平町付近で途絶する恐れ

津波災害警戒区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

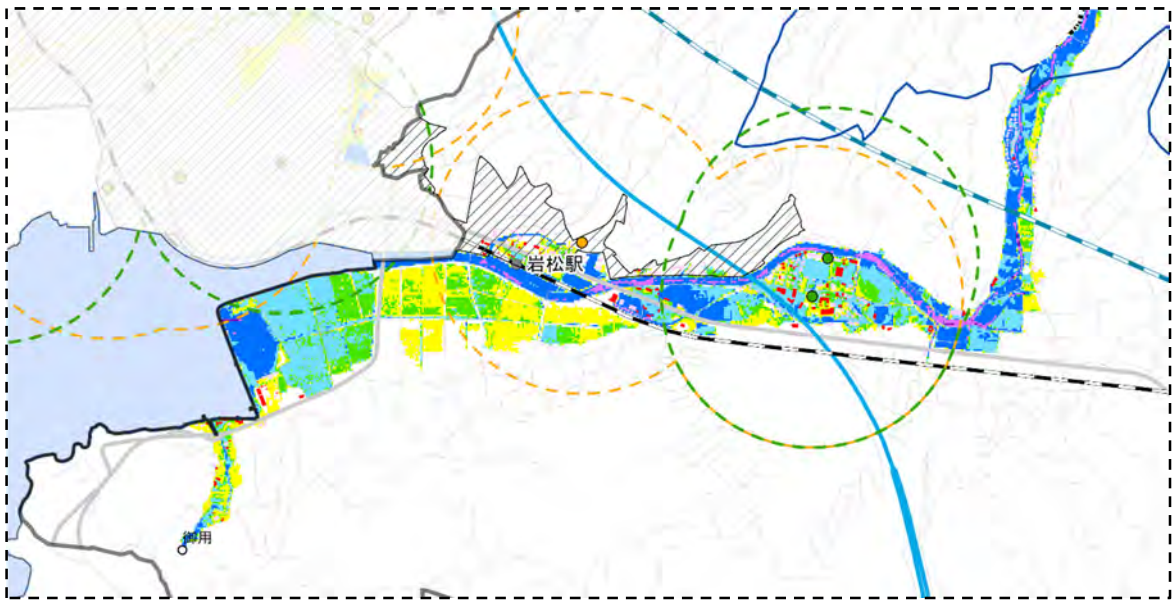
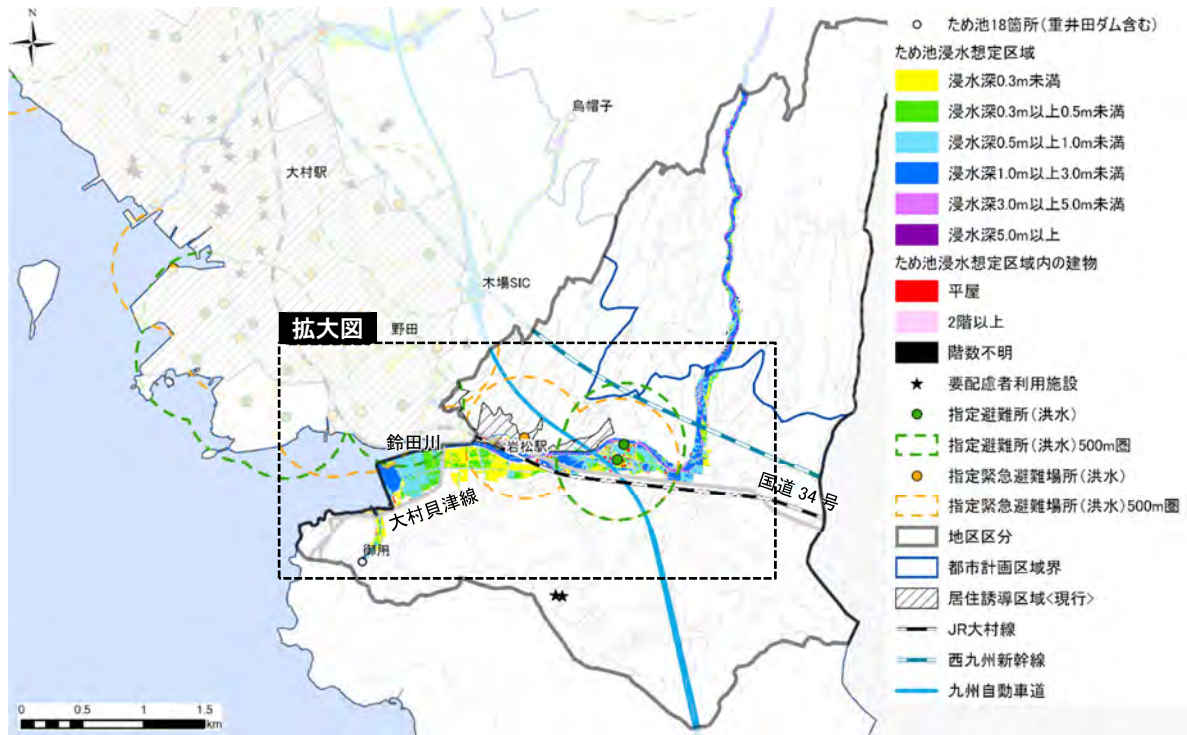


○陰平町では基準水位 1.0m 未満の場所が分布しており、一部の箇所で建物も立地

津波災害警戒区域×道路網・アンダーパス・避難施設

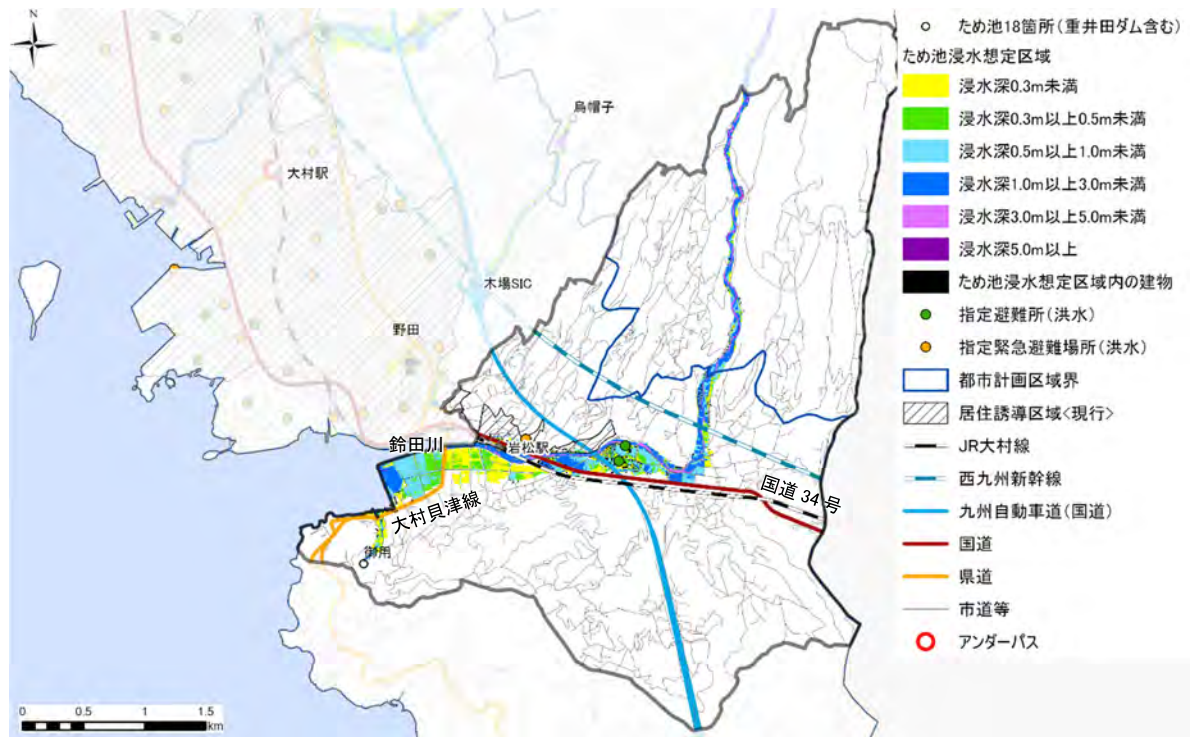


ため池浸水想定区域×建物・要配慮者利用施設・避難施設



- 鳥帽子ため池や姥ノ懐ため池、大多武ため池によるため池浸水想定区域が小川内川や鈴田川沿いに分布しており、建物も立地
- 小川内町や大里町、陰平町、岩松町を中心に浸水深 1.0m 以上 3.0m 未満の場所(=2 階床下ほどまで浸水する恐れがある場所)や浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満の場所(=歩行困難になる場所)もあり、平屋の建物も存在

ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設



○国道 34 号は岩松町や陰平町、大里町、中里町付近で、また、県道大村貝津線は陰平町付近で浸水深が 0.3m 以上に達する場所があり道路が途絶する恐れ

8. 三浦地区

洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



洪水浸水想定区域 (L2: 浸水深) × 道路網・アンダーパス・避難施設



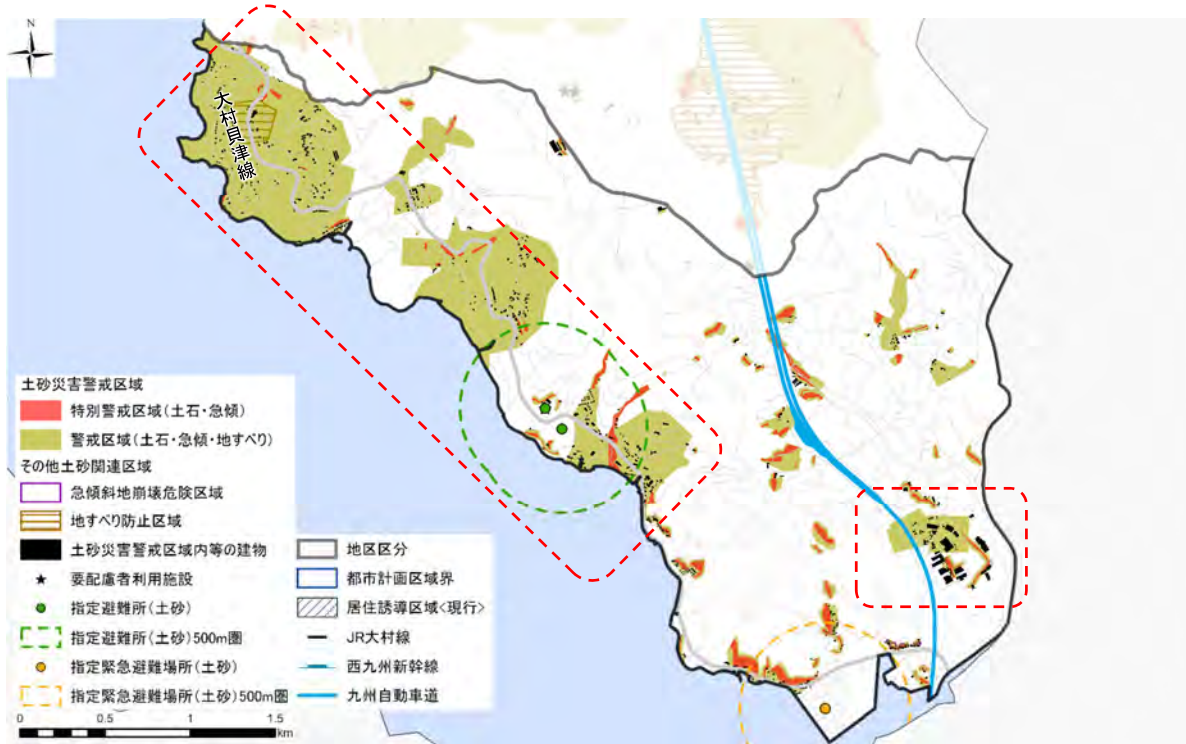
洪水浸水想定区域 (L2: 浸水継続時間) × 建物・避難施設



家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物・避難施設

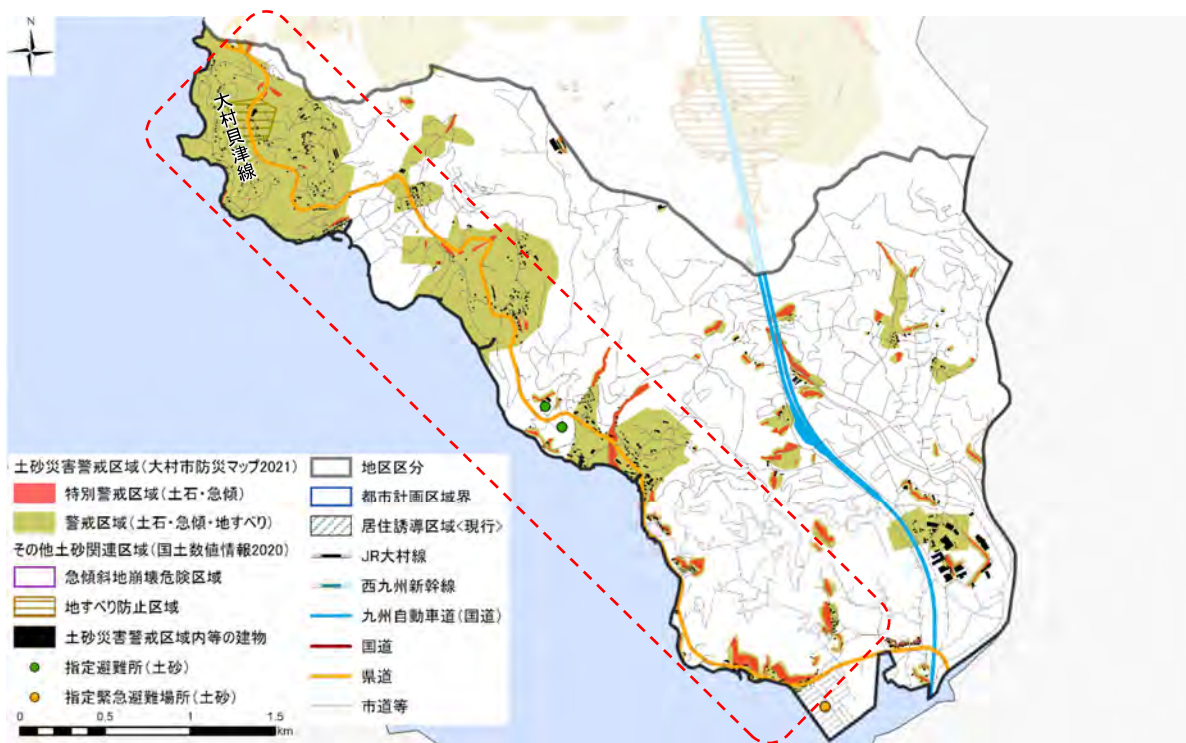


土砂災害警戒区域等 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設

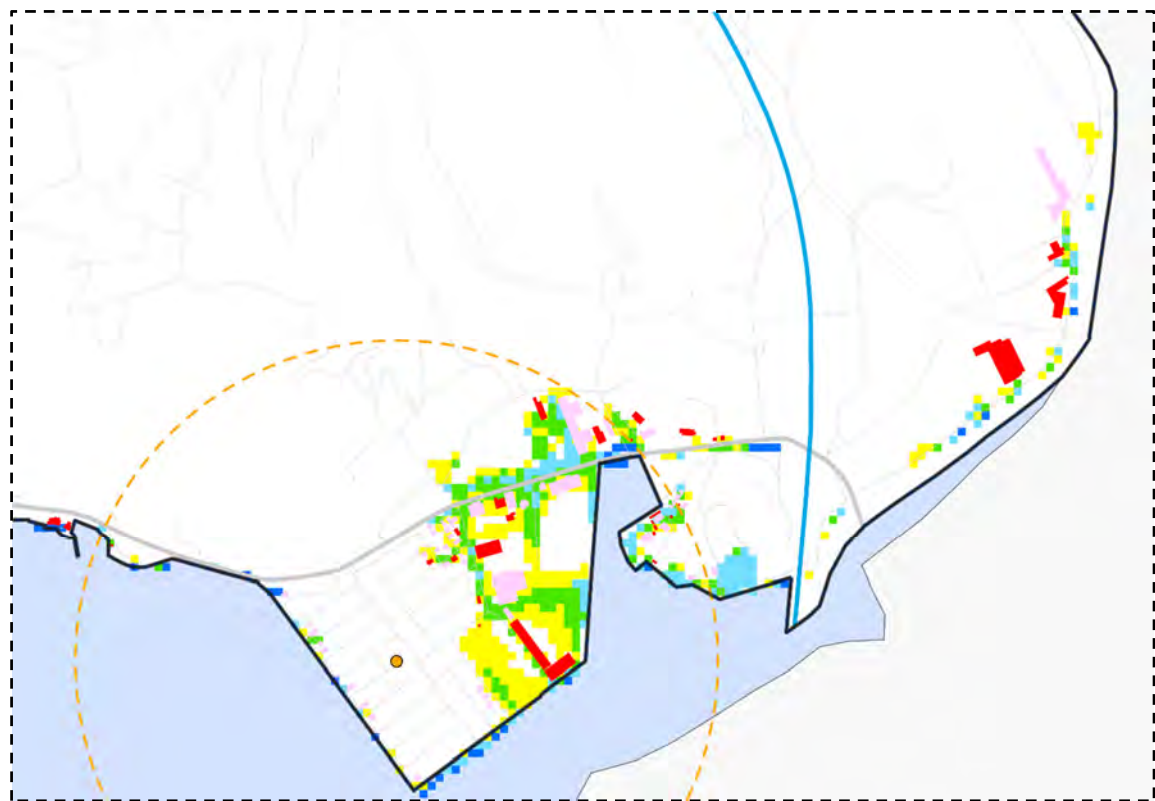
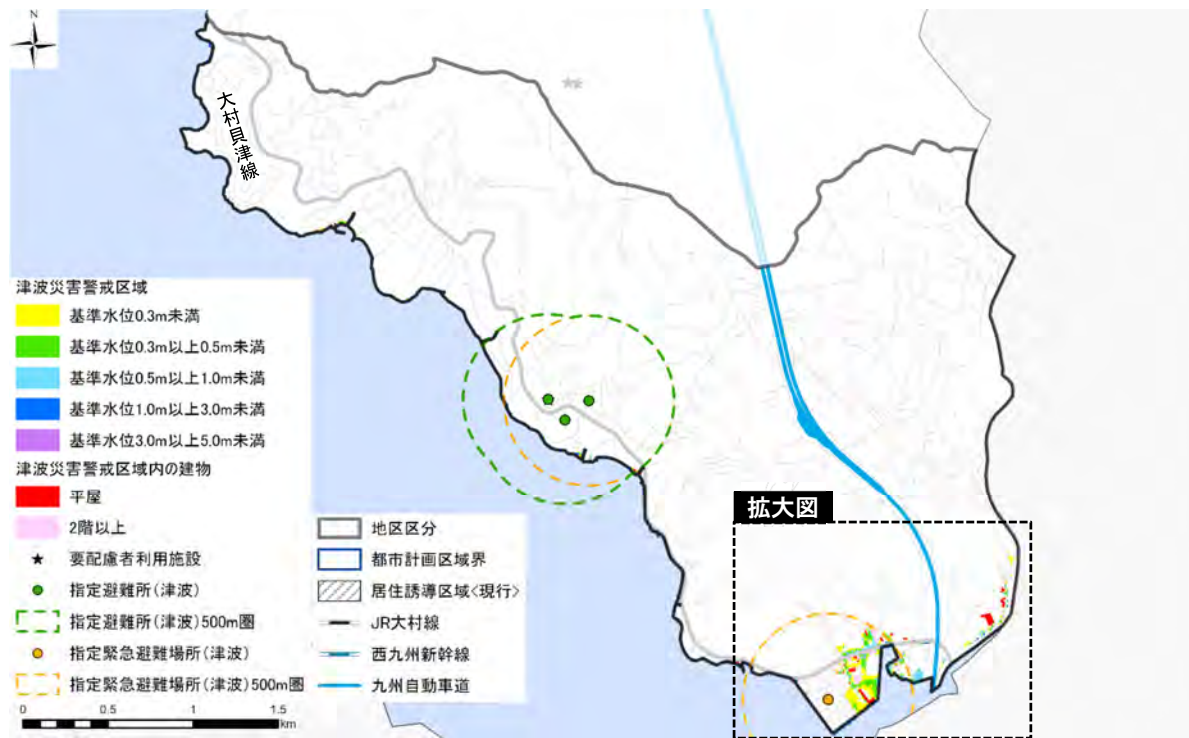


- 大村貝津線沿いに比較的大きな土砂災害警戒区域が複数分布しており、建物も多数立地
- 今村町と溝陸町を跨ぐ工業・商業集積地においても土砂災害警戒区域が存在
- 日泊町では土砂災害警戒区域に近接する要配慮者利用施設(小学校)が存在

土砂災害警戒区域等 × 道路網・避難施設



- 土砂災害により県道大村貝津線が西部町や日泊町、溝陸町付近で途絶する恐れ



○溝陸町では基準水位 1.0m 未満の場所が分布しており、一部の箇所で建物も立地

津波災害警戒区域 × 道路網・アンダーパス・避難施設



○溝陸町において県道大村貝津線沿いの浸水深が 0.3m 以上 (=自動車が行けない浸水深) に達する場所があり道路が途絶する恐れ

ため池浸水想定区域 × 建物・要配慮者利用施設・避難施設



ため池浸水想定区域×道路網・アンダーパス・避難施設

